

# 2026-2027 学生ハンドブック



湘南キャンパス正面

# 学部長あいさつ

## 1. はじめに

グローバルスタディーズ学部(以下:「SGS(School of Global Studies)」)へようこそ。皆さんの将来はここが出发点です。SGSは2007年4月に創設されました。本年3月に16期生が卒業し、20年目を迎えます。

多摩大学は1989年創立の大学です。平成という年号と共にスタートした多摩大学の建学の理念は、国際性・学際性・実理性の3つでした。SGSもその精神のもと、学際性・実理性を尊重しつつ、国際的に活躍する人材を育てるために設立されました。

SGSのミッション(使命・存在理由)は、  
『グローバルな視野を持ち、様々な問題について自らの頭で考え、解決する人材を育てる』  
というものです。

皆さんを待つ社会には、グローバルな問題を解決できる人材を育て提供し、学生の皆さんには、グローバルな舞台で活躍してもらうために支援します、という意味です。

今では、地域的な問題であっても一晩で国際問題にまで発展することが多々あります。インターネット、スマートホン、テクノロジーの急速な発展によって、問題が起こっている地域に行かずともそれについて聞き、見る、知ることができます。その逆に、外で起こっていることによって私たちも影響されます。SGSで学んだ皆さんは、外へ出て、色々なことに挑戦し、そうした壁を乗り越え、世の中に貢献するよう期待しております。SGS教職員は、学生の皆さんのために全力を尽くします。

## 2. SGSにおける学修

### (1) 英語によるコミュニケーション力の向上

まず、英語によるコミュニケーション力の向上がSGSでの第一歩です。初級レベルの英語科目から、既に培った英語力をさらに向上させる科目まであります。

### (2) 世界への扉

SGSには、海外研修、短期・長期の留学を支援する **Discover World**という制度があります。こうした制度を活用し、是非海外で学ぶ経験を作ってください。また留学生との交流、湘南地域での国際親善行事への参加等を通して、国際交流を深めてください。

### (3)ゼミナール制度

ゼミナール制度は担当教員の指導を受けつつ、教員と学生の密な関係の下に学んでいくシステムです。また連絡事項の伝達、きめ細かな指導、就職に関するアドバイスなど、様々なメリットがあります。

### (4)特別専修プログラム

特別専修プログラム(英語名称Career Honors Programの頭文字をとって、CHPと略称)とは、観光、国際ビジネス、教職、各々の分野でグローバルな視野を持ち高い職責で活躍する人材を育てる履修プログラムで、履修カリキュラム、海外留学など、様々な面で特別な配慮がなされております。関心のある方は、是非チャレンジしてください。

## 3. 課外活動

4年間の大学生生活を満喫するためには、課外活動にも積極的に取り組んでください。サークル活動、ボランティア活動、学園祭運営など、学生時代にしかできない活動です。こうした課外活動で仲良くなった仲間、先輩、そして後輩などは後に一生の友人になることもあり、人の輪を大切に、仲間を作るスキルは将来必ず役立ちます。また、参加したいサークルがないようでしたら、友人を誘い合い、サークルを作ってください。これが手作り大学・学部の良さです。

## 4. 社会・地域への貢献

グローバルスタディーズの基本は世界を知ることですが、地元を知ること也很重要です。SGSは学生がグローバルな視野を持ちつつ地元地域にも貢献する、「グローカル」(グローバル+ローカル)な人材となるよう支援します。藤沢市はじめ湘南地域の各方面と連携した社会・地域貢献活動にも、積極的に参加してください。

SGSはまだ若い学部ですので、皆さんがSGSを築くこととなります。この学部の歴史をより輝かしいものにするため、一役買ってくださることを期待しております。アクティブに、チャレンジ精神旺盛に、そして近い将来、SGSに在籍したことに誇りを持てるようになることを願っております。

多摩大学

グローバルスタディーズ学部

学部長 新美 潤

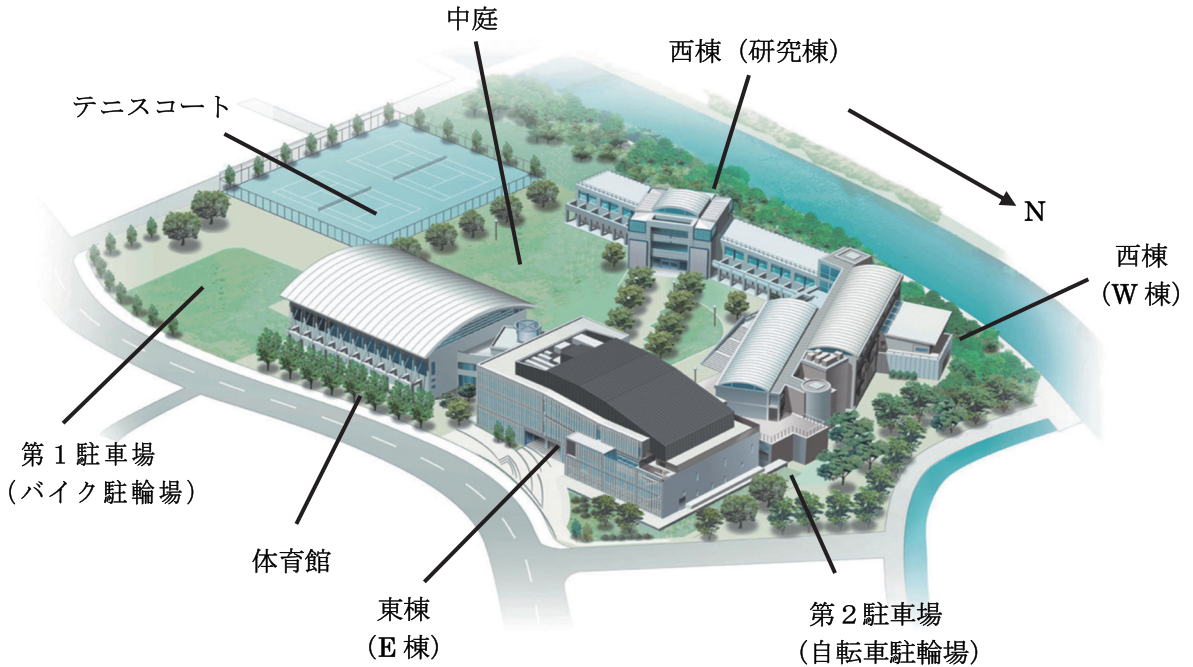
# 目次

建学の精神	1	6. 試験	
基本理念	2	(1) 試験の種類	27
教育理念	2	(2) 学期末試験 (定期試験)	28
使命・目的	3	(3) 追試験	28
教育研究上の目的	3	(4) 再試験 (進級判定時)	29
<b>第 I 部：大学の概要</b>		7. 不正行為	
SGS キャンパス	4	(1) 不正行為についての処分	29
学年暦 (2026-2027 Academic Calendar)	5-8	(2) 不正行為に該当する行為の例	29
窓口業務時間・取扱い内容	9-10	8. 成績	
<b>第 II 部：教務について</b>		(1) 成績評価	31
1. 学士号授与の基本的な考え方及び教育課程編成・実施		(2) GPA	32
ディプロマ・ポリシー	11	(3) GPA の活用	33
カリキュラム・ポリシー	12	(4) 成績発表	33
2. 授業科目と単位制		(5) 成績評価に関する問合せ	33
(1) セメスター制	14	(6) 成績不良者	33
(2) 授業科目	14	9. 卒業	
(3) 単位制	15	(1) 卒業	33
3. カリキュラム		(2) 卒業見込証明書の発行	34
(1) 令和 7(2025)年度以降入学生	16	(3) 再試験	34
(2) 令和 4 (2022)年度～令和 6 (2024) 年度入学生	17	(4) 早期卒業	35
(3) 令和 3 (2021)年度以前入学生	17	10. TOEIC について	
(4) 履修登録単位の上限	18	(1) 学内での TOEIC IP テスト受験	36
(5) メジャー (コース) 登録	19	(2) 公開テスト	36
4. 履修登録		11. 転学部	37
(1) 履修登録とは	20	12. 教職課程	37
(2) 履修科目の決定	20	13. 入学前に修得した単位の認定	38
(3) 登録方法	20	14. 留学先で修得した単位の認定	38
(4) 履修登録上の注意	20	カリキュラム表 (2022 年度-)	39-40
(5) 履修登録・確認・削除の流れ	21	カリキュラム表 (2018-2021 年度)	41-42
(6) 履修についての相談	22	カリキュラムマップ	43-44
(7) 学修支援室	22	カリキュラム履修モデル	45-46
(8) オフィスアワーとは	22	実務経験のある教員による担当科目一覧	47-48
(9) 授業における合理的配慮	22	「社会調査士」資格について	49
5. 授業		科目読み替え一覧	50
(1) 授業時間	23	開講科目 (2022 年度以降入学生用)	51-54
(2) 授業におけるマナー	23	開講科目 (2021 年度以前入学生用)	55-57
(3) 授業の欠席について	24	<b>第 III 部：学生と SGS</b>	
(4) 休講	26	1. 学生サービス (学生生活の安定のための支援及び学生生活	
		全般に関する学生の意見・要望の受付)	

(1) 学生証	58	(8) 多摩大学キャンパスシステム T-NEXT	89
(2) 情報の伝達・連絡等	59	(9) VPN 接続サービス	90
(3) 各種証明書の発行	60	(10) 学生用 無料 スキャン・印刷システム	90
(4) 各種願書 (届出)	61	(11) BYOD 化 (個人所有の PC 利用) について	91
(5) 通学のルール	62	<b>5. キャリア支援課</b>	
(6) 通学定期券と学割証 (学生旅客運賃割引証)	63	(1) 場所	92
(7) 大学施設の利用	64	(2) サービス	92
(8) 奨学金・学費減免制度	65-67	<b>6. 国際交流センター事務課</b>	
(9) その他のサービス	68	(1) 留学	93
(10) 課外活動	68	(2) 経済的支援	94
(11) 個人情報の取扱いについて	69	(3) 国際交流イベント	94
(12) 障害のある学生への支援	70	(4) 国際交流スペース	94
(13) Suggestion Box	70	(5) 肖像権の取り扱いについて	94
(14) 多摩大学ハラスメント防止の目的	70	<b>7. 事業推進室</b>	
(15) 学生生活上での心得	72	(1) 経済活動への参加のサポート	95
<b>2. 保健室</b>		(2) 地域における国際交流活動のサポート	95
(1) 保健室の業務	76	(3) I Love 湘南プロジェクト	95
(2) 学校感染症について	77	<b>8. 学費等納入について (総務課)</b>	96
(3) 健康保険証について	78	<b>第 IV 部：規程</b>	
(4) 学校医について	78	多摩大学学則 (抜粋)	98
(5) 学生相談室	78	多摩大学成績評価規程	105
(6) 学生保険について	79	多摩大学通学に関する規程	106
(7) AED (自動体外式除細動器) の設置について	79	多摩大学学生懲戒規程	107
<b>3. SGS ライブラリー (湘南キャンパス図書館)</b>		多摩大学	
(1) 場所	80	グローバルスタディーズ学部外国人留学生規程細則	110
(2) 蔵書・資料	80	校舎図面	112
(3) 開館時間と休館日	80	Office・事務局 (問い合わせ)	裏表紙
(4) 入退館について	80		
(5) 図書館サービス	81		
(6) MyLibrary について	83		
(7) その他のサービス	83		
(8) 館内規則と注意事項	83		
(9) SGS ライブラリーにおける個人情報取扱いについて	84		
<b>4. メディアサービス</b>			
学内サービスの紹介	86		
(1) サポートについて	87		
(2) 情報処理室 (W201、W202) の利用	87		
(3) 機器貸出し	88		
(4) ライセンス利用	88		
(5) 学内ネットワーク	89		
(6) メールシステム	89		
(7) ファイルシステム (Google ドライブ)	89		

# 第I部:大学の概要

## 《SGS キャンパス》



アクセス：小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄「湘南台」駅下車 徒歩 12分  
小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車 徒歩 12分

キャンパス：東棟（E棟）

- エントランス
- 図書館
- アゴラ（ラウンジ）
- 教室
- 大講堂

：西棟（W棟）

- 事務局（学生課／国際交流センター事務課／教務課／教務課メディア・サービス／事業推進室）
- 入試課／総務課
- 保健室
- カフェテリア（学生食堂）
- ラウンジ
- キャリア支援課
- 情報処理室（コンピュータールーム）
- 教室

：西棟（研究棟）

- 教員オフィス
- ラウンジ
- 学生相談室

：体育館／テニスコート／中庭

：駐車場／駐輪場



## 2021年度以前入学生用 科目読み替え一覧

2022年度入学生からのカリキュラム改定に伴い、2021年度以前入学生が下記「開講科目名」の科目の単位を修得した場合、「成績証明書等」に表示される科目名にて読み替えを行います。  
また、既に「成績証明書等」に表示される科目名の単位を修得している場合は「開講科目名」の科目を履修することは出来ませんのでご注意ください。

No	開講科目名	成績証明書等に表示される科目名 ※「( )」内の表記を除く	備考
1	Discover Japan (地域研修) I	現代観光研究 I	2026年度 開講
2	Listening & Speaking (FYS) I	Listening and Pronunciation I 及び Speaking I	
3	Listening & Speaking (FYS) II	Listening and Pronunciation II 及び Speaking II	
4	Reading & Writing (FYS) I	Grammar and Writing I 及び Reading I	
5	Reading & Writing (FYS) II	Grammar and Writing II 及び Reading II	
6	TOEIC対策講座 (上級) I	英語試験対策講座 I	
7	TOEIC対策講座 (上級) II	英語試験対策講座 II	
8	おもてなし外国語: 英語	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III (接客・おもてなし英語)	
9	学長監修リレー講座 I	プロジェクト・ゼミナール IV (寺島実郎学長監修リレー講座)	
10	学長監修リレー講座 II	プロジェクト・ゼミナール V (寺島実郎学長監修リレー講座)	
11	観光とウェルネス	癒しの文化論	
12	観光と地域マネジメント	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I (観光地域の管理と運営)	
13	観光と地域リソース	観光 IV	
14	観光と文化	観光 III	
15	キャリア開発論	キャリア形成論	
16	業界入門: 飲食・宿泊	ホスピタリティ・マネジメント IV	
17	業界入門: おもてなしマナー	ホスピタリティ・マネジメント I	
18	業界入門: 航空	ホスピタリティ・マネジメント III	
19	業界入門: 旅行	ホスピタリティ・マネジメント II	
20	グラフィックス・Webデザイン	Webデザイン	
21	グローバルゼーション学入門	グローバルスタディーズ入門	
22	グローバル化と消費文化	消費主義の比較文化論	
23	グローバル社会とアフリカ	地球社会とアフリカ I	
24	グローバル社会とイギリス・EU	地球社会とヨーロッパ I	
25	グローバル社会とオセアニア	地球社会とオーストラリア	
26	グローバル社会と韓国	地球社会とアジア II	
27	グローバル社会と中華圏	地球社会とアジア I	
28	グローバル社会と日本	地球社会と日本	
29	グローバル社会と北米	地球社会とアメリカ	
30	グローバル社会と南アジア	地球社会とアジア III	
31	国際社会と人権	人間安全保障	
32	国際政治学	国際教養特別講義 II (国際政治)	
33	国内インターンシップ実習	国内インターンシップ実習 I	
34	資格試験対策演習 (TOEIC) I	TOEIC演習	
35	資格試験対策演習 (TOEIC) II	TOEIC演習	
36	情報科学入門	情報化社会とグローバル化	
37	進路のための学力アップ講座	共通科目特別講義 VIII (進路のための学力アップ講座)	
38	世界遺産 I	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V (世界遺産検定3級対策講座)	
39	世界遺産 II	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI (世界遺産検定2級対策講座)	
40	世界の宗教	キリスト教の世界観	
41	卒業論文	卒業研究	
42	調査法入門: 質的	質的調査方法論	
43	日本近現代史	日本近代史	
44	日本の多様性	日本人と他者	
45	日本の文化・精神性	日本の宗教	
46	藤沢とヘリテージ	プロジェクト・ゼミナール III (藤沢湘南の戦争とその遺産)	
47	南アジアと東南アジアの国際関係	国際関係論: 南・東南アジア	
48	若者文化と日本	仕事と若者論	

SUBJECTS/科目 - Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Course Number 科目ナンバリング	Note 備考
	Requirement / 1年次英語	Listening & Speaking (FYS) I	Listening & Speaking (FYS) I	1	See timetable	Spring	2			GG1-141-00100	教職必修
		Listening & Speaking (FYS) II	Listening & Speaking (FYS) II	1	See timetable	Fall	2			GG1-141-00200	教職必修
	Requirement / 1年次英語	Reading & Writing (FYS) I	Reading & Writing (FYS) I	1	See timetable	Spring	2			GG1-141-00300	教職必修
		Reading & Writing (FYS) II	Reading & Writing (FYS) II	1	See timetable	Fall	2			GG1-141-00400	教職必修
	Requirement / 1年次英語	資格試験対策演習 (TOEIC) I	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) I	1	See timetable	Spring	2			GG1-141-00500	
		資格試験対策演習 (TOEIC) II	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) II	1	See timetable	Fall	2			GG1-141-00600	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Academic Reading Skills	Academic Reading Skills	2+	垂井	Spring		2		GG2-214-00100	教職選択
		Academic Writing Skills	Academic Writing Skills	2+	フラワーズ	Spring		2		GG2-214-00200	教職選択
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Discover World (Study Abroad) I	Discover World (Study Abroad) I	1+	韓	Spring-Fall		2		GG2-114-00800	教職選択
		Discover World (Study Abroad) II	Discover World (Study Abroad) II	1+	韓	Spring-Fall		2		GG2-114-00900	教職選択
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Discover World (Study Abroad) III	Discover World (Study Abroad) III	1+	韓	Spring-Fall		2		GG2-114-01000	
		Discover World (Study Abroad) IV	Discover World (Study Abroad) IV	1+	韓	Spring-Fall		4		GG2-114-01100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Discover World (Study Abroad) V	Discover World (Study Abroad) V	1+	韓	Spring-Fall		4		GG2-114-01200	
		Discover World (Study Abroad) VI	Discover World (Study Abroad) VI	1+	韓	Spring-Fall		4		GG2-114-01300	教職選択
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Discover World (Study Abroad) VII	Discover World (Study Abroad) VII	1+	韓	Spring-Fall		8		GG2-114-01400	
		Discover World (Study Abroad) VIII	Discover World (Study Abroad) VIII	1+	韓	Spring-Fall		8		GG2-114-01500	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	English Discussion Skills	English Discussion Skills	2+	垂井	Fall		2		GG2-242-02400	
		English Presentation Skills	English Presentation Skills	2+	フラワーズ	Fall		2		GG2-242-02500	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	English Reading for Global Business	English Reading for Global Business	2+	ケニー	Spring		2		GG2-213-02600	
		Intermediate Listening & Speaking I	Intermediate Listening & Speaking I	2	垂井	Spring		2		GG2-241-03000	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Intermediate Listening & Speaking II	Intermediate Listening & Speaking II	2	垂井	Fall		2		GG2-241-03100	
		Intermediate Reading & Writing I	Intermediate Reading & Writing I	2	部	Spring		2		GG2-241-03200	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Intermediate Reading & Writing II	Intermediate Reading & Writing II	2	部	Fall		2		GG2-241-03300	
		Internship Abroad	Internship Abroad	3+	太田	Spring		4		GG2-354-03400	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Listening & Speaking III	Listening & Speaking III	2+	See timetable	Spring		2		GG2-241-01600	
		Listening & Speaking IV	Listening & Speaking IV	2+	See timetable	Fall		2		GG2-241-01700	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Reading & Writing III	Reading & Writing III	2+	See timetable	Spring		2		GG2-241-02000	
		Reading & Writing IV	Reading & Writing IV	2+	See timetable	Fall		2		GG2-241-02100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	TOEIC対策講座(上級) I	TOEIC Preparation Course (Advanced) I	2+	西井	Spring		2		GG2-214-03500	
		TOEIC対策講座(上級) II	TOEIC Preparation Course (Advanced) II	2+	西井	Fall		2		GG2-214-03600	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Travel and Tourism Workplace English	Travel and Tourism Workplace English	2+	池木田	Fall		2		GG2-234-03700	
		イングリッシュ・ディスカッション	English Discussion	3+	ケニー	Spring		2		GG2-342-05100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	イングリッシュ・ディベート	English Debate	3+	ケニー	Fall		2		GG2-342-05200	
		エアライン英語	Airline English	3+	今村	Spring		2		GG2-345-05300	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	観光英語 I	Tourism English I	3+	池木田	Spring		2		GG2-345-05400	
		観光英語 II	Tourism English II	3+	山田(次)	Fall		2		GG2-345-05500	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	資格試験対策演習 (TOEIC) III	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) III	2+	See timetable	Spring		2		GG2-241-03900	
		資格試験対策演習 (TOEIC) IV	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) IV	2+	See timetable	Fall		2		GG2-241-04000	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	資格試験対策演習 (TOEIC) V	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) V	3+	-	Spring		2		GG2-341-05600	
		資格試験対策演習 (TOEIC) VI	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) VI	3+	-	Fall		2		GG2-341-05700	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	日本語(スピーキング、リスニング) I	Japanese (Speaking & Listening) I	1+	See timetable	Spring		2		GG2-141-04500	
		日本語(スピーキング、リスニング) II	Japanese (Speaking & Listening) II	1+	See timetable	Spring		2		GG2-141-04600	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	日本語(リーディング、ライティング) I	Japanese (Reading, Writing) I	1+	See timetable	Spring		2		GG2-141-04700	
		日本語(リーディング、ライティング) II	Japanese (Reading, Writing) II	1+	See timetable	Fall		2		GG2-141-04800	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	日本語(日本語試験対策) I	Japanese (Japanese Language Exam Preparation) I	1+	See timetable	Fall		2		GG2-141-04900	
		日本語(日本語試験対策) II	Japanese (Japanese Language Exam Preparation) II	1+	See timetable	Fall		2		GG2-141-05000	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	ニュース英語 I	News English I	3+	フラワーズ	Spring		2		GG2-313-05800	
		ニュース英語 II	News English II	3+	フラワーズ	Fall		2		GG2-313-05900	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	ビジネス英語入門 I	Introduction to Business English I	3+	ケニー	Spring		2		GG2-313-06000	
		ビジネス英語入門 II	Introduction to Business English II	3+	ケニー	Fall		2		GG2-313-06100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	ホテル・接客英語	Hotel and Hospitality English	3+	今村	Fall		2		GG2-345-06200	
		留学準備英語 (IELTS) I	Study Abroad Preparation English (IELTS) I	2+	-	-		-		GG2-214-04100	非開講
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	留学準備英語 (IELTS) II	Study Abroad Preparation English (IELTS) II	2+	-	-		-		GG2-214-04200	非開講
		留学準備英語 (TOEFL) I	Study Abroad Preparation English (TOEFL) I	2+	矢野	Spring		2		GG2-214-04300	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	留学準備英語 (TOEFL) II	Study Abroad Preparation English (TOEFL) II	2+	矢野	Fall		2		GG2-214-04400	
		学長監修リレー講座 I	Relay Course Supervised by the President I	1+	今村、村上	Spring		2		GG2-121-01100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	学長監修リレー講座 II	Relay Course Supervised by the President II	1+	今村、村上	Fall		2		GG2-121-01200	
		環境保全入門	Introduction to Environmental Protection	1+	福田	Spring		-		GG2-131-00100	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	グローバル化セッション入門	Introduction to Globalization Studies	1+	クルナザロバ	Spring-Fall		2		GG2-125-00200	
		経済学入門	Introduction to Economics	1+	渡邊(泰)、西井	Spring-Fall		2		GG2-131-00300	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	国際理解入門	Introduction to Global Understanding	1+	見玉	Spring-Fall		2		GG2-113-00400	
		社会学入門	Introduction to Sociology	1+	梶谷	Spring-Fall		2		GG2-121-00500	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	情報科学入門	Introduction to Information Science	1+	張	Spring-Fall		2		GG2-114-00600	
		心理学入門	Introduction to Psychology	1+	ジョイス	Spring-Fall		2		GG2-125-00700	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	哲学入門	Introduction to Philosophy	1+	立田	Spring-Fall		2		GG2-125-00800	
		日本学入門	Japanese Culture and Society	1+	太田	Spring-Fall		2		GG2-125-00900	
	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	文化人類学入門	Introduction to Anthropology	1+	杉下	Spring-Fall		2		GG2-125-01000	

科目ナンバリング構成

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
要素	学部名	学科名	科目群記号	科目分類記号	ハイフン	配当年次	DP学習成果目標 最も身に付けられる事項	DP学習成果目標 2番目に身に付けられる事項	ハイフン	No.3、4毎、 アルファベット順、 次いで五十音順のナンバリング
	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号
	G	G	A(AEP)	1	1年必	1	DP1	1	DP1	00100
	G	G	基(基礎)	2	英語	2	DP2	2	DP2	00200
	G	G	専(専門)	3	コア	3	DP3	3	DP3	-
	G	G	教(教職)	4	一般	4	DP4	4	DP4	-
	G	G	日(日本語教員養成)	5	HM	5	DP5	5	DP5	-
			IS	6						99900
			ゼミ	7						
			教職	8						
			日養	9						
備考	固定 (GlobalのG)	固定 (GlobalのG)	5種類	9種類	ハイフン 1つ目	4種類	5種類	5種類	ハイフン 2つ目	5桁

SUBJECTS/科目 - Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Course Number 科目ナンバリング	Note 備考	
Foundational Courses / 基礎教育科目	General Elective / 一般(学内/学内外選択科目、キャリア科目含む) General Lectures / 共通科目	Discover Japan (地域研修) I	Discover Japan (Regional Training) I	1+	今村	Fall			2	GG24-131-00100		
		Discover Japan (地域研修) II	Discover Japan (Regional Training) II	1+	—	—			—	GG24-131-00200	非開講	
		Discover Japan (地域研修) III	Discover Japan (Regional Training) III	1+	—	—			—	GG24-131-00300	非開講	
		Discover 藤沢・湘南 I	Discover Fujisawa Shonan I	1+	—	—			—	GG24-131-00400	非開講	
		Discover 藤沢・湘南 II	Discover Fujisawa Shonan II	1+	今村	Fall			2	GG24-131-00500		
		Discover 藤沢・湘南 III	Discover Fujisawa Shonan III	2+	—	—			—	GG24-231-00600	非開講	
		Discover 藤沢・湘南 IV	Discover Fujisawa Shonan IV	2+	—	—			—	GG24-231-00700	非開講	
		ヴィジュアルコミュニケーション入門	Introduction to Visual Communication	2+	—	—			—	GG24-213-00800	非開講	
		会計学基礎	Fundamentals of Accounting	1+	ホノベ	Spring			2	GG24-141-05200		
		韓国語 I	Korean I	1+	安	Spring			2	GG24-141-01100		
		韓国語 II	Korean II	1+	安	Fall			2	GG24-141-01200		
		キャリア・アプローチ	Career Approach	1	キャリア支援課	Fall			2	GG24-135-01400		
		キャリア開発論	Career Development Theory	1+	竹内	Spring-Fall			4	GG24-132-01500		
		教育心理学	Educational Psychology	1+	竹内	Fall			2	GG24-125-01600	教職必修	
		グローバル・ヒストリー	Global History	1+	ポリシユチュク	Fall			4	GG24-125-01700		
		経営学入門	Introduction to Management	1+	戸田	Spring			4	GG24-112-01900		
		国際関係論入門	International Relations	1+	クルナザロバ	Spring			4	GG24-125-02000		
		国内インターンシップ概論	Introduction to Domestic Internship	2,3	中澤	Spring			2	GG24-231-02100		
		国内インターンシップ実習	Domestic Internship Training	2,3	中澤	Spring-Fall			2	GG24-235-02200		
		こころの科学	Science of Mind	1+	鈴木(洋)	Fall			2	GG24-121-02300		
		コンピューター入門	Introduction to Computers	1	水梨	Spring			2	GG24-114-02400	教職必修	
		ジェンダー論	Gender Studies	2+	コニヤク	Fall			2	GG24-212-02500		
		社会調査入門	Introduction to Social Research	1+	桐谷	Spring-Fall			2	GG24-142-02600		
		消費社会と日本の大衆文化	Japanese Society through Its Popular Culture	2+	太田	Fall			4	GG24-225-02800		
		心理学の方法	Psychology Method	2+	ジョイス	Spring			4	GG24-252-02900		
		進路のための学カアップ講座	Academic Progress For Career	2,3	キャリア支援課	Fall			2	GG24-312-03000		
		数学入門	Introduction to Mathematics	1+	富谷	Spring			2	GG24-121-03100		
		スペイン語 I	Spanish I	1+	別所	Spring			2	GG24-141-03100		
		スペイン語 II	Spanish II	1+	別所	Fall			2	GG24-141-03200		
		政治学	Political Science	1+	藤田	Fall			4	GG24-113-05300		
		体育	Physical Education	1+	TBA	Spring-Fall			2	GG24-134-03300	教職必修	
		中国語 I	Chinese I	1+	呉	Spring			2	GG24-141-03400		
		中国語 II	Chinese II	1+	呉	Fall			2	GG24-141-03500		
		中国思想史	History of Chinese Thought	2+	ホノベ	Spring-Fall			2	GG24-212-03600		
		中国文学	Chinese Literature	1+	ホノベ	Spring			4	GG24-112-03700		
		統計 I	Statistics I	1+	渡邊(泰)	Spring			2	GG24-125-05600		
		統計 II	Statistics II	1+	渡邊(泰)	Fall			2	GG24-125-05700		
		統計学入門	Introduction to Statistics	1+	渡邊(泰)	Spring			4	GG24-125-03800		
		日本近現代史	Modern Japanese History	2+	藤田	Spring			4	GG24-212-03900		
		日本語初級	Japanese Language beginners Course	1+	—	—			—	GG24-141-04100	非開講	
		日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1+	—	—			—	GG24-141-04200	非開講	
		日本語上級	Japanese Language Upper Course	1+	—	—			—	GG24-141-04000	非開講	
		日本語文章表現法	Japanese Sentence Expression	1	—	—			—	GG24-142-04300	非開講	
		日本事情 I	Japanese Affairs I	1+	藤田	Spring			2	GG24-113-05400		
		日本事情 II	Japanese Affairs II	1+	藤田	Fall			2	GG24-113-05500		
		日本の法律	Japanese Law	1+	久保田	Spring-Fall			4	GG24-112-04400	教職必修	
		日本の歴史	Japanese History	1+	藤田	Spring			4	GG24-112-04500		
		日本文学	Japanese Literature	1+	渡邊(浩)	Spring			4	GG24-114-04600		
		認知心理学	Cognitive Psychology	2+	ジョイス	Spring			4	GG24-252-04700		
		文化心理学	Cultural Psychology	1+	ジョイス	Fall			4	GG24-152-04800		
		簿記	Bookkeeping	2+	中島・林	Spring-Fall			4	GG24-241-04900		
		ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	3+	—	—			—	GG24-313-05000	非開講	
		メディア学入門	Introduction to Media Studies	2+	岡本・鈴木(達)	Spring-Fall			2	GG24-213-05100		
		Major-Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティマネジメント	異文化間コミュニケーション論	Cross-cultural Communication Theory	3+	ケニー	Fall		2	GG35-343-00100	教職選択
				おもてなし外国語: 英語	Hospitality Foreign Language: English	2+	今村	Spring-Fall		2	GG35-245-00200	
おもてなし外国語: 韓国語	Hospitality Foreign Language: Korean			2+	—	—		—	GG35-245-00300	非開講		
おもてなし外国語: 中国語	Hospitality Foreign Language: Chinese			2+	—	—		—	GG35-245-00400	非開講		
観光学概論 I	Introduction to Tourism I			2+	韓、李、堂下	Spring		2	GG35-221-00500			
観光学概論 II	Introduction to Tourism II			2+	韓、李、堂下	Fall		2	GG35-221-00600			
観光サービス高度マネジメント I	Tourism Service Advanced Management I			2+	今村	Spring		2	GG35-253-00700			
観光サービス高度マネジメント II	Tourism Service Advanced Management II			2+	今村	Fall		2	GG35-253-00800			
観光とICT	Tourism and ICT			2+	—	—		—	GG35-221-00900	非開講		
観光とアート	Tourism and Art			3+	—	—		—	GG35-323-01000	非開講		
観光とウェルネス	Tourism and Wellness			2+	韓	Spring-Fall		4	GG35-221-01100			
観光と多様性	Tourism and Diversity			2+	田中(孝)	Spring-Fall		4	GG35-221-01200			
観光と地域マネジメント	Tourism and Community Management			2+	李	Spring-Fall		4	GG35-221-01300			

科目ナンバリング構成

No	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		
要素	学部名		学科名		科目群記号		科目分類記号		ハイフン		配当年次		DP学習成果目標 最も身に付けられる事項		DP学習成果目標 2番目に身に付けられる事項		ハイフン		No.3、4毎、 アルファベット順、 次いで五十音順のナンバリング		
	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号
	G	G	G	G	A (AEP)	1	1年必	1	—	1	1	DP1	1	DP1	1	—	00100	00100			
	G	G	G	G	基(基礎)	2	英語	2		2	2	DP2	2	DP2	2		00200	00200			
					専(専門)	3	コア	3		3	3	DP3	3	DP3	3		—	—			
					教(教職)	4	一般	4		4	4	DP4	4	DP4	4		—	—			
					日(日本語教員養成)	5	HM	5				DP5	5	DP5	5						
						6	IS	6										99900	99900		
						7	ゼミ	7													
						8	教職	8													
						9	日養	9													
備考	固定 (GlobalのG)		固定 (GlobalのG)		5種類		9種類		ハイフン 1つ目		4種類		5種類		5種類		ハイフン 2つ目		5折		

SUBJECTS/科目 - Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Course Number 科目ナンバリング	Note 備考		
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホテル・観光・マネジメント	観光と地域リソース	Tourism and Local Resources	2+	堂下	Spring			4	GG35-221-01400			
		観光と文化	Tourism and Culture	3+	李	Spring			4	GG35-323-01500			
		観光の新たな指標	New Indicators of Tourism	3	田中(孝)	Spring-Fall			2	GG35-353-01800			
		業界入門: 医療・福祉	Introduction to Industry: Medical-Welfare	2+	-	-			-	-	GG35-235-01700	非開講	
		業界入門: 飲食・宿泊	Introduction to Industry: Food and Beverage-Accommodation	2+	山下	Spring-Fall			2	GG35-235-01800			
		業界入門: おもてなしマナー	Introduction to Industry: Hospitality Manners	2+	吉本(陽)	Spring-Fall			2	GG35-235-01900			
		業界入門: 航空	Introduction to Industry: Aviation	2+	米倉	Spring-Fall			2	GG35-235-02000			
		業界入門: 美容・健康	Introduction to Industry: Beauty-Health	2+	-	-			-	-	GG35-235-02100	非開講	
		業界入門: 旅行	Introduction to Industry: Travel	2+	安島	Spring-Fall			2	GG35-235-02200			
		グローバル社会とアフリカ	Global Society and Africa	3+	杉下	Spring			4	GG35-313-02300			
		グローバル社会とイギリス・EU	Global Society and Great Britain and the EU	2+	吉本(文)	Spring-Fall			4	GG35-213-02500	教職必修		
		グローバル社会とオセアニア	Global Society and Oceania	2+	マックフェニル	Spring-Fall			4	GG35-213-02600	教職選択		
		グローバル社会と韓国	Global Society and South Korea	2+	韓	Spring-Fall			4	GG35-213-02700			
		グローバル社会と現代中国	Global Society and Modern China	2+	李	Spring			4	GG35-213-02800			
		グローバル社会と中華圏	Global Society and Greater China	2+	田中(孝)	Spring-Fall			4	GG35-213-02900			
		グローバル社会と中東	Global Society and Middle East	3+	-	-			-	-	GG35-313-03000	非開講	
		グローバル社会と中南米	Global Society and Latin America	3+	西條	Fall			4	GG35-313-03100			
		グローバル社会と東南アジア	Global Society and Southeast Asia	2+	二重作	Fall			4	GG35-213-03200			
		グローバル社会と日本	Global Society and Japan	2+	堂下	Spring-Fall			4	GG35-213-03300			
		グローバル社会と北米	Global Society and North America	2+	深松	Spring-Fall			4	GG35-213-03400	教職必修		
		グローバル社会と南アジア	Global Society and South Asia	3+	次田	Spring			4	GG35-313-03500			
		世界遺産 I	World Heritage I	2+	鈴木(か)	Spring-Fall			2	GG35-215-03700			
		世界遺産 II	World Heritage II	2+	鈴木(か)	Spring-Fall			2	GG35-215-03800			
		世界の宗教	World Religions	3+	岩崎	Spring			4	GG35-312-03900			
		調査法入門: 質的	Introduction to Survey Methods- Qualitative	2+	堂下	Fall			4	GG35-245-04000			
		通訳概論	Introduction to Interpretation	3+	-	-			-	-	GG35-345-04100	非開講	
		日本の多様性	Diversity of Japan	2+	杉下	Fall			4	GG35-212-04200			
		日本の文化・精神性	Japanese Culture-Spirituality	2+	雨宮	Spring			4	GG35-212-04300			
		歴史とヘリテージ	Fujiwara and Heritage	2+	藤田	Spring-Fall			2	GG35-235-04400			
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I	Special Lectures for Hospitality Management I	2+	-	-			-	-	GG35-235-04600	非開講	
		ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II	Special Lectures for Hospitality Management II	2+	-	-			-	-	GG35-235-04700	非開講	
		翻訳概論	Introduction to Translation	3+	藤原	Fall			4	GG35-345-04800			
		Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養	意味論・語用論	Semantics and Pragmatics	3+	山田(大)	Spring			-	GG36-313-00100	教職選択・隔年開講(2026年度開講)
				英語学 I	English Linguistics I	2+	山田(大)	Spring			4	GG36-213-00200	教職必修
				英語学 II	English Linguistics II	2+	山田(大)	Fall			4	GG36-213-00300	教職必修
英文会計基礎	Fundamental Accounting in English			2+	-	-			-	-	GG36-241-00400	非開講	
英米文学 I	English and American Literature I			2+	田中(亮)	Spring			4	GG36-213-00500	教職必修		
英米文学 II	English and American Literature II			2+	田中(亮)	Fall			4	GG36-213-00600	教職必修		
英米文学演習 I	Exercise of English and American Literature I			3+	志水	Spring			2	GG36-314-00700	教職選択		
英米文学演習 II	Exercise of English and American Literature II			3+	志水	Fall			2	GG36-314-00800	教職選択		
AI・ゲーム・デジタル産業	AI Game and Digital Industry			2+	磯	Spring-Fall			4	GG36-212-00800			
環境政策	Environment Policy			2+	-	-			-	-	GG36-212-00900	非開講	
業界入門: IT・通信	Introduction to Industry: IT-Communication			2+	木村(直)	Spring-Fall			2	GG36-213-01000			
業界入門: 物流・B to B	Introduction to Industry: Logistics-B to B			2+	木村(直)	Spring-Fall			2	GG36-213-01200			
金融論	Theory of Finance			2+	ホノベ	Spring			4	GG36-212-01300			
グラフィックス・Webデザイン	Graphics and Web Design			2+	勇池(司)	Fall			4	GG36-243-01400			
グローバル化と消費文化	Globalization and Consumer Culture			2+	次田	Spring			4	GG36-252-01500			
経営戦略論	Strategic Management			3+	-	-			-	-	GG36-321-01600	非開講	
言語心理学	Psycholinguistics			2+	ジョイス	Fall			4	GG36-252-01700			
国際会計論	International Accounting			3+	ホノベ	Fall			4	GG36-314-01800			
国際教養コース概要講座	Outline Course for International Studies			2+	-	-			-	-	GG36-221-02000	非開講	
国際教養特別講義 I: SDGsと開発学	Special Lectures for International Studies I: SDGs and Development Studies			2+	兒玉	Spring			2	GG36-221-02100			
国際教養特別講義 II: ジャーナリズムと社会	Special Lectures for International Studies II: Journalism and Society			2+	大重	Fall			2	GG36-221-02300			
国際教養特別講義 III: ファッションビジネス論	Special Lectures for International Studies III: Fashion Business Theory			2+	松岡	Fall			2	GG36-213-02400			
国際教養特別講義 IV: SDGsと企業	Special Lectures for International Studies IV: SDGs and Companies			2+	石田	Spring			2	GG36-221-02200			
国際協力	International Cooperation			3+	兒玉	Fall			2	GG36-323-02500			
国際経営論	International Management			3+	ホノベ	Fall			4	GG36-313-02600			
国際経済学	International Economics			2+	渡邊(泰)	Spring-Fall			4	GG36-212-02700			
国際社会と人権	International Society and Human Rights			2+	クルナザロバ	Spring			4	GG36-252-02800			
国際政治学	International Politics			2+	新美	Spring-Fall			2	GG36-221-02900			
国際平和論	International Peace Theory			2+	梶谷	Fall			4	GG36-235-04800			
国際法と国際機関	International Law and International Organizations			2+	クルナザロバ	Fall			4	GG36-212-03000			
資源と環境	Resource and Environment			3+	-	-			-	-	GG36-312-03100	非開講	
社会言語学	Sociolinguistics			3+	-	-			-	-	GG36-313-03200	教職選択・隔年開講(2026年度非開講)	
情報処理	Information Processing I			2+	山本, 張	Spring-Fall			4	GG36-241-03300			

科目ナンバリング構成

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
要素	学部名	学科名	科目群記号	科目分類記号	ハイフン	配当年次	DP学習成果目標 最も身に付けられる事項	DP学習成果目標 2番目に身に付けられる事項	ハイフン	No.3、4毎、 アルファベット順、 次いで五十音順のナンバリング
	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号
	G	G	G	G	1	1	DP1	DP1	-	00100
	G	G	G	G	2	2	DP2	DP2		00200
					3	3	DP3	DP3		-
					4	4	DP4	DP4		-
					5	5	DP5	DP5		-
					6					99900
					7					99900
					8					
					9					
備考	固定 (GlobalのG)	固定 (GlobalのG)	5種類	9種類	ハイフン 1つ目	4種類	5種類	5種類	ハイフン 2つ目	5桁

SUBJECTS/科目 - Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Course Number 科目ナンバリング	Note 備考		
International Studies / 国際教養		情報処理II	Information Processing II	2+	孫、水梨	Spring/Fall			4	GG36-241-03400			
		世界の時事問題	World Current Affairs	3+	杉下	Fall			4	GG36-325-03500			
		多文化共生論	Multiculturalism	3+	杉下	Spring			4	GG36-325-03800			
		調査法入門:量的	Introduction to Survey Methods: Quantitative	2+	渡邊(泰)	Fall			4	GG36-242-03700			
		日本語(文法)	Japanese Grammar	2+	生駒	Fall			2	GG36-213-03800			
		日本語学(音声・音韻)	Japanese Linguistics (Voice・Phoneme)	2+	生駒	Spring			2	GG36-213-03900			
		日本語学概論	Introduction to Japanese Linguistics Studies	2+	生駒	Spring			2	GG36-213-04000			
		日本語教育事情	Japanese Language Education Situation	3+	金子	Spring			2	GG36-314-04100			
		日本語史概論	Introduction to Japanese History	2+	生駒	Fall			2	GG36-213-04200			
		マーケティング論	Theory of Marketing	3+	芦田	Fall			4	GG36-313-04300			
		マクロ経済学	Macroeconomics	2+	西井	Spring			4	GG36-221-04400			
		南アジアと東南アジアの国際関係	International Relations of South and Southeast Asia	2+	クルナザロバ	Fall			4	GG36-252-01900			
		ミクロ経済学	Microeconomics	2+	渡邊(泰)	Fall			4	GG36-221-04500			
		リーダーシップ論	Leadership	3+	アンドレア	Spring			4	GG36-332-04600			
		若者文化と日本	Youth Culture and Japan	3+	太田	Fall			4	GG36-352-04700			
		Seminar / セミナー科目		CHPチュートリアル I	CHP Tutorial I	1+	新菜, 太田, 堂下, 山田(次)	Fall			2	GG37-112-01600	
				CHPチュートリアル II	CHP Tutorial II	1+	新菜, 太田, 堂下, 山田(次)	Spring			2	GG37-212-01700	
				CHPチュートリアル III	CHP Tutorial III	1+	新菜, 太田, 堂下, 山田(次)	Fall			2	GG37-212-01800	
				CHPチュートリアル IV	CHP Tutorial IV	1+	新菜, 太田, 堂下, 山田(次)	Spring			2	GG37-212-02400	
				Introduction to SGS	Introduction to SGS	1	-	-			-	GG37-131-00100	非開講
				インターゼミI	Inter Seminars I	1+	ケニー・村上	Fall			2	GG37-15-00200	
				インターゼミII	Inter Seminars II	2+	ケニー・村上	Spring			2	GG37-22-00300	
インターゼミIII	Inter Seminars III			2+	ケニー・村上	Fall			2	GG37-25-00400			
インターゼミIV	Inter Seminars IV			3+	ケニー・村上	Spring			2	GG37-32-00500			
インターゼミV	Inter Seminars V			3+	ケニー・村上	Fall			2	GG37-35-00600			
インターゼミVI	Inter Seminars VI			4	ケニー・村上	Spring			2	GG37-42-00700			
インターゼミVII	Inter Seminars VII			4	ケニー・村上	Fall			2	GG37-45-00800			
教員力向上講座 I	Teacher Skill Improvement Course I			3+	石島	Spring			2	GG37-323-01900			
教員力向上講座 II	Teacher Skill Improvement Course II			3+	菊池(弘)	Fall			2	GG37-323-02000			
教員力向上講座 III	Teacher Skill Improvement Course III			4	-	-			2	GG37-423-02100			
社会調査ゼミ I	Social Research Seminar I			3+	渡邊(泰)	Spring			2	GG37-343-02200			
社会調査ゼミ II	Social Research Seminar II			3+	渡邊(泰)	Fall			2	GG37-343-02300			
卒業論文	Graduation Thesis			4	See timetable	Fall			4	GG37-452-00900			
プレゼミ α	Pre-Seminar α			1	今村, 太田, 山田(次)	Spring			2	GG37-115-02500			
プレゼミ I	Pre-Seminar I			1	See timetable	Spring			2	GG37-124-01000			
プレゼミ II	Pre-Seminar II			1	See timetable	Fall			2	GG37-124-01100			
ホームゼミ I	Seminar I			3	See timetable	Spring			2	GG37-312-01200			
ホームゼミ II	Seminar II	3	See timetable	Fall			2	GG37-323-01300					
ホームゼミ III	Seminar III	4	See timetable	Spring			2	GG37-323-01400					
ホームゼミ IV	Seminar IV	4	See timetable	Fall			2	GG37-332-01500					
リーダーシップ育成ゼミ I	Leadership Development Seminar I	2+	今村, 田中, 山田(次)	Spring			2	GG37-253-02600					
リーダーシップ育成ゼミ II	Leadership Development Seminar II	2+	今村, 田中, 山田(次)	Fall			2	GG37-253-02700					
Teacher's License Program / 教職課程科目		英語科教育法 I	Teaching Method on English Education I	3+	山田(次)	Spring			4	GG48-314-00100	卒業要件外		
		英語科教育法 II	Teaching Method on English Education II	3+	山田(次)	Fall			4	GG48-314-00200	卒業要件外		
		介護等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training	3+	村上	Spring			1	GG48-314-00300	卒業要件外		
		教育課程総論	Curriculum	2+	内山	Spring			2	GG48-212-00400	卒業要件外		
		教育原理	Educational Principle	1+	山田(知)	Fall			2	GG48-112-00500	卒業要件外		
		教育実習 I	Student Teaching I	4	大場・村上	Spring/Fall			3	GG48-434-00600	卒業要件外		
		教育実習 II	Student Teaching II	4	大場・村上	Spring/Fall			2	GG48-434-00700	卒業要件外		
		教育制度論	Educational System	2+	村上	Fall			2	GG48-212-00800	卒業要件外		
		教育相談	Educational Counseling	3+	石島	Fall			2	GG48-312-00900	卒業要件外		
		教育方法 (ICTを活用した教育の理論及び方法含む)	Teaching Method Including the Information and Communication Technology	2+	竹内	Spring			2	GG48-212-01000	卒業要件外		
		教職総論	Teaching Profession	1+	村上	Spring			2	GG48-112-01100	卒業要件外		
		教職実践演習(中・高)	Teaching Practice (junior high school / high school)	4	村上	Fall			2	GG48-434-01200	卒業要件外		
		生徒指導・進路指導論	Student Direction	1+	村上	Fall			2	GG48-112-01300	卒業要件外		
		総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	榎田	Fall			1	GG48-312-01600	卒業要件外		
		道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	菊池(弘)	Fall			2	GG48-312-01400	卒業要件外		
		特別活動	Extracurricular activity	2+	関根	Spring			2	GG48-212-01500	卒業要件外		
		特別支援	Special Needs Education	3+	角南	Spring			2	GG48-312-01700	卒業要件外		
Japanese Teacher Certification / 教職課程科目		日本語教育実習	Student Teaching of Japanese Language	4	山田(次)	Fall			2	GG48-434-01800	卒業要件外		
		日本語教育実習指導 I	Guidance for Student Teaching of Japanese Language I	4	金子	Spring			2	GG59-434-00100	卒業要件外		
		日本語教育実習指導 II	Guidance for Student Teaching of Japanese Language II	4	金子	Fall			2	GG59-434-00200	卒業要件外		
		日本語教育法	Teaching Method on Japanese Education	3+	金子	Fall			2	GG59-314-00300			

科目ナンバリング構成

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
要素	学部名	学科名	科目群記号	科目分類記号	ハイフン	配当年次	DP学習成果目標 最も身に付けられる事項	DP学習成果目標 2番目に身に付けられる事項	ハイフン	No.3、4毎、 アルファベット順、 次いで五十音順のナンバリング
	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号	凡例	表示記号
	G	G	G	G	A(AEP)	1	1年必	1	-	00100
	G	G	G	G	基(基礎)	2	英語	2	DP1	1
					専(専門)	3	コア	3	DP2	2
					教(教職)	4	一般	4	DP3	3
					日(日本語教員養成)	5	HM	5	DP4	4
					IS	6		5	DP5	5
					ゼミ	7				
					教職	8				
					日養	9				
備考	固定 (Global)G	固定 (Global)G	5種類	9種類	ハイフン 1つ目	4種類	5種類	5種類	ハイフン 2つ目	5桁



SUBJECTS/科目 - Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
General Education / 共通科目	General Education / 共通科目	日本の法律	Japanese Law	1+	久保田	Spring/Fall			4	教職必修
		日本の歴史	Japanese History	1+	藤田	Spring			4	
		日本文学	Japanese Literature	1+	渡邊(浩)	Spring			4	
		文化心理学	Cultural Psychology	1+	ジョイス	Fall			4	
	Foreign Language / 外国語	韓国語 I	Korean I	1+	安	Spring			2	
		韓国語 II	Korean II	1+	安	Fall			2	
		スペイン語 I	Spanish I	1+	別所	Spring			2	
		スペイン語 II	Spanish II	1+	別所	Fall			2	
		中国語 I	Chinese I	1+	呉	Spring			2	
		中国語 II	Chinese II	1+	呉	Fall			2	
		中国語 III	Chinese III	1+	—	—			—	非開講
	Japanese / 日本語	日本語初級	Japanese Language beginners Course	1+	—	—			2	非開講
		日本語上級	Japanese Language Upper Course	1+	—	—			2	非開講
		日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1+	—	—			2	非開講
	Major Related Courses / 専攻科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント	Travel and Tourism Workplace English	Travel and Tourism Workplace English	2+	池木田	Fall			2
アジアの宗教			Religions in Asia	3+	—	—			—	非開講
異文化間コミュニケーション論			Cross-cultural Communication Theory	3+	ケニー	Fall			2	
癒しの文化論			Healing and Culture	2+	鶴	Spring/Fall			4	読み替え有り
おもてなし外国語: 韓国語			Hospitality Foreign Language: Korean	2+	—	—			—	非開講
おもてなし外国語: 中国語			Hospitality Foreign Language: Chinese	2+	—	—			—	非開講
観光 I			Tourism I	2+	—	—			—	非開講
観光 II			Tourism II	2+	—	—			—	非開講
観光 III			Tourism III	3+	李	Spring			4	読み替え有り
観光 IV			Tourism IV	3+	堂下	Spring			4	読み替え有り
観光と多様性			Tourism and Diversity	2+	田中(孝)	Spring/Fall			4	
業界入門: 医療・福祉			Introduction to Industry: Medical/Welfare	2+	—	—			—	非開講
業界入門: 美容・健康			Introduction to Industry: Beauty/Health	2+	—	—			—	非開講
キリスト教の世界観			Christian Views on the World	2+	岩崎	Spring			4	読み替え有り
グローバル社会と現代中国			Global Society and Modern China	2+	李	Spring			4	
グローバル社会と東南アジア			Global Society and Southeast Asia	2+	二重作	Fall			4	
グローバル社会と中南米			Global Society and Central and South America	3+	西藤	Fall			4	
言語心理学			Psycholinguistics	2+	ジョイス	Fall			4	
現代観光研究 I			Current Issues in Tourism I	2+	今村	Fall			2	読み替え有り
現代観光研究 II			Current Issues in Tourism II	2+	—	—			—	非開講
仕事と若者論			Japanese Work Environment and Young People	3+	太田	Fall			4	読み替え有り
質的調査方法論			Qualitative Research Methods	2+	堂下	Fall			4	読み替え有り
消費社会と日本の大衆文化			Japanese Society through Its Popular Culture	3+	太田	Fall			4	
消費主義の比較文化論			Consumption in Cross-cultural Perspective	3+	太田	Spring			4	読み替え有り
身体とアイデンティティ			Body and Identity	2+	—	—			—	非開講
地球社会とアジア I			Global Community and Asia I	2+	田中(孝)	Spring/Fall			4	読み替え有り
地球社会とアジア II			Global Community and Asia II	2+	鶴	Spring/Fall			4	読み替え有り
地球社会とアジア III			Global Community and Asia III	3+	太田	Fall			4	読み替え有り
地球社会とアフリカ I			Global Community and Africa I	3+	杉下	Spring			4	
地球社会とアフリカ II			Global Community and Africa II	3+	—	—			—	非開講
地球社会とアメリカ			Global Community and America	2+	深松	Spring/Fall			4	教職必修・読み替え有り
地球社会とオーストラリア			Global Community and Australia	2+	マックフェイル	Spring/Fall			4	教職必修・読み替え有り
地球社会と中東			Global Community and Middle East	2+	—	—			—	非開講
地球社会と日本			Global Community and Japan	2+	堂下	Spring/Fall			4	読み替え有り
地球社会とヨーロッパ I			Global Community and Europe I	2+	吉本(文)	Spring/Fall			4	読み替え有り
地球社会とヨーロッパ II			Global Community and Europe II	3+	—	—			—	非開講
通訳概論			Introduction to Interpretation	2+	—	—			—	非開講
日本人と他者			Japanese and Others	3+	杉下	Fall			4	読み替え有り
日本の宗教			Religions in Japan	3+	雨宮	Spring			4	読み替え有り
認知心理学			Cognitive Psychology	2+	ジョイス	Spring			4	
美術論			Theory of Arts	3+	—	—			—	非開講
ホスピタリティ・マネジメント I			Hospitality Management I	2+	吉本(隆)	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント II			Hospitality Management II	2+	安島	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント III			Hospitality Management III	2+	奥倉	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント IV			Hospitality Management IV	2+	山下	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I			Special Lectures for Hospitality Management I	2+	李	Spring/Fall			4	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II			Special Lectures for Hospitality Management II	2+	—	—			—	非開講
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III			Special Lectures for Hospitality Management III	2+	今村	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IV			Special Lectures for Hospitality Management IV	2+	—	—			—	非開講
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V			Special Lectures for Hospitality Management V	2+	鈴木(か)	Spring/Fall			2	読み替え有り
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI	Special Lectures for Hospitality Management VI	2+	鈴木(か)	Spring/Fall			2	読み替え有り		
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII	Special Lectures for Hospitality Management VII	2+	—	—			—	非開講		
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VIII	Special Lectures for Hospitality Management VIII	2+	—	—			—	非開講		
ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IX	Special Lectures for Hospitality Management IX	2+	—	—			—	非開講		
翻訳概論	Introduction to Translation	2+	飯泉	Fall			—			
International Studies / 国際教養	AI・ゲーム・デジタル産業	AI Game and Digital Industry	2+	張	Spring/Fall			4		
	Webデザイン	Web Design	2+	菊池(尚)	Fall			4	読み替え有り	
	アフリカの時事問題	Current Issues in Africa	3+	杉下	Spring			4	読み替え有り	
	英語学 I	English Linguistics I	2+	山田(大)	Spring			4	教職必修	
	英語学 II	English Linguistics II	2+	山田(大)	Fall			4	教職必修	
	英米文学 I	English and American Literature I	2+	田中(広)	Spring			4	教職必修	
	英米文学 II	English and American Literature II	2+	田中(広)	Fall			4	教職必修	
英米文学演習 I	English and American Literature I	3+	志水	Spring			2			
英米文学演習 II	English and American Literature II	3+	志水	Fall			2			

SUBJECTS/科目 - Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考		
		エネルギーと環境	Energy and Environment	3+	—	—			—	非開講		
		環境政策	Environment Policy	2+	—	—			—	非開講		
		業界入門:IT・通信	Introduction to Industry:IT・Communication	2+	木村(富)	Spring・Fall		2				
		業界入門:地元産業・金融	Introduction to Industry:Local Industry・Finance	2+	—	—		—		非開講		
		業界入門:物流・B to B	Introduction to Industry:Logistics・B to B	2+	木村(富)	Spring・Fall		2				
		金融論	Theory of Finance	2+	ホノベ	Spring		4				
		経営戦略論	Strategic Management	3+	—	—		—		非開講		
		国際会計論	International Accounting	3+	ホノベ	Fall		4				
		国際関係論:中央アジア	International Relations of Central Asia	3+	—	—		—		非開講		
		国際関係論:南・東南アジア	International Relations of South/ Southeast Asia	2+	クルナザロバ	Fall		4		読み替え有り		
		国際教養特別講義 I	Special Lectures for International Studies I	2+	—	—		—		非開講		
		国際教養特別講義 I:SDGsと開発学	Special Lectures for International Studies I	2+	宛玉	Fall		2				
		国際教養特別講義 II	Special Lectures for International Studies II	2+	新美	Spring・Fall		2		読み替え有り		
		国際教養特別講義 II:ジャーナリズムと社会	Special Lectures for International Studies II	2+	大重	Fall		2				
		国際教養特別講義 III	Special Lectures for International Studies III	2+	—	—		—		非開講		
		国際教養特別講義 III:ファッションビジネス論	Special Lectures for International Studies III	2+	松岡	Fall		2				
		国際教養特別講義 IV	Special Lectures for International Studies IV	2+	—	—		—		非開講		
		国際教養特別講義 IV:SDGsと企業	Special Lectures for International Studies IV	2+	石田	Spring		2				
		国際協力	International Cooperation	3+	宛玉	Fall		2				
		国際経営論	International Management	3+	ホノベ	Fall		4				
		国際経済学	International Economics	3+	渡邊(泰)	Spring・Fall		4				
		国際平和論	Theory of International Peace	2+	梶谷	Fall		4				
		国際法と国際機関	International Law and Organizations	2+	クルナザロバ	Fall		4				
		資源と環境	Resource and Environment	3+	—	—		—		非開講		
		情報処理I	Information Processing I	2+	山本、張	Spring・Fall		4				
		情報処理II	Information Processing II	2+	張、水梨	Spring・Fall		4				
		多国籍企業会計	Accounting for Multinational Firms	2+	—	—		—		非開講		
		多文化共生論	Multiculturalism	3+	杉下	Spring		4				
		日本近代史	History of Modern Japan	3+	藤田	Spring		4		読み替え有り		
		人権安全保障	International Protection of Human Rights	2+	クルナザロバ	Spring		4		読み替え有り		
		比較経営論	Comparative Management	3+	—	—		—		非開講		
		簿記	Bookkeeping	2+	中島・林	Spring・Fall		4				
		ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	2+	—	—		—		非開講		
		マーケティング論	Theory of Marketing	3+	芦田	Fall		4				
		マクロ経済学	Macroeconomics	2+	西井	Spring		4				
		ミクロ経済学	Microeconomics	2+	渡邊(泰)	Fall		—				
		リーダーシップ論	Leadership	3+	アンドレア	Spring		4				
		Major Released Courses / 専攻教育科目	Seminar / セミナー	Discover 藤沢・湘南 I	Discover Fujisawa Shonan I	1+	—	—			—	非開講
				Discover 藤沢・湘南 II	Discover Fujisawa Shonan II	1+	今村	Fall		2		
				ゼミナール I	Seminar I	3	—	—		—		非開講
				ゼミナール II	Seminar II	3	—	—		—		非開講
				ゼミナール III	Seminar III	4	—	—		—		See web-syllabus
				ゼミナール IV	Seminar IV	4	—	—		—		See web-syllabus
卒業研究	Graduation Research			4	—	Fall		4		読み替え有り		
プロジェクトゼミ I	Project Seminar I			3+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミ II	Project Seminars II			2+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミ III	Project Seminar III			2+	藤田	Spring・Fall		2		審次とヘリテージ		
プロジェクトゼミ IV	Project Seminar IV			2+	今村・村上	Spring		2		学長監修リレー講座 I		
プロジェクトゼミ V	Project Seminar V			2+	今村・村上	Fall		2		学長監修リレー講座 II		
プロジェクトゼミ VI	Project Seminar VI			2+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミ VII	Project Seminar VII			2+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールVIII	Project Seminar VIII			3+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールIX	Project Seminar IX			3+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールX	Project Seminar X			3+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールXI	Project Seminar XI			3+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールXII	Project Seminar XII			2+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールXIII	Project Seminar XIII			2+	—	—		—		非開講		
プロジェクトゼミナールXIV	Project Seminar XIV	2+	—	—		—		非開講				
プロジェクトゼミナールXV	Project Seminar XV	3+	—	—		—		非開講				
プロジェクトゼミナールXVI	Project Seminar XVI	3+	—	—		—		非開講				
プロジェクトゼミナールXVII	Project Seminar XVII	4	—	—		—		非開講				
Teacher's Career Program / 教職に関する科目		英語科教育法 I	Teaching Method on English Education I	3+	山田(大)	Spring		4		卒業要件外		
		英語科教育法 II	Teaching Method on English Education II	3+	山田(大)	Fall		4		卒業要件外		
		介級等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training	3+	村上	Spring		1		卒業要件外		
		教育課程総論	Curriculum	2+	内山	Spring		2		卒業要件外		
		教育原理	Educational Principle	1+	山田(知)	Fall		2		卒業要件外		
		教育実習 I	Student Teaching I	4	大塚・村上	Spring・Fall		3		卒業要件外		
		教育実習 II	Student Teaching II	4	大塚・村上	Spring・Fall		3		卒業要件外		
		教育制度論	Educational System	2+	村上	Fall		2		卒業要件外		
		教育相談	Educational Counseling	3+	石島	Fall		2		卒業要件外		
		教育方法 (ICTを活用した教育の理論及び方法含む)	Teaching Method Including the Information and Communication Technology	2+	竹内	Spring		2		卒業要件外		
		教職概論	Teaching Profession	1+	村上	Spring		2		卒業要件外		
		教職実践演習(中・高)	Teaching Practice (junior high school / high school)	4	村上	Fall		2		卒業要件外		
		生徒指導・進路指導論	Student Direction	1+	村上	Fall		2		卒業要件外		
		総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	藤田	Fall		1		卒業要件外		
		道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	菊池(弘)	Fall		2		卒業要件外		
		特別活動	Extracurricular activity	2+	關根	Spring		2		卒業要件外		
		特別支援	Special Needs Education	3+	角南	Spring		2		卒業要件外		

## 8. 学費等納入について（総務課）

本学に在籍中は、履修登録の有無にかかわらず、学費その他の納付金を納入期限までに納めなければなりません。納入されない場合、かつ総務課に延納の相談もない場合は、学則により除籍(※)となりますので、注意してください。学費等の納入額・期限は次の表のとおりです。

送付いたします学費等振込依頼書を使用し、窓口にてお振込みされる場合、振込手数料は有料になります。

一方、三菱UFJ銀行ATM・インターネットバンキングからお振込みの場合、振込手数料は無料になります。

なお、ATM・インターネットバンキング等でのお振込みの場合は、必ず学籍番号10桁(冒頭00を含む)、学生氏名をご記入ください。

(除籍)

第28条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

(4) 学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者

[学費その他納入額]

・2019年度以降入学者

種類	春学期(秋学期)	秋学期(春学期)	納付年次
入学金	200,000 円		入学初年度のみ
授業料	450,000 円	450,000 円	1～4 年次
施設費	120,000 円	120,000 円	1～4 年次
施設拡充費	50,000 円		入学初年度のみ
図書教材費	40,000 円		1～4 年次
後援会年会費	20,000 円		1～4 年次
同窓会終身会費	20,000 円		入学初年度のみ
合計	900,000 円	570,000 円	

※カッコは秋季入学生

[学費等納入期限]

春学期	4月末日
秋学期	10月末日

※新入生(編入生)は入学手続き時

※高等教育の修学支援制度の減免対象者は別途案内させていただきます。

[学費等振込依頼書の送付について]

春学期	4月上旬に保証人に送付します
秋学期	9月下旬に保証人に送付します

※高等教育の修学支援制度の減免対象者は別途案内させていただきます。

# 第 IV 部：規程

## 多摩大学学則（抜粋）

### 第 1 章 総則

#### （目的）

第 1 条 多摩大学（以下「本学」という。）は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。

#### （自己点検及び評価）

第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価について必要な事項は、別に規程で定める。

#### （個人情報保護）

第 3 条 本学は、教育・研究活動等の適正かつ円滑な運営を図り、個人情報の有用性に配慮するため、個人の権利及び利益を保護する。

2 個人情報保護について必要な事項は、別に規程で定める。

#### （ハラスメントの防止）

第 4 条 本学は、ハラスメントの防止及びハラスメントに起因する問題が生じた場合に、適切な対応を行うための措置を講じ、学生、教育職員及び事務職員等の快適な環境を作り、教育、研究及び就業の機会と権利を保障する。

2 ハラスメントの防止について必要な事項は、別に規程で定める。

### 第 3 章 修業年限、在学年限、学年、学期及び休業日

#### （修業年限）

第 10 条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、第 3 9 条の規定により卒業を認められた者については、この限りでない。

#### （在学年限）

第 11 条 学生は、8年を超えて在学することができない。

2 編入学、転入学及び再入学の許可を得た者の在学年限は、第 2 0 条第 2 項に定める。

#### （学年）

第 12 条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、秋学期入学生については、10月1日に始まり、翌年9月30日に終る。

#### （学期）

第 13 条 学年を次の 2 学期に分ける。

（1）春学期 4月1日から 9月30日まで

（2）秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

#### （休業日）

第 14 条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は、次のとおりとする。ただし、学長が必要と認めるときは、休業日を変更又は臨時に休業日を定めることができる。

（1）日曜日

（2）国民の祝日に関する法律（昭和 2 3 年法律第 1 7 8 号）に規定する休日

（3）本学の開学記念日 10月20日

（4）メモリアルデー 1月16日

- (5) 夏季休業 8月10日から 9月20日まで
  - (6) 冬季休業 12月25日から 翌年1月5日まで
  - (7) 春季休業 翌年2月10日から 3月31日まで
- 2 休業日の変更又は臨時的休業日については、その都度公示する。

#### 第4章 学籍

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第16条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第17条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第18条 前条の入学志願者に対しては、試験を行いその成績等により選考する。

(入学手続き及び入学許可)

第19条 入学者の選考に合格した者は、所定の期日までに入学誓約書その他所定の書類を提出し、第42条に規定する、所定の学費を納付しなければならない。

2 学長は、正当な事由なくして期日までに前項の手続きを完了しない者の合格を取消することができる。

3 学長は、第1項の入学手続きを完了した者に入学式において入学を許可し、学生証を交付する。

(編入学、転入学及び再入学)

第20条 次の各号一に該当し、本学に入学を志願する者は次のとおりとする。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
  - (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
  - (3) 専修学校専門課程を卒業した者
  - (4) 他の大学に在学中の者で、現に在学する大学の学長による転学の承認を得た者
- また、学長は次の各号一において入学を許可することができる。

(1) 編入学については、編入学定員内において、選考の上、入学を許可することができる。  
(2) 転入学及び再入学については、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

3 前3条の各規定は、第1項の入学に準用する。

(休学)

第21条 疾病その他特別の事由により修学することができない者は、1学期又は1年間(2学期)を区分として、様式第1に規定する休学願を提出し学長の許可を得て休学することができる。

2 学長は、疾病その他特別の事由により修学することが適当でないと認めるときに、教授会の議を経て、休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第22条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第10条の修業年限及び第11条の在学年限に算入することができない。

(復学)

第23条 休学期間中にその事由が消滅したときは、様式第2に規定する復学願を提出し学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は、学期の始めとする。

(転学)

第24条 他の大学又は短期大学に入学又は転入学を志願しようとする者は、様式第3に規定する転学願を提出し学長の許可を得なければならない。

(転学部)

第25条 転学部を願い出る者は、選考し各教授会の議を経て、学長がこれを許可する。

2 転学部について必要な事項は、別に規程で定める。

(留学)

第26条 外国の大学又は短期大学で修学することを志願する者は、様式第4に規定する留学願を提出し学長の許可を得なければならない。

2 第36条の規定は、前項の留学の場合に準用する。

3 第1項の許可を得て留学した期間は、第11条に定める在学年限に含めることができる。

(願い出による退学)

第27条 病気その他の事由により退学しようとする者は、様式第5に規定する退学願を提出し学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第28条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

(1) 第11条に定める在学年限を超えた者

(2) 第22条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(3) 長期間にわたり行方不明の者

(4) 学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者

## 第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第29条 授業科目は、基礎教育科目及び専門教育科目とする。

2 授業科目の種類及び単位数等は、別表第1及び第5のとおりとする。

(単位の計算方法)

第30条 各授業科目の単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学

修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位として単位数を計算する。

2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、学長が本学で教育上特別の必要があると認められるときは、教授会の議を経て、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(履修方法)

第31条 学生は、所属する学部及び学科の所定の授業科目を履修しなければならない。

2 学生は、当該年度又は当該学期に履修する授業科目を選択し、指定期間内に所定の方法により履修科目を届出なければならない。

3 履修について必要な事項は、別に規程で定める。

(単位修得等の認定)

第32条 単位修得の認定その他授業科目履修の認定は、試験その他の審査により行う。

2 試験及び審査の方法について必要な事項は、別に規程で定める。

(第1年次に入学した者の既修得単位の認定)

第33条 本学の第1年次に入学した者が大学又は短期大学を卒業又は中途退学している場合、本学で教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学長が既に修得した単位から、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目について、合計30単位を超えない範囲において、本学で修得したものとして認定することができる。

(成績の評価)

第34条 授業科目の成績は、一般講義科目は、A+、A、B、C、Fの5段階、ゼミナール科目はP、Fの2段階の評語をもって表示する。

2 表示した成績は、Fを不合格としその他を合格とする。

3 第33条、第35条及び第36条により認定された授業科目の成績は、認定(N)の評語をもって表示する。

4 成績評価について必要な事項は、別に規程で定める。

(他学部科目の履修)

第35条 学生は、他の学部開設されている授業科目のうち定められた科目を、24単位を超えない範囲において履修することができる。ただし、履修を希望する者は、あらかじめ学部長の許可を得なければならない。

2 前項の履修により修得した単位は、卒業に必要な修得単位数に算入することができる。

(他の大学の授業科目の履修)

第36条 学生は、他の大学、短期大学又は外国の大学との協議に基づき、授業科目を履修又は外国の大学に留学することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て、学長が60単位を限度として認定することができる。

3 本学を休学時に他の大学、短期大学又は外国の大学で修得した単位の認定については、別表第2に掲げる単位認定料を徴収する。

(教育職員免許状取得のための課程)

第37条 本学に教育職員免許状取得のための課程を置く。

2 本学において資格の取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、別表第3のとおりとする。

3 教育職員免許状を得ようとする者は、別表第4に定める「教科に関する基礎及び専門科目」及び別表第5に定める「教職に関する科目」を履修しなければならない。

4 別表第5に定める「教職に関する科目」は、卒業に必要な単位数に算入することができない。

## 第6章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 38 条 別表第 1 に定める所定の要件を満たした者は、教授会の議を経て、学長が進級を認める。

(卒業)

第 39 条 本学に 4 年以上在学し、別表第 1 に定める所定の単位数以上を修得した者は、教授会の議を経て、学長が卒業を認める。

2 当該学部の学生として 3 年以上在学した者が、別表第 1 に定める所定の単位数以上を優秀な成績で修得したと認めるとき、前項の規定にかかわらず教授会の議を経て、学長が早期卒業として認めることができる。

3 早期卒業について必要な事項は、別に規程で定める。

(学位)

第 40 条 学長は、卒業を認めた者に次の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付する。

(1) 経営情報学部 学士(経営学)

(2) グローバルスタディーズ学部 学士(グローバルスタディーズ学)

## 第 7 章 賞罰

(表彰)

第 41 条 人物及び学業の優秀な者、また本学の学生として表彰に値する功績があった場合は、教授会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第 42 条 本学則若しくは本学で定める諸規則に違反した者又はその他学生としての本分に反する行為があった場合は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 懲戒について必要な事項は、別に規程で定める。ただし、定めた規程は、本学則と同様の取扱で公開する。

## 第 8 章 学費

(学費の種類及び額)

第 43 条 学生は、学年毎に授業料他所定の学費を納付しなければならない。

2 学費の種類及びその額は、別表第 2 のとおりとする。

(学費の納付)

第 44 条 授業料及び施設費(維持費)は、年額の二分の一ずつを次の 2 学期に分けて納付しなければならない。

(1) 春学期(4 月から 9 月まで): 納期 4 月中

(2) 秋学期(10 月から翌年 3 月まで): 納期 10 月中

2 図書教材費は、学年始めの月に一括して納付しなければならない。

(復学等の場合の学費)

第 45 条 春学期又は秋学期に復学又は入学した者は、当該学期分の授業料及び施設費(維持費)並びに当該学年度分の図書教材費が未納の場合は、これ等を含め一括して復学又は入学した月に納付しなければならない。

(退学等の場合の学費)

第 46 条 春学期又は秋学期の途中で退学又は除籍された者の当該学期分の学費は、徴収する。

2 停学期間中の学費は、徴収する。

(休学の場合の学費)

第 47 条 休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学期間が 1 学期以上にわたる場合においてはその学期分の授業料及び施設費(維持費)は徴収しない。

2 休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学在籍料として別表第 2 に定める額を納付しなければならない。ただし、休学期間が 1 学期以下の場合においては、休学在籍料は年額の半分を

納付するものとする。

(研究生等の学費)

第 48 条 研究生、聴講生及び特別聴講学生の入学検定料、入学金及び授業料等の学費については、別に定める。

(既納の学費)

第 49 条 既納の入学検定料、入学金及び授業料等の学費は、返還しない。ただし、入学式までに入学を辞退した場合には、既納した入学手続納付金のうち、入学金を除く金額を返還する。

## 第 9 章 奨学

(奨学)

第 50 条 能力があるにもかかわらず経済的理由によって就学が困難な者及び特に学力が優れている者に対して、奨学の方法を講ずることができる。

2 奨学の方法は、奨学金の給付又は貸与とする。

3 奨学について必要な事項は、別に規程で定める。

## 第 10 章 研究生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第 51 条 本学の特定の専門事項について、研究することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が研究生として入学を許可することができる。

2 研究生について必要な事項は、別に規程で定める。

(特別聴講学生)

第 52 条 他の大学又は外国の大学の学生で、協議に基づき本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、学長が特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 特別聴講学生について必要な事項は、別に規程で定める。

(科目等履修生)

第 53 条 本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生について必要な事項は、別に規程で定める。

(聴講生)

第 54 条 本学の特定の授業科目を聴講することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生について必要な事項は、別に規程で定める。

(外国人留学生)

第 55 条 外国人であって、外国において通常の過程による 1 2 年の学校教育課程を修了した者又はこれと同等以上の資格ある者が、本学に入学を志願するときは、日本政府、日本政府の承認した外国政府若しくは日本駐在の外国公館の発行した身分証明書又はこれに準ずる証明書のある者に限り、選考し学長が入学を許可することができる。

2 外国人留学生について必要な事項は、別に規程で定める。

## 第 11 章 公開講座

(公開講座)

第 56 条 地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座について必要な事項は、別に規程で定める。

## 第 12 章 寄付講座

(寄付講座)

第 57 条 学外の機関等から授業科目の運営に必要な経費の寄付を受け、本学の教育研究に資するため、本学に寄付講座を開設することができる。

2 寄付講座について必要な事項は、別に規程で定める。

### 第 13 章 履修証明プログラム

(履修証明プログラム)

第 58 条 社会人等における多様な学びの需要に応じた様々な分野の学習機会を提供するため、本学に履修証明プログラムを設置することができる。

2 履修証明プログラムについて必要な事項は、別に規程で定める。

### 第 14 章 施設及び設備

(厚生補導施設)

第 59 条 厚生補導のための施設として、学生寄宿舎を設けることができる。寄宿舎に関する細則は別にこれを定める。

### 第 15 章 雑則

(学則の改正)

第 60 条 学則の改正は、教授会の議を経て理事会が行う。

附則

1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1 この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1 この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1 この学則は、令和 5 年 10 月 1 日から施行する。

附則

1 この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

※学則改正する場合があります。

# 多摩大学成績評価規程

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学則第34条に基づき、成績評価について必要な事項を定めることを目的とする。

(GPA)

第2条 成績評価の評定平均値(GPA)は、次の方法で算出する。

$\{(4.0 \times A + P \text{の修得単位数}) + (3.0 \times A \text{の修得単位数}) + (2.0 \times B \text{の修得単位数}) + (1.0 \times C \text{の修得単位数})\} \div \text{総履修登録単位数(「F」の単位数を含む)}$

(卒業)

第3条 卒業判定にGPAを使用する場合、多摩大学早期卒業規程による。

(面談の実施)

第4条 成績不振者の基準は、各学期の修得単位数が4単位未満の者とし、成績不振者に対する履修指導面談、就学的意思確認面談は、各年度に1回以上行い、3月31日までに実施する。

(退学勧告)

第5条 5年を越えて在籍し、GPAが1.0以下、かつ修得単位数が60単位未満の学生については、就学的意思確認面談を実施し、必要に応じて退学勧告を行うものとする。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成26年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

# 多摩大学通学に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学生規則第22条の規定に基づき、次の各号のいずれかに該当する通学手段について必要な事項を定めることを目的とする。

- (1) 徒歩又は自転車
- (2) 電車、バス等公共交通機関及び多摩大学（以下「大学」という。）所定のスクールバス
- (3) 自動二輪車（ペダル付き原動機付自転車・特定小型原動機付自転車・特例特定小型原動機付自転車を含む）

(禁止)

第2条 多摩大学では、次の各号のいずれかに該当する通学手段を禁止する。

- (1) 自動車（普通自動車以外の大型車両、特殊車両を含む）及び軽自動車（小型特殊等軽車両を含む）
- (2) 大学に未登録の二輪車
- (3) その他大学が相応しくないと判断した手段

(対象)

第3条 多摩大学に在籍する全ての学生を対象とする。

2 次の各号に定める場合は対象外とする。

- (1) 特別な事情があり、大学から日常的に自動車通学を許可された場合
- (2) 学園祭等大学において行事を開催する際、大学が認めたその主催者、団体の許可を取得した場合
- (3) 大学事務局の許可を取得した場合

(違法・迷惑駐車)

第4条 上記規定に係らず、大学近隣地域の公共施設、道路、公有地、私有地等への違法及び迷惑駐車を禁止する。

(違反者への罰則)

第5条 この規程の第2条又は第4条に違反した者は、多摩大学学則第41条の規定に基づき学長が懲戒する。

(管理責任者)

第6条 管理責任者は事務局長とし、学生課が庶務を担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、学生委員会及び教授会の議を経て、学長が行う。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成24年12月1日から施行する。

附則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

# 多摩大学学生懲戒規程

(目的)

第1条 この規程は、多摩大学学則（以下「学則」という。）第42条の規定に基づき学生の懲戒について必要な事項を定めることを目的とする。

(懲戒の定義)

第2条 懲戒対象者は、学則に規定する学部学生、研究生、特別聴講生、科目等履修生、聴講生（以下「学生」という。）とする。

2 懲戒は、本学で学生の本分を全うさせるために、学校教育法及び学校教育法施行規則に基づき行う。

3 懲戒は、総合的に検討し教育的見地に基づき行う。

4 懲戒により学生に科す不利益は、懲戒目的を達成するため必要最小限とする。

(懲戒の種類)

第3条 学則第42条第2項で規定した懲戒の種類は、次の各号の一に該当する内容とする。

(1) 退学は、学生としての身分を奪う事。

(2) 停学は、無期又は有期としその期間の登校を禁止する事。

ア 停学の期間は、在学年限に含め修業年限に含めない。

イ 停学の期間が1カ月以下でかつ特別の事情がある場合は、学生委員会で審議し第7条に規定する学長の決定において修業年限に含めることができる。

ウ 有期停学は6ヶ月以下とする。

(3) 訓告は、口頭及び文書により嚴重な注意を行い、期限を定めて反省文の提出をさせる事。

(懲戒の基準)

第4条 前条に定める懲戒の基準は、次の各号の一に該当する内容とする。

(1) 退学

ア 本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合で特に悪質と判断した場合

イ 学内又は学外において重大な非違行為を行った場合で特に悪質と判断した場合

ウ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で特に悪質と判断した場合

エ 本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合で特に悪質と判断した場合

オ その他退学を受けた者の行為を教唆若しくは幫助した場合

(2) 停学

ア 本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合

イ 学内又は学外において悪質な非違行為を行った場合

ウ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で悪質と判断した場合

エ 本学が実施する試験等において、悪質な不正行為を行った場合

オ その他懲戒処分をしても改善の見込みがない場合

(3) 訓告

ア 学内又は学外において非違行為を行った場合

イ 本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合

ウ 本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合

(審議)

第5条 学部長は、学生が懲戒の対象となりうる事項があったと認められるとき、学生委員会に調査を命ずる。

2 学生委員会は、事実関係の調査及び懲戒の種類を審議を行い、結果を教授会へ報告する。

(調査)

第6条

学生委員会は、当該学生及び関係者等から資料の提出を求め、事情及び意見を聴くことができる。

2 学生委員会は、当該学生に弁明の機会を与える。

3 当該学生は、弁明の場において必要な証拠を提出し証人の喚問を求めることができる。また、

当該学生は、補佐人を指名し補佐を受けることができる。

4 当該学生が、弁明の場を正当な理由なく欠席したとき、弁明の権利を放棄したものとする。

5 学生委員会は、懲戒処分決定前に謹慎を命ずることができる。ただし、謹慎の期間は、3ヶ月以内とする。

6 謹慎は、当該学生の行為が第4条で定める懲戒基準に該当するとき行うことができる。

7 謹慎期間は、停学期間に通算することができる。

8 謹慎期間中は、本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、参加ができる。

9 謹慎期間中に休学又は退学を申し出た場合は、これを認めない。

(懲戒の決定及び解除)

第7条 懲戒は、教授会の議を経て、学長が行う。

2 懲戒は、様式第1に定める懲戒通知書に理由も添えて当該学生に通知する。ただし、有期停学の場合は、停学解除日も通知する。

3 無期停学の解除行う場合は、教授会の議を経て、学長が行う。学長は、決定により停学解除を当該学生に文書で通知する。

(再審査)

第8条 懲戒を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見又はその他正当な理由があるとき、それらを示す資料を添えて文書にし、学長に再審査の申請を行うことができる。

2 再審査の申請は、懲戒通知書の決定日から1ヶ月以内とする。

3 学長は、再審査を行うかどうか判断し教授会の議を経て決定する。

4 学長は、再審査の必要があると決定したとき、学部長に再審査を命じる。

5 学長は、再審査の必要がないと決定したとき、当該学生に文書で通知する。

6 再審査の申請を行い学長が教授会の議を経て、懲戒の決定又は解除行うまでは、すでに決定された懲戒内容の変更はできない。

7 再審査の調査は、第6条の規定を準用する。

(停学期間中の措置)

第9条 停学期間中は、当該学生が本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験、及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、この限りではない。

2 停学期間中は、当該学生に対して定期的な面談及び指導を行う。

3 停学期間中に休学又は退学を申し出た場合は、これを認めない。

(事務)

第10条 学生課は、学生の懲戒についての庶務を担当する。

(規程の公開)

第11条 本規程は、学生の不利益等につながる重要な規程であることから、本学のホームページ、学生ハンドブック等に学則と同様の取扱で公開する。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

## 懲戒の対象となる非違行為の例と懲戒処分の標準例

種類	行為の内容	懲戒の量定基準			
		退学	停学	訓告	
犯罪行為等	殺人、強盗、放火、強制性交等の凶悪な犯罪行為又は犯罪未遂行為	○			
	麻薬、覚せい剤等の薬物犯罪（不正所持または使用）	○	○		
	暴行、傷害、万引きその他の窃盗、横領、恐喝または詐欺、賭博	○	○	○	
	痴漢行為（覗き見や盗撮行為を含む）、わいせつ行為（公然わいせつ、わいせつ物頒布を含む）またはストーカー行為	○	○	○	
	インターネットを利用して、公序良俗に反する行為、第三者への誹謗・中傷、プライバシーの侵害、虚偽情報の発信又はソフトウェアなどの著作権及び特許権その他の知的財産権の侵害を行った場合	○	○	○	
	コンピュータ又はネットワークへの不正又は不適切な使用、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持込、情報漏洩、文献等の違法ダウンロード・アップロード等	○	○	○	
	飲酒の強要又はアルコール飲料の一気飲み等が原因となり重大な事態に至った場合	○	○		
	未成年と知りながら強要して該当者に飲酒させた行為	○	○	○	
	飲酒を拒む者に強要して当該者に飲酒させた場合	○	○	○	
交通事故等	無免許運転、飲酒運転、暴走運転等悪質な交通法違反	死亡または重度の後遺症を負わせる人身事故を起こした場合	○		
		上記以外の人身事故を起こした場合	○	○	
	死亡または重度の後遺症を負わせる人身事故を起こした場合	○	○	○	
	故意もしくは重大な過失により人身事故を伴う交通事故を起こした場合	○	○	○	
	故意もしくは重大な過失により交通事故をした場合、または事故後の危険防止を怠る等の措置義務違反をした場合	○	○	○	
学内の非違行為及び試験不正行為	本学の教育研究又は管理運営を著しく妨げる暴力行為	○	○	○	
	本学が管理する建造物への不法侵入又はその不正使用もしくは占拠	○	○	○	
	本学が管理する建造物又は器物の破壊、汚損、不正改築等	○	○	○	
	本学構成員に対する暴力行為、威嚇、拘禁、拘束	○	○	○	
	替え玉受験、試験問題の不正入手	○	○	○	
	本学が実施する試験等におけるカンニング等の不正行為	○	○	○	
	本学が実施する試験等で監督者の注意または指示に従わなかった場合			○	
法令・条例等や本学の規則等、又は命令に違反した場合、又は学生としての本分に反した行為	○	○	○		

注意：上記の「行為の内容」及び「懲戒の量定基準」は標準的な例を掲げたものであり、実際の懲戒は社会情勢等を総合的に考慮して量定を決定するものとする

# 多摩大学グローバルスタディーズ学部外国人留学生規程細則

(目的)

第1条 この細則は、「多摩大学外国人留学生規程」に基づき、多摩大学グローバルスタディーズ学部の留学生の受入れ及び在籍管理の適正化を図ることを目的とする。

(留学生の受入)

第2条 「令和2年度大学入学者選抜実施要項（令和元年6月4日付け元文科高第102号文部科学省高等教育局長通知）」により、留学生を対象とした入試において「修学目的を達するための重要な能力・意欲・適性等を有しているかを適正に判定する」ことが大学に求められ、「日本語で授業を行う場合、日本語能力試験N2レベル相当以上が目安」とされている。これに基づき、留学生入試選抜において日本語等の必要な能力の基準を明確にし、N2以上の学生を受け入れるように努める。

(入学後の学修支援)

第3条 留学生が日本語能力を向上する機会を確保し本学で修学目的を達成するために、現在実施している日本語教育を含む学修支援を継続し、今後留学生在籍者数の増加に応じて拡充するように努める。

第4条 日本語能力試験等の受験を希望する留学生に対して、国際交流委員会が受験費用のサポートを行う。

(在留資格等の情報把握)

第5条 留学生は、在留資格、在留期間、現住所、連絡先等の情報を、年度開始の2週間以内に国際交流課に所定の書式に記載して提出しなければならない。記載内容に変更が生じた場合、その都度速やかに同様に届け出なければならない。

第6条 正当な理由により3ヶ月以上日本を離れる場合、出国2週間前までに国際交流課に長期不在申請書を提出しなければならない。国際交流委員会は長期欠席の理由をもとに許可の可否を審議する。許可された学生は日本帰国後、速やかに国際交流課に報告しなければならない。

(在籍管理)

第7条 国際交流課は、毎月1回外国人留学生の所在を確認し、授業の出欠状況の把握に努める。1ヶ月以上講義に出席しない学生（第6条に基づき申請を許可された留学生を除く）を長期欠席者とし、以下の段階で対処する。

- (1) 1ヶ月以上の長期欠席者：教授会報告をし、当該学生本人に電話で連絡する。1ヶ月以上の長期欠席者に関しては国際交流課長が面談を行い、長期欠席の理由、学習意欲の有無等について確認する。
- (2) 2ヶ月以上の長期欠席者：前月までの状況をまとめて報告書を作成するとともに要注意長期欠席者として教授会報告をし、その旨を当該学生へ書面にて通知する。2ヶ月以上の長期欠席者に関しては国際交流委員長と国際交流課長が面談を行う。
- (3) 3ヶ月以上の長期欠席者：3ヶ月以上の長期欠席者は就学意欲が著しく低下し、本学で修学継続が見込まれない者と判断し、退学勧告を書面にて通知するとともに、行方不明者として入国管理局に報告する。行方不明者となった留学生に対して入国管理局が行う行方不明者の調査に、国際交流委員会と国際交流課は協力する。

退学勧告の通知を第5条に基づき届け出られた住所又は連絡先へ発送（発信）して1ヶ月が経過しても連絡がつかない場合、関係部署と協議したうえで除籍する。上記1ヶ月の経過前に出席した学生に対しては、学部長、国際交流委員長、国際交流課長が面談を行う。改善が見られない場合は、関係部署と協議し、除籍を含む適切な措置を講ずる。

第8条 外国人留学生が著しく単位の修得数が少ない場合（原則として2学期連続で各学期の修得単位数が8単位以下の場合）、関係部署と協議し、除籍を含む適切な措置を講ずる。

(資格外活動)

第9条 「留学」の在留資格に係る資格外活動を行う場合、「資格外活動許可」を取得する必要があること、活動内容の制限について、留学生ガイダンス等で徹底周知する。

(規定の改廃)

第10条 本細則の改廃は、国際交流委員会の議により原案を作成し、教授会の議を経て学長が行う。

附則

1 この細則は、令和5年4月1日から施行する。

附則

1 この細則は、令和8年4月1日から施行する。



# 建学の精神

田村学園は、昭和12(1927)年10月に田村國雄が建学の精神「質実清楚・明朗進取・感謝奉仕」を礎として目黒区下目黒の地に社会に貢献できる女子実業人を養成することを目的として「目黒商業女学校」を設立し、幼稚園及び系列の短期大学と共に女子教育を行ってきた。その後の教育体制を整えるため、高等教育としては、平成元(1989)年に多摩大学を設置し、中等教育は進学ニーズに合わせて男女共学の中高一貫教育への改組等を行い、現在では、多摩大学・大学院、多摩大学目黒中学校・高等学校、多摩大学附属聖ヶ丘中学校・高等学校、目黒幼稚園・大森双葉幼稚園・三宿さくら幼稚園まで、大学・大学院を頂点として幼稚園、中学校・高等学校・大学・大学院の一貫教育としての体制が整っている。

本学園は、その目的を「豊かな個性を伸ばし、新しい時代に活躍できる人材を育成すること」と寄附行為第3条で規定している。

## 基本理念

建学の精神・学園の目的を踏まえ平成元(1989)年大学開学時に本学の基本理念を「国際性」、「学際性」、「実索性」の3つのキーワードとした。そして、国際化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担い、日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と広い視野を持ち自らを厳しく律することが出来る高い倫理観のある人材を育成することに尽力してきている。

【国際性】 グローバル社会の一員として、積極的な役割を果たす人材を育成する。

【学際性】 行き過ぎた専門化の弊害を是正するため、学際的な研究・教育への取組を重視する。

【実索性】 大学に対する「象牙の塔」批判を克服すべく、「社会に通用する大学」を標榜する。

## 教育理念

本学は、基本理念に従い開学以来「実学」を標榜し、時代の最先端を走る産業界で活躍した人材を教壇へ多数登用する等、「実学教育」を一貫して実践してきた。開学20周年の平成21(2009)年を機に、この「実学教育」をさらに深化させるため、新しい時代の実学を「今を生きる時代についての認識を深め、課題解決能力を高めること」と再定義し、本学の教育理念を「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野の共通理念とした。

「現代の志塾」とは、「アジア・ユーラシアダイナミズム」に代表される「現代」、社会の不条理の解決のために自らの職業や仕事を通じて貢献をする「志」、人間的な触れ合いによる少人数制ゼミを中心とした「手作り教育」の「塾」を意味している。実社会に活かすことのできる力を備え、問題解決の最前線に立つ「志」人材の育成に尽力し、個性と特色にあふれた「ゼミ力の多摩大」を形成している。

# 使命・目的

多摩大学学則

第1条 多摩大学(以下「本学」という。)は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを使命・目的とする。

## 教育研究上の目的

多摩大学学則

第5条 3 グローバルスタディーズ学部は、文明・歴史・経済・多文化交流などに関する学術と応用を教授研究し、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養をもとにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成することを使命・目的とする。

## 学年暦 ( 2026-2027 Academic Calendar )

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
4月				オリエンテーション I TOEIC IPテスト 履修登録期間開始	オリエンテーション II	オリエンテーション III	
	5	6	7	8	9	10	11
	入学式	①	①	①	①	①	①
	12	13	14	15	16	17	18
		②	②	②	②	② 履修登録期間終了	②
	19	20	21	22	23	24	25
		③	③	③	③	③	③
	26	27	28	29	30		
	④	④	④ 昭和の日	-			

	日	月	火	水	木	金	土	
							1	2
5月							-	-
	3	4	5	6	7	8	9	
	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	④	④	④	
	10	11	12	13	14	15	16	
		⑤ 履修中止期間開始	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤ 履修中止期間終了	
	17	18	19	20	21	22	23	
		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	
	24	25	26	27	28	29	30	
		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
	31							

	日	月	火	水	木	金	土	
								6
6月								⑧
		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	
	7	8	9	10	11	12	13	
		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨ TOEIC IPテスト	
	14	15	16	17	18	19	20	
		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	
	21	22	23	24	25	26	27	
		⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	
	28	29	30					
	⑫	⑫						

※数字を○で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。  
 ※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

## 学年暦( 2026-2027 Academic Calendar )

	日	月	火	水	木	金	土
7月				1	2	3	4
				⑫	⑫	⑫	⑫
	5	6	7	8	9	10	11
		⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬
	12	13	14	15	16	17	18
		⑭	⑭	⑭	⑭	⑭	⑭ TOEIC IPテスト
	19	20	21	22	23	24	25
		⑮ 海の日	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
26	27	28	29	30	31		
	学期末試験Ⅰ	学期末試験Ⅱ	学期末試験Ⅲ				

	日	月	火	水	木	金	土
8月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
			山の日				
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

	日	月	火	水	木	金	土
9月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
						入学式/卒業式	
	13	14	15	16	17	18	19
				履修登録期間開始			
	20	21	22	23	24	25	26
		敬老の日	振替休日	① 秋分の日	①	①	①
	27	28	29	30			
	①	①	②				

※数字を○で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。

※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

## 学年暦( 2026-2027 Academic Calendar )

	日	月	火	水	木	金	土
10月					1	2	3
					-	②	②
	4	5	6	7	8	9	10
		②	履修登録期間終了	③	②	③	③
	11	12	13	14	15	16	17
		③ スポーツの日	③	④	③	④	④ TOEIC IPテスト
	18	19	20	21	22	23	24
		④	④	履修中止期間開始	④	⑤	⑤
25	26	27	28	29	30	31	
	⑤	履修中止期間終了	⑥	⑤	⑥	⑥	

	日	月	火	水	木	金	土
11月	1	2	3	4	5	6	7
		⑥	文化の日	⑦	⑥	SGSフェスタ準備日	SGSフェスタ
	8	9	10	11	12	13	14
	SGSフェスタ片付け日	⑦	⑥	⑧	⑦	⑦	⑦
	15	16	17	18	19	20	21
		⑧	⑦	-	⑧	⑧	⑧
	22	23	24	25	26	27	28
		⑨ 勤労感謝の日	⑧	⑨	⑨	⑨	⑨
29	30						
	⑩						

	日	月	火	水	木	金	土
12月			1	2	3	4	5
			⑨	⑩	⑩	⑩	⑩ TOEIC IPテスト
	6	7	8	9	10	11	12
		⑪	⑩	⑪	⑪	⑪	⑪
	13	14	15	16	17	18	19
		⑫	⑪	⑫	⑫	⑫	⑫
	20	21	22	23	24	25	26
		⑬	⑫				
27	28	29	30	31			

※数字を○で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。  
 ※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

## 学年暦( 2026-2027 Academic Calendar )

	日	月	火	水	木	金	土
1月						1 元日	2
	3	4	5	6	7	8	9
				⑬	⑬	⑬	⑬ TOEIC IPテスト
	10	11 成人の日	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	大学入学共通テスト	⑭	⑭	⑮	⑮	⑮	⑮ ⑭ 大学入学共通テスト
	24	25	26	27	28	29	30
		⑮	⑮	学期末試験 I	学期末試験 II	学期末試験 III	
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
2月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
					建国記念日		
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
			天皇誕生日				
	28						

	日	月	火	水	木	金	土
3月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	卒業式 春分の日	振替休日					
	28	29	30	31			

※数字を○で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。  
 ※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

# 窓口業務時間・取扱い内容

大学事務局・施設	所在	取扱業務	業務時間等
総務課	W棟1階	学費（支払い、相談等） 学食、自販機トラブル対応、学内の空調対応等、学内アルバイト 手続関連、施設関連全般	8：50～17：30（平日） 8：50～13：30（土曜日） ※保健室9：00～17：00（平日のみ） ※土曜日の窓口は開いておりますが、受けられないサービスがある場合があります ※長期休暇（夏休み・春休み）中の土曜日は原則事務局閉室とします
教務課		授業、カリキュラム、履修、定期試験、合理的配慮、教職課程、休講、TOEIC、教科書購入、証明書発行等 学修支援室申込対応、 オフィスアワー対応、空き教室使用申込、CHP（特別専修プログラム）	
学生課		学生証再発行、証明書発行、各種変更手続き（住所・電話・保証人等）、休退学窓口、奨学金対応、学内施設使用申込、自転車・ロッカー・備品・鍵の貸し出し、落とし物対応、学生会・サークル・学園祭関連対応、学生生活全般、課外活動全般	
学生課（保健室）		学生・教職員の健康管理、傷病者対応、学生相談室窓口、 災害傷害保険対応、健康診断、 <b>AED</b> 管理	
国際交流センター事務課		海外留学関連全般、海外留学奨学金、留学生対応、国際交流イベント等	
事業推進室		地域活動サポート、国際交流活動イベント参加等	
教務課メディア・サービス		情報処理室の管理、ネットワーク・PC・ICTサポート	

入試課	W棟 1階	学生募集、入学試験、母校訪問、オープンキャンパス対応	8:50~17:30 (平日のみ)
キャリア支援課	W棟 2階	進路相談、就職支援、国内インターンシップ、キャリア支援講座	
図書館	E棟 1階	図書等資料の貸出、レファレンス、文献取り寄せ、コピーサービス	8:50~18:00 (平日のみ)
学生相談室	研究棟 205	学生相談、サポート	11:30~17:00 (月・火・木曜日)
学修支援室	研究棟 108	英語力向上 (TOEIC)	13:00~18:00 (月・火・木・金曜日)
教職支援室	研究棟 106	教職サポート	8:50~20:00 (平日) 8:50~16:30 (土曜日) ※教職課程履修者のみ利用可能
CHP ルーム	研究棟 109	CHP 参加学生の学修スペース	8:50~20:00 (平日) 8:50~16:30 (土曜日) ※CHP 参加学生のみ利用可能
情報処理室 (W201・W202)	W棟 2階	パソコン等の機器を自由に使用可能 ※W201はラーニングcommonsを兼ねる	8:50~20:00 (平日) 8:50~16:30 (土曜日) ※講義時間外使用可
ラウンジ (アゴラ含む)	E棟 1階	フリースペース、飲食可、コピー機	8:00~20:30 (平日) 8:00~20:30 (土曜日)
カフェテリア	W棟 1階	食堂、各種自販機、印刷機	11:30~14:30 (平日のみ)
教室の利用	E棟、W棟	教務課にて要予約	9:00~20:30 (平日) 9:00~20:30 (土曜日) ※講義時間外使用可
体育館/ テニスコート (一般利用)		学生課にて要予約	9:00~16:10 (平日) 事前予約のみ可(土曜日)
体育館/ テニスコート (サークル)		サークル活動日使用可	16:20~20:30 (平日) 事前予約のみ可(土曜日)
更衣室	体育館 2階	授業での使用、サークル活動日使用可	9:00~20:30 (月~土曜日)

※休業期間中は変更が生じる場合があります。

## 第Ⅱ部：教務について

教務課では、カリキュラム、時間割、履修科目の登録や単位数と卒業要件といった履修に関連する事項を主に取り扱っています。履修に関することで質問や不明な点がありましたら、教務課へお問い合わせください。

### 1. 学士号授与の基本的な考え方及び教育課程編成・実施

#### 〔ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）〕

##### 1 育成する人材

本学は「現代の志塾」を教育理念とし、グローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高い「多摩グローバル人材（多摩・湘南のローカリティを究めることにより、グローバルに目を開く“グローカリティ”という思想を持つ多摩・湘南地域の活性化をリードするグローバル人材）」を育成する。

グローバルスタディーズ学部では、「多摩グローバル人材」の具体像として、文化・社会・経済・多文化交流などに関する学術と応用を教育研究し、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養をもとにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成する。

##### 2 学位授与方針

グローバルスタディーズ学部の教育課程においては、以下の学修成果目標を達成し「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。

#### （学修成果目標）

##### （1）知識と理解【グローバル社会に対する理解】

基礎的な学力を養い、湘南地域や日本の文化・歴史・風土を学び、日本とは何かを説明するための専門的知識を修得する。また、日本とは異なる文化や習慣・価値観について、専門的知識を体系的に修得するだけでなく、これらを理解し受け入れることができる。

## (2) 思考と判断【考え抜く力】

現状を分析して、グローバルな課題を明らかにできる課題発見力、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する計画力、課題に対して新たな価値や解決方法を生み出せる創造力を修得する。

## (3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】

物事に積極的に取り組む主体性や目的に向かって周囲の人を動かしていける巻き込み力、失敗を恐れずに粘り強く行動していける実行力を身につけ、グローバルな舞台で活躍するとともに、国際社会の発展に貢献できるようになる。

## (4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】

日本語だけではなく、グローバルな共通語としての英語によるコミュニケーション能力を修得し、情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できるようになる。

## (5) 高い志【環境対応能力と先進性】

大学卒業後も自律・自立して学習できる生涯学習力と、グローバルな課題解決の一端を担い、自らを律しながら湘南地域からグローバルな舞台まで活躍し、地球社会の未来に貢献できるようになる。

## 〔カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）〕

グローバルスタディーズ学部では、「志」の高い「多摩グローバル」人材を育成するため、ディプロマポリシーで掲げた5つの教育目標に求められる体系的な教育課程を、以下のカリキュラムを通じて実現する。

講義の成績は、一般講義科目に関してはシラバスに記載された到達目標への達成度により絶対評価で評価する。ゼミナール科目に関しては、ディプロマポリシーで掲げた5つの学習成果目標を評価の視点として、ゼミ活動によりどれだけ成長できたのかを総合的に判断し評価する。

## (1) 初年次教育

初年次においては、2年次以降の主体的な学びの基礎となる、英語によるコミュニケーション能力の、聞く、話す、読む、書くという4つの要素のバランスのよい修得を可能とするよう「英語集中教育」を必修としている。また、「プレゼミ」、「コンピューター入門」、「キャリア・アプローチ」を全員が必ず履修とし、大学で学ぶための基礎力の向上を目的とする。特に「英語集中教育」では、習熟度別によるクラス編成を行い、少人数クラスで、学生一人一人が自主的かつ積極的に参加することを奨励する。

## (2) 教養教育

広い視野から学問の広がりや奥行きを理解し、特定の専門分野にかたよらない総合的な視点や柔軟な理解力を獲得することを目的としている。

基礎教育科目では、グローバル化する状況を踏まえ、全体知：文化・社会・経済・歴史・多文化交流など地球規模で起こっている事象を多岐にわたって学ぶ。

その土壌の基、専門教育科目では、発展・実践的な教養教育にて学生それぞれに学際的な学びを奨励する。

## (3) 基礎教育科目

グローバル社会に対する理解と考え抜く力を養うために、「基礎教育科目」として幅広い分野の科目を展開する。学生はこれらの科目の中から、それぞれの関心に基づいて講義を選択することができる。

「選択必修」は、湘南地域だけでなく、グローバルな舞台で活躍するために必要とされる知識やコミュニケーション能力などの基礎的な内容を修得することを目的とする科目である。これらの科目は、グローバルスタディーズ学部での学修の基礎となる。

「共通一般」は、豊かな人格形成の基礎となる教養と、国際社会に関する基礎的な理解を得ることを目的とする科目で構成されている。学生はこれらの科目を履修することで、グローバル社会における時代認識と、生きる力を身につける。

「多摩グローバル人材」に要求される異文化理解のためには、日本とは異なる文化や習慣・価値観を学修・体験することが重要である。そのために、第2外国語科目を配置している。英語科目は2年次以降に上級レベル、海外提携校留学準備に即した英語科目などをはじめ、習熟度に応じたレベルの授業を配置し、段階的かつ長期的な英語学修プログラムを展開している。

## (4) 専門教育科目

2年次以降は、「ホスピタリティ・マネジメントコース」と、「国際教養コース」の2コースに分かれ、それぞれの専門科目を学修する。

「ホスピタリティ・マネジメントコース」は、学際的な観光学と異文化・自文化理解を主軸とし、学際的な観光学や、ホスピタリティ／サービス産業の実務を学修する科目を展開すると共に、異文化・自文化を広く深く学修するための地域研究に関する科目を展開している。

「国際教養コース」は、グローバルな共通語である英語に対する理解と、グローバルな課題解決の一端を担うための考え抜く力や技能を主軸とし、幅広い分野の科目を展開している。

3年次からは学生一人一人の関心に基づき、2年間に渡って学修する専門分野となる「ホームゼミ」

を選択する。「ホームゼミ」では、少人数教育を基本とし、アクティブラーニングの手法を活用して、専門知識だけでなく、コミュニケーション能力や課題解決力などを養う。

## (5) 教職課程

グローバルな共通語である英語によるコミュニケーション能力を修得し、グローバル社会に貢献する1つのあり方として、地球社会の未来を担う人材の育成という「志」を実現することが出来るように、中学校及び高等学校の英語科教員免許状を取得するための教職課程を設置し、「教職に関する科目」を展開している。

# 2. 授業科目と単位制

## (1) セメスター制

1年を春学期と秋学期の2学期に分けて授業を行います。そして、本学では1学期ごとに授業が完結するセメスター制を導入し、半期に集中して授業を行うことにより学修効果を高めています。

## (2) 授業科目

授業科目は次のいずれかに指定されています。

必修科目:必ず修得しなければならない科目

この科目の単位が未修得の場合は、単に卒業要件単位数を修得していても、卒業することができません。

選択必修及び選択科目:特定されている科目の中から一定の単位数を必修とする科目

この科目も、必修科目と同じく未修得の場合は、単に卒業要件総単位数を修得していても、卒業することができません。

自由選択科目:特定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目

### [開講形態]

授業の開講形態には、以下の3つがあります。

- ・ 週1回1時限で完結するもの(授業回数:原則15回)
- ・ 2時限にわたって、行われるもの(授業回数:原則30回)
  - 授業の効果をあげるため、同一曜日に連続した時限(例えば火曜日1・2時限連続など)で行われる場合
  - 異なる曜日(例えば、月曜日3時限目と木曜日4時限目の組み合わせなど)で行われる場合
- ・ 学年暦とは別のスケジュールを定めて開講するもの(春・夏期集中講義等)

### (3) 単位制

科目の履修には単位制が採用されています。

#### [単位制とは]

科目ごとに一定の基準により単位数が決められており、その科目を履修し、試験等に合格して単位を修得し、その修得した単位数が卒業の要件として定められた基準を満たした場合に、卒業が認められる制度です。

#### [授業時間と単位]

単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。また、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位を計算しています。

#### [単位の認定]

履修登録を行い、その授業科目を履修し、同科目のシラバスに記載の到達目標と評価方法の基準に基づき、合格(60点以上)をおさめることにより、単位が与えられます。

ただし、その授業科目が開講されている期間の学期末まで在学している必要があります。

### 3. カリキュラム

#### (1) 令和7(2025)年度以降入学生

##### 進級要件

- ・2年時への進級 … 要件なし
- ・3年次への進級 … 2年次終了時点で卒業要件単位数を40単位以上修得、及び通算 GPA が1.0以上。ただし、5学期以上在籍している学生は、40単位以上修得し、進級年度の1学期の GPA が1.0以上。
- ・4年次への進級 … 要件なし

##### 卒業要件

科目群	科目区分		必修	選択必修	選択	自由選択
基礎教育科目群	英語集中教育 科目(AEP)	1年次英語	1 2	-	-	-
		初・中・上級英語 学外(国外)実習科目	-	1 4	-	1 0
	共通科目	コア	-	8	-	
		一般 (学外(国内)実習科目、 キャリア科目含む)	-	-	2 6※1	
専門教育科目群			-	-	5 4※2※3	
小計			1 2	2 2	8 0	1 0
合計			1 2 4			

※1：他学部履修した場合、24単位を上限に基礎教育科目群・共通科目・一般・選択区分の単位として認定する。

※2：ゼミナール科目群の科目は、メジャー登録したコースの選択科目に算入される。

※3：メジャー登録したコースから、最低限36単位修得しなければならない。なお、コースは2年次進級前に確定する。

## (2) 令和4(2022)年度～令和6(2024)年度入学生 進級要件

- ・2年時への進級 … 要件なし
- ・3年次への進級 … 2年次終了時点で卒業要件単位数40単位以上修得、及び通算 GPA が1.0以上。ただし、5学期以上在籍している学生は、40単位以上修得し、進級年度の1学期の GPA が1.0以上。
- ・4年次への進級 … 要件なし

## 卒業要件

科目群	科目区分		必修	選択必修	選択	自由選択
基礎教育科目群	英語集中教育 科目(AEP)	1年次英語	12	-	-	10
		初・中・上級英語 学外(国外)実習科目	-	10	-	
	共通科目	コア	-	8	-	
		一般 (学外(国内)実習科目、 キャリア科目含む)	-	-	28※1	
専門教育科目群			-	-	56※2※3	
小計			12	18	84	10
合計			124			

※1：他学部履修した場合、24単位を上限に基礎教育科目群・共通科目・一般・選択区分の単位として認定する。

※2：ゼミナール科目群の科目は、メジャー登録したコースの選択科目に算入される。

※3：メジャー登録したコースから、最低限36単位修得しなければならない。なお、コースは2年次進級前に確定する。

## (3) 令和3(2021)年度以前入学生 進級要件

- ・2年次への進級 … 要件なし
- ・3年次への進級 … 要件なし
- ・4年次への進級 … 要件なし

## 卒業要件

科目群	科目区分		必修	選択必修	選択	その他
基礎教育 科目	語学	英語集中教育	16			10
		TOEIC 演習	2			
	共通科目	選択必修		8		
		選択			3 2 ※1 ※2	
	計		58			
専門教育 科目	所属区分				5 6 ※3	
	所属しない区分					
	計		56			
合計		124				

※1 指定された科目を他学部履修した場合、24単位を限度に基礎教育科目・共通科目選択区分の単位として認めることができる。

※2 「上級英語」または「留学科目」から最低限4単位修得しなければならない。

※3 メジャー登録した分野から最低限36単位修得しなければならない。

◎一定の認定基準を満たしている英語能力の高い学生は、英語集中教育(AEP)及び TOEIC 演習の必修単位数(18単位)の一部を、卒業要件単位数として算入することができる。

### (4)履修登録単位の上限

履修登録では、下表の通り、登録できる単位数に上限があります。

これは、過度な科目登録による理解度の低下を防ぐためです。定められた上限の範囲内で、一つ一つの科目の理解をより深めてください。

令和4(2022)年度以降入学生

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
上限単位数	2 2 単位	2 4 単位	2 4 単位	2 6 単位

(1)前学期の GPA が 2.8 以上の場合は、各学期 2.6 単位まで履修登録することができます。なお、前々学期に GPA 2.8 以上を修得しても、前学期に留学・休学等で GPA が 2.8 未満もしくはなしの場合は、履修上限の弾力化は適用しません。

(2)履修上限外科目: Discover World (Study Abroad) I~VIII、Discover Japan (地域研修) I~III、国内インターンシップ概論、国内インターンシップ実習、Internship Abroad、学長監修リレー講座 I/II、一部の集中講義科目※及び教職に関する科目等は上限単位に含まれません。

※集中講義科目のうち上限単位に含まれる科目

・・・ホームゼミ I～IV、卒業論文

※集中講義科目のうち上限単位に含まれない科目

・・・CHP チュートリアル I～IV、その他長期休暇中に開講する科目

令和3(2021)年度以前入学生

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
上限単位数	22単位	24単位	24単位	26単位

(1)履修上限外科目：Study Abroad I～VIII、Discover Japan(地域研修) I～III、国内インターンシップ概論、国内インターンシップ実習 I/II、Internship Abroad、プロジェクトゼミ IV/V(学長監修リレー講座 I/II)、一部の集中講義科目※及び教職に関する科目等は上限単位に含まれません。

※集中講義科目のうち上限単位に含まれる科目

・・・ゼミナール I～IV、卒業研究

※集中講義科目のうち上限単位に含まれない科目

・・・長期休暇中に開講する科目

## (5)メジャー(コース)登録

2年次進級前に、所属コースとして「ホスピタリティ・マネジメントコース」、あるいは「国際教養コース」のどちらかを選択します(これをメジャー登録と言います)。原則、一度決定したコースの変更は認められません。

## 4. 履修登録

### (1) 履修登録とは

履修登録とは、授業を受けて単位を修得するために、毎学期の始めに、各自の履修計画に基づき、シラバスやその学期の時間割表等から履修科目を決定して、履修科目の登録をする手続きをいいます。履修登録を怠ったり、登録漏れや間違いがあったりした場合は、たとえ授業に出席し、試験を受けたとしても単位は修得できません。従って、この手続きは、最も重要な手続きであることを認識してください。

### (2) 履修科目の決定

カリキュラム(科目編成)表、時間割、講義概要(シラバス)及び個人的な関心を含むその他の事項を検討し、履修を希望する科目を注意深く選んでください。ただし履修定員や、履修するための前提条件などが設定されている科目があります。よくシラバスを注意して読んでください。

### (3) 登録方法

T-NEXT 上で科目を登録・確認する方法により行います。

なお、システムの利用には、多摩大学共通アカウント・共通パスワードが必要です。

### (4) 履修登録上の注意

- ・履修登録・確認は、情報処理室のパソコン及び個人で保有しているパソコン・スマートフォン等から行ってください。
- ・履修登録期間中（特に最終日）は学内のパソコン及び学内ネットワークの利用が混雑したり、パソコンの動作が遅くなったりすることが予想されます。履修登録にあたってはあらかじめ科目を決定した上で、十分に時間的な余裕を持って行ってください。いかなる理由であっても、履修登録ができなければ、単位の修得ができません。
- ・履修登録の詳細な注意事項は別途お知らせします。

## (5) 履修登録・確認・削除の流れ

履修計画を立てる

- ・前学期までの成績や、今学期の時間割、シラバス、学生ハンドブック等から、履修する科目を決定してください。
- ・履修や卒業要件に関して不明なこと、確認したいことがあれば、教務課窓口まで気軽に相談に来てください。

授業開始

履修登録確認（登録・削除）期間

- ・授業開始  
春学期: 4月6日(月)  
秋学期: 9月23日(水)
- ・履修登録確認(登録・削除)期間  
春学期: 4月1日(水)から4月17日(金)  
秋学期: 9月16日(水)から10月6日(火)
- ・履修登録は T-NEXT の「履修登録」メニューから行います。  
詳細はオリエンテーションで説明します。

履修中止期間

- ・履修中止期間  
春学期: 5月11日(月)から5月16日(土)  
秋学期: 10月21日(水)から10月27日(火)  
集中講義: 別途連絡いたします。
- ・履修中止期間は、履修削除が可能です。単位修得が困難だと判断した科目があれば、期間内に T-NEXT にて削除してください。  
履修削除した科目を復活させることは原則できません。ただし、履修を削除した科目を、次学期以降に改めて履修することは可能です。

## (6)履修についての相談

グローバルスタディーズ学部の教育方針、カリキュラムその他の関連事項の詳細については、オリエンテーションで説明します。もちろん、アドバイスを求めたり質問したりするために教務課窓口を訪ねてもかまいません。また、下記「(8)オフィスアワーとは」で説明しているオフィスアワーも利用してください。

## (7)学修支援室

主に、「英語力をつけたい」、「TOEICの点数を上げたい」という人向けに学修支援室を用意しています。基本的に学期中の月曜から金曜(水曜を除く)に、研究棟108で開室しています。

予約方法等は教務課の掲示を確認してください。

## (8)オフィスアワーとは

正課の授業とは別に、学生と教員のコミュニケーションを密接にする場として設けた時間帯のことです。あらかじめ設定された時間帯に専任の教員が研究室で待機することで、学生からの質問や相談(履修、学生生活、キャリアの展望、その他)を受けやすくするための制度です。

なお、非常勤の教員は基本的に担当授業の日しか来学しませんので、質問や相談がある場合は担当授業の開始前、終了後の教室や講師室を訪ねるか、メールにて連絡をとるようにしてください。

オフィスアワー及び非常勤教員の連絡先(メールアドレス)は、学期開始前に T-NEXT 等で連絡します。

## (9)授業における合理的配慮

本学は、教育を受ける権利の保障のため、学生の意思表示を受けて、実現が著しく困難ではない合理的な範囲で、教育的配慮を行います。配慮の内容は、個別の事案ごとに具体的場面や状況を考慮し、総合的・客観的に判断します。

### 〔申請要領〕

医療機関等の診断書及び申請書を学生相談室に提出し、学生相談員と面談後、教務委員会にて審議のうえ、合理的配慮の提供を開始します。

## 5. 授業

### (1) 授業時間

授業時間は1時限90分です。

時 限	時 刻
1時限	9時00分 から 10時30分
2時限	10時40分 から 12時10分
昼休み	12時10分 から 13時00分
3時限	13時00分 から 14時30分
4時限	14時40分 から 16時10分
5時限	16時20分 から 17時50分
6時限	18時00分 から 19時30分

### (2) 授業におけるマナー

本学部は、学生の皆さんが安心して学修できるよう、快適で安全な環境づくりを心がけています。学生の皆さんが、快適で楽しいキャンパスライフを送ることができるよう、下記のとおり授業におけるマナーを定めています。

なお、下記マナーを守らない場合、授業担当教員によっては、欠席扱いとなることがあります。

#### ① 体調管理

- 体調を整え、受講してください。
- 受講中、体調不良の場合は、授業担当教員に申し出てください。
- 受講中、居眠りは控えてください。

#### ② 教室への入室及び退出

- 遅刻はしないでください。
- 授業担当教員の許可なく、途中退出(一時退出含む)をしないでください。

#### ③ 出 席

- 出席に関する不正行為はやめましょう。
- 不正行為の例
  - ・出席をとる際、出席していない者に代わって出席をよそおって返事等を行うこと。
  - ・出席していない者の学生証を用いて、出席採取のためのカードリーダーにタッチすること。

#### ④ 私 語

授業中は控えてください。

#### ⑤ 携帯電話・スマートフォン端末、パソコン、イヤホン等の使用

- 授業担当教員の指示・許可を得て、授業のために使用する場合を除き、これらの機器の使用を禁止します。
- 携帯電話・スマートフォン端末は、授業中電源を切るか、マナーモードに設定してください。

⑥ 飲食

原則できませんが、授業担当教員の指示に従ってください。

⑦ ゴミの放置

授業中や休み時間に出たゴミは、教室に放置せずゴミ箱へ入れ、教室美化に努めましょう。

### (3) 授業の欠席について

授業の性質に基づいて担当教員が欠席(遅刻)の扱いを定めているので、シラバスや担当教員の説明をよく確認すること。公欠扱い及び欠席届を提出した回、学生証を忘れた回を含め、授業に出席していない回数が1授業科目あたり3分の1を超える場合※は、原則として単位認定の対象としない。

※15回のうち6回以上、あるいは30回のうち11回以上

- ・遅刻や早退により、授業を受けない時間が30分以上になる場合は欠席として扱う。
- ・遅刻あるいは早退した場合は、2回で欠席扱いとなる。
- ・履修登録期間の授業も出席回数に含まれる。
- ・学生の欠席について、事務局から担当教員に連絡することはない。

#### [公欠について]

以下に示す場合は公欠扱いとなりますので、教務課まで問い合わせてください。公欠が認められた欠席については、欠席数に算入されませんが、出席になるということではありません。

- ① [忌引き] 親族(二親等以内、または配偶者)の死亡に伴う行事(通夜、葬儀、告別式)に参列する場合、教務課へ申し出て、指示に従い手続きをする。

(注)忌引きの対象には、四十九日等の法事・法要は含みません。

- ② 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患により欠席した場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。

- ③ 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患の疑いにより医者(医療機関)から出校停止の指示を受けた場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。

- ④ 裁判員制度により、裁判員候補者として呼出しを受けた場合、または裁判員に選任された場合、教務課へ申し出て、指示に従い手続きをする。

(②、③については、医師からの出校停止期間を公欠扱いとします)

公欠扱いとなった授業については、授業担当教員の指示に従ってください(課題やレポート等に

より、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします)。

### 〔忌引きにより公欠扱いとなる期間〕

下記に示す期間とします。葬儀のため遠隔の地に赴く場合には、往復に要する日数を加えた日数とします。特別な事情がある場合は起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む下記期間とすることが可能です。

- ・ 一親等の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日含む)の範囲内
- ・ 二親等の場合は、死亡した日から起算して連続3日(休日含む)の範囲内
- ・ 配偶者の場合は、死亡した日から起算して連続7日(休日含む)の範囲内

### 〔学校保健安全法(施行規則第19条)に定める、学校において予防すべき感染症〕

第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)、特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう)、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザ、及び新型インフルエンザ等感染症を除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症(※) ※ 「その他の感染症」とは、感染症胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス感染症など)、サルモネラ感染症(腸チフス、パラチフスを除く)、カンピロバクター感染症、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症、溶連菌感染症(主にA型群溶血性レンサ球菌感染症、伝染性紅斑(りんご病)、RSウイルス感染症、EBウイルス感染症、単純ヘルペスウイルス感染症、带状疱疹疹、手足口病、ヘルパンギーナ、A型肝炎、B型肝炎、伝染性膿痂疹(とびひ)、伝染性軟属腫(水いぼ)、アタマジラミ症、疥癬、カンジタ感染症、白癬特にトングランズ感染症を指す。 「その他の感染症」については、医師の診断書が提出された時点で、学校において予防すべき伝染病に相当するかを大学が判断する。

※新型コロナウイルス感染症に関する取扱いについてはこちらのサイトをご確認ください。

<https://www.tama.ac.jp/student/sgs/007.html>

## [欠席届について]

交通機関の遅延、交通事故、教職課程に関する実習、就職活動等は公欠扱いになりません。ただし、教職課程に関する実習、就職活動に対しては、「欠席届」を提出することで配慮の対象となる場合があります。

欠席届が提出された場合でも、「欠席」が「出席」に変わることはなく、成績評価にあたって配慮するかどうかは各授業担当教員の判断によります（欠席届の提出が授業担当教員による成績評価における配慮を確約するものではありません）。

欠席の種類	理由	提出先・問い合わせ
公欠	感染症(学校保健安全法に定める学校において予防すべき感染症)	保健室
	忌引き	教務課
	裁判員制度	教務課
欠席（配慮対象） ※担当教員ごとの判断による	教職課程	教務課
	就職活動	キャリア支援課
	インターンシップ	キャリア支援課
欠席	体調不良、 公共交通機関の遅延等	担当教員

必要書類の提出期限は、「欠席の最終日翌日から5授業日(※)以内」、または「学期末試験開始前日」の早い方となります。

※授業日：土・日、及び授業がない祝日を除いた日

## (4) 休講

特別な理由による臨時の全学休講の場合は、ホームページ、e-mail、掲示等により伝達します。授業の進捗による事情で必要のある場合、あるいは教員の止むを得ない事情で授業が行えなかった場合には、補講が行われます。この場合、直接担当教員が指示する他、T-NEXT や掲示にて連絡します。

事前の告知がなく、30分待っても授業が行われない場合は、教務課で確認してください。

## [自然災害及び交通機関のストライキによる授業の取扱]

### ①午前中休校となる場合

- ・午前6時の時点で神奈川県東部に気象警報(※)が発令され、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のいずれかが運休している場合。
- ・午前6時の時点で、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のいずれかでストライキが行われて運休している場合。

## ②午後より授業を行う場合

- ・午前9時59分までに神奈川県東部の気象警報(※)が解除され、小田急江ノ島線、相鉄線 全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のすべてで運行を再開した場合。
- ・午前9時59分までにストライキが解除され、運行を再開した場合。

## ③午後も休校となる場合

- ・午前10時の時点で引き続き、神奈川県東部に気象警報(※)が発令され、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のいずれかが運休している場合。
- ・午前10時の時点でストライキが行われて運休している場合。

(※) 上記気象警報とは、以下のことを示します。

- ①暴風雪警報
- ②同時に大雨警報、洪水警報及び暴風警報の3警報
- ③大雪警報

のいずれかが出された場合。

☆警報が出る前や、授業開始後に緊急事態が発生する場合等、状況に応じて臨時に休講とする場合の連絡は、ホームページ、e-mail、掲示や校内放送等にて行います。  
期末試験期間中の対応についても同様とします。

## 〔大規模地震発生による警戒宣言が発令された場合の授業の取扱〕

大規模な地震の発生が予想されるときは、大規模地震対策特別措置法により「地震防災対策強化地域判定会」(以下、「判定会」とする)が召集され、状況によって「警戒宣言」が発せられます。その場合の授業の取り扱いは次のようになります。

- (ア)「判定会」が召集されたことがラジオ・テレビ等で報道された時点で、休講となります。
- (イ)警戒宣言が解除されたり、「判定会」が解散されたりした際の授業再開については、交通機関が不通になった場合に準じます。

# 6. 試験

## (1) 試験の種類

通常、学期末試験(定期試験)をもって授業の履修を終えます。ただし、授業ごとに成績の評価の仕方が異なります。授業によってはレポートで学期末試験に替える場合もあります。また臨時試験(中間試験・小テスト等)を行ったり、平常点で評価したりする場合もあります。それぞれのシラバスをよく読み、授業で確認してください。

## (2) 学期末試験（定期試験）

一定の期間と時間割を定めて、春学期学期末試験と秋学期学期末試験の2回実施されます。試験の時間割は、通常の授業曜日、時限、教室と異なることがあり、土曜日の午後であっても、試験が組まれることがあります。学期末試験を受けるためには、学生証が必要です。

### 〔座席指定〕

試験には着席する位置が指定されている場合があります。

この場合は当該試験開始前に、教室の入口に学籍番号で着席位置が記された座席区分表が貼り出されますので、決められた位置に着席しなくてはなりません。

## (3) 追試験

学期末試験を次の理由により受験できなかった場合、願い出て許可されれば追試験を受験することができます。

### ①病気または負傷(診断書要)

※加療期間等の記載内容から当日受験できないことが読みとれる医療機関の診断書等に限り。

### ②交通機関の遅延(交通機関の遅延証明書要)

### ③卒業後の進路に関する試験(あらかじめキャリア支援課の指導を受け、所定の手続きが必要)

### ④裁判員候補者として呼出しを受けた場合または裁判員に選任された場合(公的証明書要)

### ⑤不慮の事故または災害(公的証明書要)

### ⑥親族等の死亡または葬儀(公的証明書または葬儀日程のわかるものが必要)

### ⑦その他、本学が特にやむを得ないと認めた場合(教務課の指定する証明書が必要)

### 〔追試験の対象科目〕

追試験の対象となるのは、学期末試験期間内に試験が行われた科目のみです。

### 〔受験手続〕

追試験を希望する場合は、当該科目の試験当日を含む2日以内(ただし、日曜日、祝日は除く)にe-mail等で教務課に連絡をしてください(期間を過ぎた後の申請は、一切受け付けられません)。追試験を受験できなかった場合、再度の追試験は行いません。また、追試験を願い出ながら自分の都合で受験しない場合は、以後追試験の願い出を受理しないことがあります。

### 〔試験時期〕

春学期追試験は8月上旬(予定)、秋学期追試験は2月上旬(予定)に行います。

## (4) 再試験(進級判定時)

再試験(進級判定時)は、2年次の最終学期の単位修得により、進級要件が一定範囲で不足するものに対し、進級判定を行う学期に履修している科目について実施します。

### [受験の条件]

再試験を受験するためには次の条件をすべて満たしていなければなりません。

- ①進級要件を満たすに必要な単位数が12単位以内であること
- ②担当教員が再試験受験を許可すること
- ③履修登録済みであること

### [再試験料]

再試験を受ける場合は1科目につき2,000円の再試験料が必要です。

なお、一旦納入した再試験料は、事由の如何に関わらず返還しません。

### [受験手続]

成績発表日に再試験受験の申込みを行い、再試験の開始時刻までに、再試験願に再試験料(2,000円×受験科目数)を添えて教務課に提出してください。

- ・成績発表日を過ぎてからの申請・変更は一切できません。
- ・手続きの詳細は、成績発表日に配信されるT-NEXTの案内に従ってください。

### [成績評価]

再試験の成績評価は、C(合格)またはF(不合格)となります。

## 7. 不正行為

### (1) 不正行為についての処分

授業中及び試験中に不正行為をした者は、当該科目が不合格になるだけでなく、事実確認のうえ、「多摩大学グローバルスタディーズ学部履修細則」により、原則当該学期の履修単位全てが不合格となります。加えて、「多摩大学学則」により懲戒(停学等)処分も課されます。絶対にやめてください。

### (2) 不正行為に該当する行為の例

受験に際し、以下の行為を行うこと。

【臨時試験(授業内試験、中間試験、小試験等も含む)・学期末試験】

- ・本人以外の代理受験、偽名記入
- ・カンニングペーパー等の所持、机上等への書き込み
- ・問題用紙及び答案用紙の見せ合い、交換
- ・話し合い、のぞき見、わき見、私語
- ・持込みが許可されていない物件の持込み
- ・代理(替え玉)受験
- ・不正行為への加担

**【レポート、課題等】での不正行為**

- ・他人の論文、出版物、ウェブサイト、作品等から、適切な引用処理を行わずに流用すること
- ・論文・レポート等の作成を代行する企業・個人等の他者に作成を請け負わせ、納品物を自己が作成したものとして提出すること
- ・他人が作成した論文等を、自己の氏名に書き換えて提出すること
- ・レポート・課題を教員の許可なく友人と共同作業し提出すること
- ・レポートの作成、課題の作成、卒業論文の作成等において、生成AIが出力した内容を、そのまま使用し提出すること。また生成 AI が出力した内容を引用したにもかかわらず、出典を明記しないこと

## 8. 成績

### (1) 成績評価

成績評価は、授業の教育目標に対する学修者の到達度を見るものであり、シラバスに記載されている各授業の到達目標及び評価方法に基づき行われます。

具体的には、授業形態に応じた適切な評価方法、定期試験及び小テスト、課題レポート、発表及び討論、授業への参加態度、予習復習などの自主的学修態度、出欠席の状況等、多様な要素を総合的に考慮して判定します。

それぞれの授業によって到達目標と評価方法が異なりますので、シラバスでよく確認してください。

	一般講義科目		ゼミナール科目・卒業論文・留学科目	
	評価	評価基準	評価	評価基準
合格	A+	100点～90点以上	P	60点以上
		学修目標を十分に達成し、極めて優秀である		
	A	89点～80点		
		学修目標を十分に達成している		
B	79点～70点			
	学修目標を達成している			
C	69点～60点			
	学修目標を概ね達成している			
不合格	F	59点以下	F	59点以下
		学修目標を下回っている		
認定	N		N	

※1 A<sup>+</sup>、Aを合わせて合格者の35%を目安とする。

※2 教職課程科目等、評価の割合が上記によらない科目もある。

★ A<sup>+</sup>、A、B、Cは合格で、Fは不合格です。

★ ゼミナール科目、卒業論文、留学科目はP(合格)、F(不合格)の2段階で判定します。

★ 不正行為が認定された場合は、原則当該学期の履修単位全てを不合格とします。

## (2) GPA

GPA とは、米国の大学で一般的に行われている成績評価方法で、学生一人一人の履修科目の成績の平均を数値化し、客観的に測定するためのものです。GPA により、学生は学修効果を自分自身で把握することができるため、個人の能力や意欲に合わせて主体的かつ充実した履修を行い、学修効果をあげることができます。GPA 制度のもとでは、学生は一度登録した科目は責任を持って確実に履修することが求められます。

学期ごとに、履修した各科目の成績に点数(Grade Point)を与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を、履修科目の単位数の合計で割って算出します。ただし、履修を中止した科目、認定科目は、算出対象から除きます。

GPA は、科目全体における学生の理解度と進歩を評価するための一般的な方法として使用されています。本学部では教育の国際化に対応し、よりきめ細かな成績評価を行うために GPA を導入しています。

$$\text{GPA} = \frac{\text{(科目のグレードポイント} \times \text{単位数)の和}}{\text{履修科目の単位数の和}}$$

例えば、下表のような評価を得た場合、GPA は次のように算出します。

科目名	単位数	成績評価	GP(グレードポイント)
Listening & Speaking(FYS) I	2単位	A <sup>+</sup>	4
Reading & Writing(FYS) I	2単位	A	3
日本の法律	4単位	A	3
資格試験対策講座(TOEIC) I	2単位	B	2
経営学入門	4単位	B	2
キャリア開発論	4単位	C	1
心理学入門	2単位	F	0

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times 2) + (3 \times 2) + (3 \times 4) + (2 \times 2) + (2 \times 4) + (1 \times 4) + (0 \times 2)}{(2 \times 4) + (4 \times 3)} = \frac{42}{20}$$

GPA は、2.100 となります。

最高点は、4.000 です。

### (3) GPA の活用

GPA は、GPA が高い数値の学業成績優秀者を対象にした海外留学奨学金、成績優秀者奨学金等の各種奨学金選考や、早期卒業希望者、卒業時成績優秀者表彰の選考などに使用されます。また、GPA が低い数値の学生に対しては在籍年数、修得単位数なども考慮の上、退学を勧告する場合があります(多摩大学成績評価規程第5条)。

### (4) 成績発表

成績及び GPA は、T-NEXT 上で確認できます。

春学期成績発表予定時期・・・8月中旬頃

秋学期成績発表予定時期・・・2月中旬頃

### (5) 成績評価に関する問合せ

当該学期の成績評価について確認をしたい場合は、別途案内する期間内に教務課に申し出てください。

### (6) 成績不良者

成績及び GPA が以下の基準に満たない学生は、成績不良者として個別面談をする場合があります。

年次	学期	上限単位数	成績不良の GPA 基準	成績不良者の単位基準
1 年生	春学期	22 単位	1.0 未満	16 単位未満
	秋学期	22 単位		32 単位未満
2 年生	春学期	24 単位		48 単位未満
	秋学期	24 単位		64 単位未満
3 年生	春学期	24 単位		80 単位未満
	秋学期	24 単位		96 単位未満
4 年生	春学期	26 単位		—
	秋学期	26 単位		—

## 9. 卒業

### (1) 卒業

①卒業のためには、4年以上在学（2、3年次編入学生を除く。）して所定の単位を修得しなければなりません。

※休学した期間は在学期間に含まれません。従って、休学すると卒業が遅れることになります。

②卒業の認定は、9月と3月の年2回行われます。

### (2) 卒業見込証明書の発行

卒業見込証明書は就職活動で必要となる証明書で、発行にあたっては以下の条件をすべて満たしていることが必要となります。

①在学期間が3年以上(7学期在学)であること

②卒業要件単位のうち、96単位以上修得済みのこと

### (3) 再試験

再試験は、卒業年次の単位修得により、卒業要件単位が一定範囲で不足する者に対し最終学期に履修している科目について実施します。

#### [受験の条件]

再試験を受験するためには以下の条件をすべて満たしていなければなりません。

①卒業要件を満たすに必要な単位数が12単位以内であること

②担当教員が再試験受験を許可すること

③履修登録済みであること

#### [再試験料]

再試験を受ける場合は1科目につき2,000円の再試験料が必要です。

なお、一旦納入した再試験料は、事由の如何に関わらず返還しません。

#### [受験手続]

成績発表日に再試験受験の申込みを行い、再試験の開始時刻までに、再試験願に再試験料(2,000円×受験科目数)を添えて教務課に提出してください。

・成績発表日を過ぎてからの申請・変更は一切できません。

・手続きの詳細は、成績発表日に送付する T-NEXT の案内に従ってください。

## 〔成績評価〕

再試験の成績評価は、C(合格)またはF(不合格)となります。

## (4) 早期卒業

本学部では、特別優秀な学生を対象に、卒業までの在籍期間(4年(8学期))を短縮して「4年未満3年間以上の在学」での卒業を認める「早期卒業制度」を導入しています。(ただし、編入生は除きます。)

この早期卒業制度は、定められた卒業要件を満たしたうえで、学業成績など優れた成果を挙げた学生に対し3年(6学期)若しくは3.5年(7学期)の在学で卒業を認める制度で、意欲ある優秀な人材が早期に大学を卒業して日本や海外の大学院へ進学する、あるいは海外の企業、及び外資系の企業などで活躍するなど、自己の能力及び適性をさらに伸ばすことのできる機会を提供することを目的としています。(通常は4年の在学を必要としますので、卒業要件単位数を満たしただけでは、早期卒業はできません。)

## 〔申請資格〕

早期卒業希望者は2年次修了時において、以下のすべての要件を満たしていること。

科目区分	令和4(2022)年度以降入学生
基礎科目の必修科目	12単位
基礎科目英語集中教育の選択必修科目	10単位以上
基礎科目共通科目の選択必修科目	8単位以上
基礎科目の選択科目	28単位以上
専門科目	28単位以上
計	86単位以上

- ・GPA、TOEIC、TOEFL(iBT)のポイント・点数が以下のとおりであること。  
**GPA 3.5以上 + TOEIC 800点以上 あるいは TOEFL(iBT)90点以上**
- ・3年次よりホームゼミに所属すること。
- ・在学中、修学態度・人格とも優秀で他の模範となるもので、2名の専任教員より推薦され、推薦状を得ていること(うち、1名は所属するホームゼミ担当教員)。
- ・早期卒業の意志及び理由が明確であること。

## 〔資格審査〕

- ・希望者は3年次春学期(秋季入学生は秋学期)の履修登録期間内に教務課に申請書及び2名の

専任教員からの推薦状を提出してください。

- ・審査(書類・面接)のうえ、申請資格の条件を満たしているかどうかを判定します。

#### [卒業認定]

卒業予定時に以下要件を満たした者について、早期卒業を認めます。

- ・3年(6学期)または3.5年(7学期)在学して所定の科目を履修し、規定する卒業要件単位数以上を修得していること(休学した期間は在学期間に含まれません。従って、休学すると卒業が遅れることになります)。
- ・GPA、TOEIC、TOEFL(iBT)のポイント・点数が以下のとおりであること。  
GPA 3.6以上、TOEIC 850点以上 または TOEFL(iBT)96点以上

## 10. TOEIC について

### (1)学内での TOEIC IP テスト受験

- ・春季入学生

学年	実施日(予定)					
	4月1日	6月13日	7月18日	10月17日	12月5日	1月9日
1年生	◎	○	◎	○	○	◎
2年生	○	○	◎	○	○	◎
3年生	○	○	○	○	◎	○
4年生	○	○	○	○	◎	○

- ・秋季入学生

学年	実施日(予定)					
	10月17日	12月5日	1月9日	4月	6月	7月
1年生	◎	○	◎	◎	○	◎
2年生	○	○	◎	○	○	◎
3年生	○	◎	○	○	○	○
4年生	○	◎	○	○	○	○

◎: 必須受験。受験料は大学が負担します。

○: 任意受験。1,500円の受験料がかかります。

## (2) 公開テスト

公開テスト(年18回開催)の受験は学生の任意です。(受験料は個人負担)

公開テストのスコアも公式スコアとして扱います。取得した学生は **Official Score Certificate** (公式認定証)を教務課に届け出てください。登録スコアとなります。

公開テストの日程、試験の詳細については、公式 **TOEIC** サイトを確認してください。

[https://www.iibc-global.org/info/important/imp\\_78.html](https://www.iibc-global.org/info/important/imp_78.html)

なお、単位の認定等にかかわる受験を行う場合は、その科目のシラバス(留意点)について確認してください。

## 11. 転学部

### 〔出願資格〕

転学部を志願できる者は、1・2年生となります。

### 〔出願期日〕

教務課で交付する「転学部願」及び必要書類に所定事項を記入し、11月末日までに教務課へ提出してください。

### 〔転学部の時期〕

転学部の時期は4月1日となります。

☆転学部についての詳細は、教務課に問い合わせてください。

## 12. 教職課程

卒業時に教員の免許状を取得したい学生は、教職課程を履修して必要な単位を修得してください。

### 〔取得可能な免許状〕

中学校教諭一種免許状(英語)

高等学校教諭一種免許状(英語)

小学校教諭一種免許状 ※

小学校教諭二種免許状 ※

※星槎大学共生科学部との教育業務提携により、通信制課程において取得を目指すことができます。この課程を履修するには、2020年度以降入学生であり、「中学校教諭一種免許状 英語」

「高等学校教諭一種免許状 英語」を取得することが前提条件となります。

☆教職課程履修を希望する学生は、必ず、説明会に参加してください。

☆教育実習費、介護等体験の費用などが別途かかります。また、教育実習及び介護等体験における交通費及び実習先でかかる必要経費は、自己負担となります。

## 13. 入学前に修得した単位の認定

入学前に他大学等で修得した単位は、教育上有益と認めるときは、教授会にて適当と認められたもの限り、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目について合計30単位を超えない範囲において、本学で修得したものとして認定することができます。ただし、入学前修得単位と卒業までの在学中に修得できる認定単位数の上限は60単位です。単位の認定を希望する場合は、以下の要領で申請を行ってください。

### 〔申請要領〕

単位を修得した科目が記載されている成績証明書及び授業時間が記載されている該当科目のシラバス(コピーでも可)を、申請期日までに教務課へ提出してください。

### 〔申請期日〕

春学期入学生…入学年度の4月末日

秋学期入学生…入学年度の10月末日

## 14. 留学先で修得した単位の認定

留学先で修得した単位は、帰国後14日以内に教務課に申請し、教授会にて適当と認められたもの限り、所定の単位数を上限に修了に必要な単位として認定します。

ただし、留学による認定単位数と卒業までの在学中に修得できる認定単位数及び入学前修得単位数の合計の上限は60単位です。また、休学時外国の大学で修得した単位の認定については、1単位につき、25,000円の単位認定料が必要です。

### 〔申請要領〕

単位を修得した科目が記載されている成績証明書及び授業時間が記載されている該当科目のシラバス(コピーでも可)を、申請期日までに教務課へ提出してください。

### 〔申請期日〕

帰国後14日以内

【2026年度 実務経験のある教員による担当科目一覧】

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
今村 康子	基礎教育	Discover Japan (地域研修) I	2	全日本空輸株式会社の客室乗務員として25年間培った実務経験を活かし、サービスデザインやホスピタリティの理論と実践を結びつけた授業を行う。社会実装の具体例を講義やフィールドワークで提示し、学生の学びへの興味・関心を高め、実践的な知識を自分事として捉え考察する主体的な学びを促進。
	基礎教育	Discover 藤沢・湘南 II	2	
	基礎教育	エアライン英語	2	
	ホスピタリティ・マネジメント	おもてなし外国語・英語	2	
	ゼミナール	プレゼミ I / II	2	
	ゼミナール	プレゼミ α	2	
	ゼミナール	ホームゼミ I - IV	2	
	基礎教育	ホテル・接客英語	2	
	基礎教育	学長監修リレー講座 I / II	2	
	ホスピタリティ・マネジメント	観光サービス高度マネジメント I / II	2	
大場 智美	基礎教育	Reading & Writing (FYS) I / II	2	インターナショナルハイスクールでの経験と私立中学高等学校での教諭経験を授業に活用。
	基礎教育	Reading & Writing III / IV	2	
	ゼミナール	ホームゼミ I - IV	2	
	教職課程	教育実習 I	3	
	教職課程	教育実習 II	2	
ケニー ジェスロ	基礎教育	English Reading for Global Business	2	民間英語教育の運営・指導、公立小中での指導等、大学外実務経験(5年以上)を基に、学習者に応じた授業設計・学級運営を実施。タスク型(アクティブ・ラーニング)で主体的参加を促し、英語運用力と異文化理解を育成。
	基礎教育	Listening & Speaking (FYS) I / II	2	
	基礎教育	イングリッシュ・ディスカッション	2	
	基礎教育	イングリッシュ・ディベート	2	
	基礎教育	ビジネス英語入門 I / II	2	
	ゼミナール	ホームゼミ I - II	2	
	ホスピタリティ・マネジメント	異文化間コミュニケーション論	2	
張 琪	国際教養	AI・ゲーム・デジタル産業	4	企業での、ヒューマンインターフェースや人間の三次元視覚システム、脳科学等の研究経験を活かし、グローバル社会に対応するための実践的な情報通信技術の基礎を教授。
	ゼミナール	プレゼミ I / II	2	
	ゼミナール	ホームゼミ I - IV	2	
	基礎教育	情報科学入門	2	
	国際教養	情報処理 I / II	4	
ジョイス テレンス	ゼミナール	ホームゼミ III - IV	2	銀行での勤務経験やレクリエーションセンターの管理経験を活かし、心理学の側面を説明する際、時折それらを例に挙げる。
	国際教養	言語心理学	4	
	基礎教育	心理学の方法	4	
	基礎教育	心理学入門	2	
	基礎教育	認知心理学	4	
	基礎教育	文化心理学	4	
新美 潤	国際教養	国際政治学	2	1979年外務省に入省。外交官として、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国(在ロサンゼルス総領事)、ポルトガル(特命全權大使)の各国に勤務。本邦では外務本省にて総括審議官等様々なポストを経験すると共に、警察庁、経済産業省、衆議院事務局にて勤務。豊富な海外駐在経験と行政における実務経験を活かし、国際政治や国際法、国際機関等の仕組みや動向について講義を行う。
ホノベ エリック	基礎教育	中国思想史	2	企業におけるビジネスアナリスト経験を活かし、実践的な会計論を指導。
		中国文学	4	
	国際教養	会計学基礎	4	
		金融論	4	
		国際会計論	4	
国際経営論		4		
村上 武史	ゼミナール	プレゼミ I / II	2	小学校、中学校、高等学校での教師としての実践(学級担任、研究主任、特別支援教育コーディネーター、学年主任、教務主任)、義務教育学校での管理職としての実践、児童相談所でのケースワーカー等としての実践、それらの実務経験を生かし、教師力向上のための実践的な講義を演習中心に実施。
	教職課程	介護等体験実習事前事後指導	1	
	基礎教育	学長監修リレー講座 I / II	2	
	教職課程	教育実習 I	3	
	教職課程	教育実習 II	2	
	教職課程	教育制度論	2	
	教職課程	教職概論	2	
	教職課程	教職実践演習(中・高)	2	
	教職課程	生徒指導・進路指導論	2	

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
秋山 豊	基礎教育	日本語（日本語試験対策）Ⅰ／Ⅱ	2	台湾の複数の日本語学校や私立大学で講師を経験し(約7年)、日本国内ではオンラインで多国籍の学生を相手に日本語を教授(約3年)。専門である教育学や心理学的知見を生かした授業を実施。
芦田 尚道	国際教養	マーケティング論	4	企業における営業経験や企業を相手にした研究教育機関での勤務経験を生かし、業務の進め方や組織での人間の関係性のあり方、リーダー・フォロワー 双方の立場からの良い協働関係の構築の仕方、実際の販売活動での企業と顧客の良好な協力関係の構築の仕方を、実例に即して紹介。
飯泉 恵美子	ホスピタリティ・マネジメント	翻訳概論	4	翻訳会社で翻訳と翻訳品質チェックを担当し、米国翻訳者協会、日本翻訳者協会、日本翻訳連盟などで長年翻訳指導を行っている。著書、訳書の出版、翻訳技法の指導といった実務経験を背景に、適切な日本語・英語表現や翻訳技法について指導。
石島 照代	教職課程	教員力向上講座Ⅰ	2	文部科学省国立教育政策研究所で2年、一般企業で8年の経験を活かし、保護者の視点、行政の視点をクロスオーバーさせながら、多様な観点で生徒指導ができる教員を養成。
		教育相談	2	
石田 満恵	国際教養	国際教養特別講義 IV.SDGsと企業	2	企業で長年働いてきた経験を通じて、理論と実践の両方を最大限融合させた、実践的教育を実施。
伊藤 礼子	基礎教育	Reading & Writing (FYS)Ⅰ／Ⅱ	2	民間語学学校での長年の経験を活かし、英会話、資格試験対策、英文法など様々なクラスで生徒のレベルや目標に応じて適切な指導を行う。また英語のみならず、生徒のモチベーションの向上や学習方法に関しても、適切にアドバイスを実施。
		資格試験対策演習 (TOEIC)Ⅰ／Ⅱ	2	
大重 史朗	国際教養	国際教養特別講義Ⅱ:ジャーナリズムと社会	2	新聞記者としての実務経験を国際教養科目Ⅱ「ジャーナリズムと社会」について活用。単なる経験談ではなく、現在の報道業界の課題について、学生を交えて考察。
大林 薫子	基礎教育	Reading & WritingⅢ／Ⅳ	2	幼児英語教育、英会話スクール、企業案件の英会話、英検、TOEIC講師経験8年の中で幼児から高齢の方まで幅広く英語教育に長年携わった経験を活かし、相手の要望に応じて年齢を問わず、内容、レベルを自由自在にカスタマイズ。
		資格試験対策演習 (TOEIC)Ⅰ／Ⅱ	2	
菊池 弘幸	ゼミナール	教員力向上講座Ⅱ	2	中学校教諭(学級担任、学年主任、生徒指導専任教諭、教務主任)、中学校長、教育委員会事務局指導主事(教育政策、教育相談、健康教育、食育、教職員研修、教員養成・育成)としての実務経験を活かし、教員力向上のための実践的な授業を演習を中心に実施。
	教職課程	道徳教育論	2	
木村 富也	国際教養	業界入門:IT・通信	2	ブリヂストンで培ったサプライチェーンに関する知識やそれに関わる企業について教授。
	国際教養	業界入門:物流・B to B	2	
久保田 真悟	基礎教育	日本の法律	4	学生一人一人が今後直面し得る法的な問題(ハラスメントや解雇、離婚、相続、消費者問題など)について、単に教科書的な法律上のルールを説明するだけでなく、問題の背景や具体的な対処方法についても、実務経験を踏まえた双方向でのディスカッション及び解説を行う。
コニヤック アマエル	基礎教育	ジェンダー論	2	フランスの地域団体での活動、UN-Habitatでの実務、モロッコでのプロジェクトマネジメント、欧州・アフリカでの事業評価の経験を活かし、ジェンダー理論を学生自身の経験と結びつけ、具体的な事例をもとに議論。グローバルな社会課題に対する実践的な解決策を考える力を養成。
兒玉 千佳子	国際教養	国際協力	2	外務省、国連(主にUNDP)に20年以上勤務し、ガバナンス、平和構築、人道支援に従事。赴任地としてアフガニスタン、イエメン、カナダ、カンボジア、スーダン、ニューヨーク、パレスチナ、マレーシア、ラオスでの勤務経験を活かし、フィールドにおける国際協力の経験を通して開発課題に関わる様々な声、開発課題解決アプローチ、国際協力の面白さを教授。
	国際教養	国際教養特別講義Ⅰ:SDGsと開発学	2	
	基礎教育	国際理解入門	2	
佐藤 美奈子	基礎教育	日本語（スピーキング、リスニング）Ⅰ／Ⅱ	2	銀行系シンクタンクのコンサルティング部門において、マーケティング、事業化調査、財務分析などのコンサルティング業務に従事し、その後、財団法人、専門学校等において留学生、ビジネスマン等に日本語を指導。一般的な日本語教育に加え、日本での就業を意識した日本語指導を実施。
		日本語（リーディング、ライティング）Ⅰ／Ⅱ	2	
鈴木 かの子	ホスピタリティ・マネジメント	世界遺産Ⅰ／Ⅱ	2	世界遺産検定マスターの資格を持ち、82カ国500件超の世界遺産を訪問した経験のある講師を世界遺産アカデミーから招き、世界遺産を通じて文化の多様性や価値観の違い、紛争、観光と保全の両立、地球環境問題といった現代社会の課題の考察も視野に入れた世界遺産検定対策を実施。
関根 教博	教職課程	特別活動	2	高等学校教員としての現場経験に加え、教育委員会において教員研修の企画・運営に携わってきた実務経験を生かし、学校現場で直面する具体的な課題を授業に取り入れる。理論と実践を往還させながら、教育活動の企画力や改善力を育成する授業を展開。
高橋 恵美子	基礎教育	Listening & SpeakingⅢ／Ⅳ	2	100クラス以上のTOEICクラスを担当した経験から、受講者に適した目標スコア設定や勉強方法を教授。 また、パレスホテルでの研修(7年担当)や、自身のCA時代の経験から、ホスピタリティ業界就職希望の学生からのご相談や英語学習方法に対応。
		資格試験対策演習 (TOEIC)Ⅲ／Ⅳ	2	
武田 俊一	基礎教育	日本語（スピーキング、リスニング）Ⅰ／Ⅱ	2	海外プラントビジネス30年(含むインド駐在6年)の経験を通じて体感した異文化間コミュニケーションの重要性を軸に、「知識としての日本語」から「使える日本語」へのシフトを支援する。そのため、日本語で時事問題を学ぶアプローチ(内容言語統合型学習)を援用。
		日本語（リーディング、ライティング）Ⅰ／Ⅱ	2	

教員氏名	科目分野	科目名	単位数	授業への実務経験の活用内容
棚田 康夫	教職課程	総合的な学習の時間の指導法	1	小学校での教科活動や生徒指導等の経験(教諭、教頭、校長の立場から)及び教育委員会で教育行政に携わった経験を基に、学校や児童生徒、地域の実情に応じた具体的な指導の在り方や国の教育政策に沿った指導内容を授業に反映。
富谷 喜一	基礎教育	数学入門	2	民間企業および非営利団体において30年以上にわたり企画立案、予算・プロジェクト管理、人材育成等に従事し、6年間の海外勤務も経験。これらの実務を通じて培った数量データの分析力や論理的思考力を授業に活かし、実社会で基礎数学がどのように意思決定や課題解決に結び付くかを具体例を交えて示し、実践的理解を促進。
中澤 文彦	基礎教育	国内インターンシップ概論	2	企業経営を通じて培った社会や企業で求められる人物像や能力に対する知見、そして、他者とのかわり方に対する一定の見識を活かし、授業を展開。
		国内インターンシップ実習	2	
中島 理士	基礎教育	簿記	4	人材紹介会社の新規拠点立ち上げ、中小企業庁委託事業の運営、大手企業向け研修の企画経験を活かし、簿記の知識に加え、企業が実務で求める視点や財務思考を具体例とともに示し、学びをキャリア形成、資格取得と就職支援の両面から、学生の将来に役立つ実践的な授業を提供。
林 雄一郎	国際教養	簿記	4	公認会計士及び税理士の資格を持ち、監査法人、税理士事務所、公認会計士事務所等において実務に従事した経験を活かし、実務につながる実践的な内容を学ぶ。
肥後 あす香	基礎教育	Listening & Speaking III / IV	2	企業でのTOEIC、英会話、ビジネス英会話、観光英会話の授業経験を活用して、学生にとって実用性のある、卒業後にも役立つような英語力を身につけられるような授業を展開。
		Reading & Writing (FYS) I / II	2	
		資格試験対策演習 (TOEIC) I - IV	2	
別所 由香	基礎教育	スペイン語 I / II	2	長年の企業研修の経験を活かし、大学卒業後のような知識が求められるのかを学生に伝授。
水口 幸子	基礎教育	日本語 (スピーキング、リスニング) I / II	2	旅行会社で法人営業を通して培った相手の目的や背景を丁寧に聞き取り、ニーズに応じて提案を組み立てる力、交渉しながら調整していく力を活かし、大学の日本語教育において、学生一人ひとりの目標や状況を把握しながら、学習目標の達成を援助。
		日本語 (リーディング、ライティング) I / II	2	
水梨 豪	基礎教育	コンピューター入門	2	長年のIT企業での人とコンピュータの関わりを考える「HCI研究」や、データを経営に活かす「顧客満足度分析」を活かし、教科書通りの理論だけでなく、学生が将来社会に出た時に「知っていて良かった」と思えるような、具体的かつ実践的な知識とスキルを共有。
宮崎 博美	基礎教育	Listening & Speaking III / IV	2	旅行業での海外勤務および英会話スクールでの指導・教務リーダーとして講師研修などの実務経験を活かし、実際の現場で求められる英語運用力、異文化理解、対人対応力を具体例とともに指導。試験対策にとどまらず、実社会で通用する実践的コミュニケーション力を育成。
森 緑	基礎教育	Listening & Speaking (FYS) I - IV	2	外資系メディア企業(MTV、Sony Pictures Japan、FOX International、National Geographic Channel)で17年間、映像・音楽業界の制作やマーケティング、企業ブランディングに従事。現場で体感した採用基準や英語力による収入・キャリアの差、挑戦できる職種の違いを説明、人生に目的を持つこと、英語が人生の選択肢を増やす力になり得ることを伝授。
		Reading & Writing (FYS) I - IV	2	
		資格試験対策演習 (TOEIC) III / IV	2	
山本 泰子	国際教養	情報処理 I	4	IT企業において、SEとして従事。社会人教育や大学等で実践的なコンピューターリテラシーを伝授。
山下 由香里	ホスピタリティ・マネジメント	業界入門: 飲食・宿泊	2	阪急阪神第一ホテルグループ第一イン湘南において30年間統括支配人を務め、宿泊現場で培った実務経験を授業に反映。また、NPO法人江の島・フィッシャーマンズ・プロジェクト副理事として17年間、江の島をフィールドに環境問題へ取り組む。観光地としての江の島と宿泊業、環境問題の関連性を具体事例として授業内で展開。
吉本 陽子	ホスピタリティ・マネジメント	業界入門: おもてなしマナー	2	航空業界において長年にわたり客室乗務員として現場の最前線を経験。加えて研究部門にてホスピタリティを工学的に分析し、サービス価値の可視化や設計に携わる。学生が思考を深め、社会の中で活用できる力を育成。
米倉 義友	ホスピタリティ・マネジメント	業界入門: 航空	2	本邦航空会社ANAの総合職(現グローバルスタッフ)として、客室部門(新機種導入、人員計画・配置・採用、制度設計等)、マーケティング&セールス(販売計画、流通戦略、旅行運賃制度設計及び導入、法人販売等)の長年の経験を活かして、実践、マネジメント、経営の視点から学びを提供する。思考や行動変容を促す機会をつくり、社会の中で汎用性を持って生かせる力につなげることを目指す。

## 「社会調査士」資格について

### 【社会調査士とは】

社会調査士は、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査の結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要な能力をもった「社会調査の専門家」のことで、本学部では2022年度入学生から取得可能な資格です。資格についての詳細は以下をご参照ください。

- ・一般社団法人社会調査協会ホームページ：<https://jasr.or.jp/>
- ・社会調査協会学生サイト：<https://www.jasr.or.jp/students/>

### 【資格を取得するためには】

資格参加制度に参加している大学（多摩大学グローバルスタディーズ学部は社会調査士資格制度参加校）にて、社会調査協会が定めた「標準カリキュラム」のA～Gに対応する資格認定科目を履修し、単位を修得した上で、社会調査協会に申請することで社会調査士資格を取得できます。なお、EとFはどちらかを選択できます。

### 【認定科目群との対応】

認定科目群	資格認定科目※	単位数	配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2	1+
【B】調査設計と実施方法に関する科目	調査法入門（質的）	4	2+
	調査法入門（量的）	4	2+
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	統計学入門	4	1+
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	統計学入門	4	1+
【E】多変量解析の方法に関する科目	調査法入門（量的）	4	2+
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	調査法入門（質的）	4	2+
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査ゼミ I	2	3+
	社会調査ゼミ II	2	3+

※各科目の内容は、T-NEXTのシラバス検索でご確認ください。

## 第III部：学生とSGS

### 1. 学生サービス (学生生活の安定のための支援及び学生生活全般に関する学生の意見・要望の受付)

学生課は、学生生活における様々なサポートを行っており、本学におけるサービス、施設、手続きについての質問や情報請求の窓口となっています。主に、各種証明書の発行、施設の利用申込み受付、サークル活動及び学園祭運営支援、忘れ物の取扱、日本学生支援機構奨学金の取扱、学生相談室の運営などを行っています。学生生活で困ったことやわからないことがあれば、学生課窓口まで気軽に相談に来てください。

#### (1)学生証

学生証は本学学生の身分を証明する重要なものです。請求のあったときにはいつでも提示できるよう、常に携帯してください。

##### ①提示が必要なとき

- (ア) 試験・授業を受ける時
- (イ) 証明書の発行申請をする時
- (ウ) 図書館へ入館する時
- (エ) 通学定期乗車券を購入する時・学生割引普通乗車券(学割)を使用する時
- (オ) 本学教職員・交通機関係員から提示を求められた時
- (カ) パソコン等の貸し出し時

##### ②学生証の有効期限・再発行について

学生証の有効期限は入学後4年間(5年目以降は1年間)です。学生証を紛失した場合は、直ちに最寄りの警察に届出て、学生課にて再発行の手続きをしてください。再発行手数料は1,200円です。学生証の再発行には1週間程度要するため、事務局にて仮学生証を発行します。破損、汚損した学生証は再発行した学生証と引き換えに返却してください。

##### ③学生証の返却

卒業、退学等により学籍を離れるときは、直ちに学生課に返却してください。



学生証

#### ④その他注意事項

(ア)他人に貸与または譲渡してはいけません。

(イ)紛失や盗難にあった場合は、学生課に届出るとともに、必ず警察に届出てください。

## (2)情報の伝達・連絡等

### ①多摩大学キャンパスシステム(「T-NEXT」)及び掲示板

本学の学生に関連する情報は「T-NEXT」または学内の掲示板に掲載されます。「T-NEXT」より、個々の学生へ、連絡や情報提供もあります。責任を持って「T-NEXT」と学内掲示板を定期的を確認するようにしてください。

### ②学生専用学内掲示板

学生専用学内掲示板を設置しています。文書、ポスター等の掲示を希望する場合は、学生課に問い合わせてください。

#### <掲示に関する注意事項>

(ア)学生が告知用として作成する掲示物のサイズは原則A4までとします。掲示する際の注意事項は学生課で確認してください。

(イ)掲示物には担当者名や団体名を明記し、必ず学生課の承認印をもらってください。

(ウ)掲示期間終了後の掲示物は、掲示した担当者や団体が責任を持って剥離してください。

掲示期間については、申請時に学生課で確認してください。

### ③プラズマスクリーン

東棟1階のアゴラ(ラウンジ)と、西棟1階のカフェテリア、西棟1階の国際交流スペース、西棟2階のラウンジに設置されたプラズマスクリーンへの情報公開を希望する場合は、学生課に問い合わせてください。

### (3)各種証明書の発行

各種証明書は、事務局で入手できます。発行手数料がかかるもの(1通につき100円)と、無料で発行するものがあります。発行手数料がかかるものは、事務局にある券売機で「証紙」を購入し、申請用紙に貼り付けてください。

#### ①証明書の種類と発行手数料

種 類	セクション	手数料(1通)
成績証明書	教務課	100円
成績証明書(英文)		
卒業見込証明書		
卒業見込証明書(英文)		
卒業証明書		
卒業証明書(英文)		
在学証明書	学生課	無 料
在学証明書(英文)		
健康診断証明書※		
その他証明書		
通学証明書		
学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)		
学生証再発行		1,200円

※健康診断証明書は当該年度のみ発行

※平日申請時、追加手数料1通200円で、即日発行可能な証明書あり(要確認)

#### ②証明書の申込みについて

<証明書の申込み方法>

事務局にある証明書申請用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を購入・添付のうえ申込んでください。受取りの際は領収書または学生証の提示が必要です。なお、発行日より3ヶ月経過しても受取りが無い場合は廃棄します。

証 明 書 発 行	申 請	受 取・交 付
証明書(和文)の発行	平日17:30までの申請 土曜13:30までの申請	翌日15:00以降受取可 (日曜・祝日除く)
証明書(英文)の発行	平日17:30までの申請 土曜13:30までの申請	申請日より3業務日以降受取可 (日曜・祝日除く)

※窓口受付時間に変更が生じる場合があります。

## (4)各種願書(届出)

### ①各種変更届

種 類	条 件	必要書類	注 意 事 項
保証人変更届	保証人を変更する場合		新/旧それぞれの保証人が署名・捺印すること
住所・電話番号変更届	本人、保証人の住所・電話番号を変更する場合		1週間以内に T-NEXT より申請すること ※変更内容について確認します

### ②各種申請書・フォーム

種 類	条 件	必要書類	注 意 事 項
備品借用願	大学の備品を借用するとき		対象備品は学生課に確認すること
学内・学外活動申請書	サークル等が学内(活動日以外)・学外で活動するとき	イベント等の概要がわかる書類	活動日 1 週間前までに届出ること 未提出の場合、活動中の事故によるケガ等は保険の対象外
施設利用願	サークル・個人が活動日以外で施設を使用するとき		活動日 1 週間前までに届出ること
自動二輪車および自転車通学許可願 ※Google フォームより申請	自動二輪車および自転車通学を希望するとき	P62 通学のルール参照	P62 通学のルール参照

### ③学籍異動(P100 参照):(学生課に事前相談が必要)

種 類	条 件	必要事項・その他	注 意 事 項
休学願	病気やその他の理由により履修できない場合	診断書(病気の場合)の提出 休学在籍料の支払い(振込) ・春学期 80,000円 ・秋学期 80,000円 ※母国の徴兵制度により在学中に兵役を余儀なくされて休学をする場合は、休学在籍料を免除する。	年度はじめに限り 1 年間の休学申請可能 休学期間:春学期(4/1~9/30) 秋学期(10/1~3/31)
復学願	休学者が復学を希望する場合		復学日: 春学期(4/1) 秋学期(10/1)
退学願	事情により退学をする場合		退学日: 春学期(9/30) 秋学期(3/31)
転学部願	転学部を希望するとき		11 月末日までに教務課に提出 (P36 参照)

## (5) 通学のルール

### ① 自動二輪車(※)及び自転車通学

自動二輪車及び自転車は、所定の駐車場(自動二輪車:第1駐車場、自転車:第2駐車場→P4参照)に駐輪してください。安全運転を心掛け、以下の注意事項を守ってください。

※自動二輪車には、ペダル付き原動機付自転車・特定小型原動機付自転車・特例特定小型原動機付自転車を含みます。

### ◎通学希望者は必ず登録が必要です。

#### ・登録(申請)方法(自動二輪車・自転車共通)

(ア)申請フォームに必要事項を入力し、写真をアップロード

(イ)不備がなければ登録アドレスに「許可証シール受取案内」を送信

(ウ)車両の見やすい場所に許可証シールを貼付

「自動二輪車通学登録申請フォーム」

#### ・登録(申請)に必要な写真

<自動二輪車>

(ア)車体全体がわかる写真(前方、後方)

(イ)ナンバープレート・自賠責保険証(もしくはステッカー)の写真

(ウ)運転免許証の写真

<自転車>

「自転車通学登録申請フォーム」

(ア)自転車全体がわかる写真

(イ)防犯登録が貼付されている箇所の写真

※防犯登録・自転車損害賠償責任保険加入していない場合は許可できません

#### ・その他留意事項

・自転車の登録は卒業まで更新手続きは不要です。

・自転車の登録は2台まで可能です。3台目となる場合は先に登録したうちの通学に使用しない車両番号を学生課までお知らせください。

・車両番号・防犯登録番号が変更となる場合は学生課まで必ず連絡をしてください。

登録時と異なる場合は違反となります。

・許可証シールが剥がれてしまった、紛失した場合は学生課で再発行しますので申し出てください。

・学内での盗難、破損について大学は一切責任を持ちません。盗難防止対策は、各自で責任を持って行ってください。

・長期(約1ヶ月)にわたり放置されている自動二輪車及び自転車は、廃棄処分としますので充分に注意してください。終夜放置はしないでください。

・以下の注意事項が守られない場合、通学の許可を取り消すとともに、悪質なルール違反があった場合は、登録者(所有者)を処分します。また事故に関して大学で加入している保険の適用外とします。

- 通学時に自転車等を他人に貸し出すことのないようにしてください。
- 無駄な空ふかしや乗回しはやめてください。
- 違法改造や改造マフラー車の入構は禁止します。

## ②自動車通学の禁止

本学では自動車通学を禁止しています。違反した学生は、学則に基づき厳重なる処罰を行います。また事故に関して大学で加入している保険の適用外とします。

P106の「多摩大学通学に関する規程」をよく確認してください。

## ③違反行為・迷惑行為

「多摩大学通学に関する規程」(P106参照)に違反した場合は、「多摩大学学生懲戒規程」(P107参照)に基づき処罰を行います。

# (6)通学定期券と学割証(学生旅客運賃割引証)

## ①通学定期券の購入

学生証裏面の「通学証明シール」に必要事項及び通学区間(湘南キャンパスの最寄駅から自宅最寄駅を結ぶ最短区間)をペンで記入し、定期券販売窓口で申請してください。

「通学定期乗車券発行控」の欄がいっぱいになった場合や通学区間等を変更する場合は、学生課にて新たな「通学証明シール」の交付を受けてください。

## ②実習定期券の購入

1ヶ月以上に及ぶ実習期間は実習先までの実習定期券を購入することが可能です。学生課に問い合わせてください。

## ③学割証(学生旅客運賃割引証)とは

旅客鉄道株式会社(JR各社)が指定した学校の学生(非正規生は除く)が、旅客鉄道株式会社の営業キロで片道100キロメートルを超える区間を利用する際に、普通乗車運賃が2割引になる制度です。

※他の鉄道会社等は、各社営業規則によりますので、乗車券購入の前に各社窓口へ確認してください。

## ④学割証の発行が認められる使用目的範囲

使用目的の範囲は、制度の趣旨に鑑み、学割証の発行は、原則として次の目的をもって旅行する必要があると認められる場合に限ります。

(ア)休暇、所用による帰省

(イ)実験実習並びに通信による教育を行う学校の面接授業及び試験などの正課の教育活動

(ウ)学校が認めた特別教育活動又は体育・文化に関する正課外の教育活動

(エ)就職又は進学上適当と認めた見学又は行事への参加

- (オ)学校が修学上適当と認めた見学又は行事への参加
- (カ)傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
- (キ)保護者の旅行への随行

### ⑤学割証発行と使用上の注意

(ア)有効期限：発行日より3ヶ月間

学則に基づき学生の在籍期間内使用に対しての発行  
最終発行の有効期限は在籍期間終期まで

(イ)発行数：制限はなし

(ウ)使用対象：学割証の記名人以外は使用できません。

※学割証を不正使用した場合は旅客営業規則第24条により罰せられます。

(エ)団体割引：本学学生と引率者（教職員）合わせて8名以上で構成された団体が旅行する場合、所定の手続きをすれば「学生団体」扱いとなり、乗車券のみ5割引（教職員は3割引）で購入できます。

（窓口はJRの駅、各旅行代理店）

※「団体旅行申込書」（駅または代理店備付）には学長の証明が必要です。

早めに対応してください。

## (7)大学施設の利用

### ①教室の利用について

課外活動のため教室を利用する場合は、講義や学校行事等（試験期間、入試日）で支障がない限り、教務課にて予約のうえ利用できます。

また、多摩大学公認サークルが活動日として定期的に利用する場合は、一般利用より優先されます。

○通常学期中の教室の利用可能時間

平日・土曜 9:00～20:30

※休業期間中の利用は、1週間前までに学生課へ施設利用願の申請が必要です。

※施設利用可能日時は、事前に確認してください。

※利用時間は、後片付けを済ませ、施設を退出する時間も含みます。ルールを守れない学生または団体の利用は認めません。

### ②情報処理室の利用について(P87 参照)

学生用に西棟2階の情報処理室2室が開放されています。

利用中であっても授業の都合等で利用を中止してもらうことがあります。

○通常学期中の情報処理室の利用可能時間

平日 8:50～20:00 , 土曜 8:50～16:30

### ③体育館/テニスコートの利用について

運動施設は、講義や学校行事等で支障がない限り、以下のとおり開放しています。

多摩大学公認サークルが活動日として定期的に使用する場合は、一般利用より優先されます。

#### ○通常学期中の体育館/テニスコートの利用時間

利用施設	月曜～金曜	土曜
体育館/テニスコート(一般利用)	9:00～16:10	事前予約のみ可
体育館/テニスコート(サークル)	16:20～20:30	

※休業期間中の使用は、1週間前までに学生課へ施設利用願の申請が必要です。

※休業期間中の施設利用可能日時は、事前に確認してください。

※利用時間は、後片付けを済ませ、施設を退出する時間も含まれます。ルールを守れない学生または団体の利用は認めません。

- ・怪我や床の劣化を防ぐため、必ず専用の靴(体育館は室内履き、テニスコートはスニーカー等)を着用してください。
- ・使用後は、必ず清掃してください。
- ・スポーツ用具の貸し出しは、学生課にて対応します。無断でサークル所有の備品を使用しないでください。

### ④その他の施設

上記に記載のない施設の利用は、1週間前までに学生課へ申請が必要です。

## (8) 奨学金・学費減免制度

多摩大学では、様々な特色ある奨学金・学費減免制度を設け、学生の皆さんが意欲的に勉学に励み、充実した学生生活を過ごせるよう支援しています。

#### ●種類

<多摩大学独自の奨学金・学費減免制度>

成績優秀者奨学金…教務課

海外留学奨学金…国際交流センター事務課

私費外国人留学生授業料減免制度…国際交流センター事務課

被災学生学費減免制度…学生課

<学外奨学金>

高等教育の修学支援新制度

(授業料減免または授業料減免＋日本学生支援機構給付奨学金)…学生課

日本学生支援機構貸与奨学金…学生課

その他の奨学金(地方自治体及び民間育英団体等の奨学金)…学生課

<多摩大学独自の奨学金・学費減免制度>

- 多摩大学成績優秀者奨学金…各学期の成績上位者について奨学金を支給し、努力を讃え励ますことを目的とします。新入生特別給費生は原則対象外とします。

審査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期、学年別成績が上位の者から順に候補者を選出する。ただし、当該学期学費未納者は対象外とする。</li> <li>・教職に関する授業科目を除く5科目以上の履修者とする。</li> </ul>
	<p><b>【区分1の選定】</b></p> <p>①評定平均が3.2以上であり、かつTOEICの最高点が以下のとおりのものである者。</p> <p>1年生 500点以上 2年生 550点以上 3年生 600点以上</p> <p>②複数名が対象となった場合は、評定平均最上位の者。</p> <p>③評定平均最上位の者が複数名の場合は、TOEICの最高点が高い者。</p> <p>④TOEICの最高点が同一の場合は、TOEICの最高点同一者全員を区分1とする。</p>
	<p><b>【区分2の選定】</b></p> <p>各学年とも、評定平均が3.0以上の者とし、区分1と併せて各学期10名以内とする。なお、評定平均が同一の場合は、TOEICの最高点が高い者より選定する。</p>
	<p>※特別給費生として奨学金を支給されている者は、原則対象外とする。</p>
審査基準	<p>学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の模範になること。</p>

区分	1	2
奨学生数	<p>各学期に</p> <p>1年次生 1名 2年次生 1名 3年次生 1名 (合計：年間6名以内)</p>	<p>各学期に</p> <p>1年次生 10名 2年次生 10名 3年次生 10名 (合計：年間60名以内)</p>
	※区分1及び区分2の合計で各学期各年次生に10名以内	
支給額	各学期分の授業料相当額	50,000円
支給期間	1学期間ごとに現金又は現金振込で支給する。	
備考	区分1の定員を超える人数分については区分2の支給額を加え、均等に配分する。なお、均等に分配できない場合は、小数点を切り捨てる。	

- 多摩大学被災学生学費減免制度…被災し、学費の納付が困難な学生を対象に、経済的負担を軽減するための制度です。入学金、授業料等を減免します。

<学外奨学金> ※外国籍の方は、在留資格等によっては申込ができない場合があります。

●高等教育の修学支援新制度

審査基準を満たすことにより、授業料減免または授業料減免と併せて日本学生支援機構給付奨学金(原則返還不要の奨学金)が受けられます。

種類	審査基準	支援方法	適格認定
・授業料等の減免+日本学生支援機構給付奨学金	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯で学業成績及び学修意欲の一定の要件を満たす学生	・授業料:減免額を引いた金額を請求 ・返済不要の給付奨学金: <u>奨学生本人名義の普通預金・通常預金口座への毎月の振り込み</u>	・10月に家計基準による支援区分の見直しあり ・年度末に学業成績(GPA・修得単位数・出席率等)の基準に関する判定あり
・授業料等減免のみ	世帯年収600万円以上(目安)の多子世帯(子供を3人以上同時に扶養)で学業成績及び学修意欲の一定の要件を満たす学生	・授業料:減免額を引いた金額を請求	

●日本学生支援機構(JASSO)奨学金

- ①日本学生支援機構給付奨学金…国の高等教育修学支援制度の一環として支給(高等教育の修学支援新制度参照)

②日本学生支援機構貸与奨学金

【URL: <https://www.jasso.go.jp>】

種類	審査基準	貸与方法	貸与期間・利率
・第一種貸与奨学金(無利子)	特に優れた学生等であって経済的に修学が <u>著しく</u> 難しいと認められる人	・ <u>奨学生本人名義</u> の普通預金・通常預金口座への <u>毎月の振り込み</u>	・標準修業年限(1年生の場合4年間)
・第二種貸与奨学金(有利子)(在学中は無利子)	優れた学生等であって経済的に修学が難しいと認められる人(第一種貸与種奨学金よりゆるやかな基準)		・標準修業年限(1年生の場合4年間) ・利率算定方式(①固定式②変動式)を選択
・緊急採用(無利子) ・緊急採用(有利子)	家計の急変(条件あり)で奨学金を緊急に必要なとする場合は随時申請可能(ただし、事由が発生したときから1年以内に申請)緊急採用が第一種貸与奨学金(無利子)、緊急採用が第二種貸与奨学金(有利子)にあたる		

※第一種貸与奨学金と第二種貸与奨学金の併用貸与及び給付奨学金との併給貸与も可能

※年1回(年度末)学業成績などの基準に関する判定(適格認定)あり

[応募手順] 4月及び9月に行われる説明会に必ず出席すること



## (9)その他のサービス

### ①遺失物・拾得物の取扱い

- ・学内での拾得物は学生課に届けてください。  
落し物展示ケース(国際交流スペースP112参照)または学生課にて3ヶ月間保管後廃棄します。
- ・持ち主が判明した物は、T-NEXTやメール等でお知らせします。
- ・拾得物引渡しの際は本人確認を行う場合があります。
- ・遺失物はまず展示ケースを確認後、学生課に問い合わせてください。
- ・持ち物には名前と学籍番号を書いてください。
- ・学生証やキャッシュカード等を落とした場合は、悪用される恐れがあるため速やかに警察や銀行、信販会社に届出てください。

### ②アパート・マンション等の紹介

学生課では、本学学生に対し指定学生寮の紹介やアパート探しについて一般的な情報を提供しています。

### ③アルバイト・ボランティアの紹介

学生課では、事務局前の掲示板にアルバイト及びボランティア募集の情報を掲出しています。

## (10)課外活動

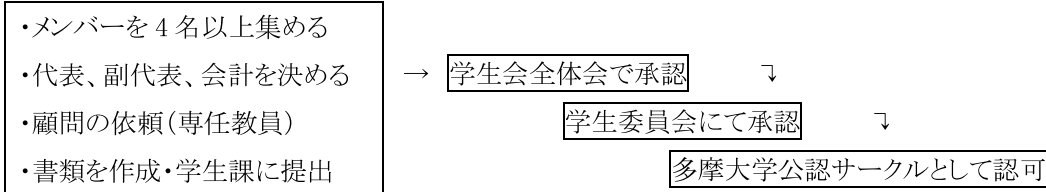
### ①学生会と学生会執行部

学生会は全学生が参加する組織です。学生会執行部は大学生活に関わることを学生間で民主的に組織し、学生の総意を決議することを目的とし、学生自身がSGSで、より快適な学生生活を送れるよう活動します。学生間の意見をとりまとめ、大学側との意見調整を行うほか、学内外のイベントの企画運営を行います。学生会の中心として執行部に参加することを奨励しています。

### ②公認サークル

SGSサークルユニオン(以下SCU)に所属するサークルを指します。公認を受けたサークルは、大学内で教室や運動施設を優先的に利用する権利を取得し、補助金の申請も可能です(新設サークルは半年間補助金の受給はありません)。

### 《公認サークル設立の流れ》



サークルの設立方法等わからないことは学生課に問い合わせてください。

### ③各種申請書

学生会団体の活動において各種申請書が必要な場合があります(P61 参照)。

申請書類は学生課にて入手し、顧問の承認を得たうえで活動日の1週間前までに学生課に届出てください。

### ④募金、署名活動及び販売、メディア取材等

学内外で募金、署名活動や販売を行おうとする学生またはゼミ、学生団体は、学生課に願い出て、承認を得る必要があります。また外部メディアより取材等を受ける場合も必ず学生課の承認を得てください。

## (11)個人情報の取扱いについて

多摩大学では、入学手続やその他大学所定の手続において入手した住所・氏名・電話番号等の個人情報は、学内に「個人情報保護委員会」を設置するとともに、多摩大学「個人情報の保護に関する基本方針」に基づいて厳重に管理します。

また、これらの個人情報は本人・保証人への連絡、通知または各種大学関係資料の送付、その他学生指導等大学業務及び卒業生同窓会活動のために使用します。多摩大学「個人情報の保護に関する基本方針」は本学のホームページに掲載しています。

住所・氏名・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを教えた結果、後日執拗につきまともわれたり、思わぬ深刻な事態に巻き込まれたりすることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないでください。

多摩大学では学生や保証人の住所・電話番号等の問い合わせがあっても、一切情報開示していません。情報の開示や訂正等については、学生課に問い合わせてください。

## (12) 障害のある学生への支援

本学部では、障害がありキャンパスライフに支援を必要とする学生への配慮に努めています。学修面の相談から、学内での学修環境や生活環境全般の相談まで、個々の学生の問題に向き合い、解決・解消にむけて最大限対応していきます。気軽に学生課または保健室に相談してください。

## (13) Suggestion Box

皆さんの学生生活をより良いものにするため、「Suggestion Box」を設置しています。

(設置場所: 西棟 1 階入り口横)

学生生活を送るうえで「こうした方がより良くなるのではないか」等の意見や提案、気づいた点があれば、「Suggestion Box」に設置してある所定の用紙に必要事項を記入し、投書してください。担当部署にて検討のうえ回答いたします。

## (14) 多摩大学ハラスメント防止の目的

多摩大学は世界人権宣言を重んじる大学として、学生、教職員など全構成員が安心して過ごせるキャンパスをめざし、人権侵害のない教育・研究・就労環境を整えます。性、人種、宗教、年齢、性的指向、<sup>しょうがい</sup>障害などに基づく差別や、地位・立場を利用したあらゆるハラスメントは形態の如何に関わらず許されません。

多摩大学ハラスメント防止委員会は、全てのハラスメントの撲滅をめざします。学生及び教職員、その他全ての大学関係者が、個人が尊重されるハラスメントのない環境の中で日々過ごすことができるよう、全力を尽くします。

安全で快適な環境を作るために、あなたは SGS で何ができますか？

多摩大学では、他者に対する攻撃的な態度の総称をハラスメントと定めています。ひとくちにハラスメントと言っても複雑で多岐にわたっているため、詳細は入学時に配布されるハラスメントリーフレットを確認してください。

## 相談員:

名前	研究室	Email
今村 康子 湘南キャンパス専任教員	211	imamura@tama.ac.jp
竹内 一真 湘南キャンパス専任教員	304	takeuchi-k@tama.ac.jp
飯塚 美聡 湘南キャンパス専任職員	事務局	iizuka@tama.ac.jp
須賀 健太 湘南キャンパス専任職員	事務局	suga-k@tama.ac.jp

## 相談員の役割:

相談員は、ハラスメントを報告する際の公式な窓口です。相談員は秘密を厳守し、必要に応じてハラスメント防止委員会に報告します。

## 多摩大学ハラスメント防止委員会の役割:

委員はキャンパスのハラスメント根絶に全力を尽くし、ハラスメントの事例に関して秘密を厳守するとともに、関係者が詮索されないよう保護します。

## 《手続き》

ステップ 1: ハラスメントを受けていると思ったら相談員に相談する(相談者が相談員と直接話せない場合は、代わりに信頼できる人を通して相談員に相談することもできる)。

ステップ 2: 相談員は相談者から事情を聴取し、速やかにハラスメント防止委員長に報告する。委員長は相談内容を検討し、状況に応じ相談者と相手方の円満な解決を図る。

ステップ 3: 円満な解決が難しいと判断された場合、委員長は臨時委員会を招集し、適切かつ迅速に対応する。臨時委員会は対応者を指名し、対応者は相談者、相手方、及び必要に応じて第三者から事情を聴取し、事実関係を調査する。

ステップ 4: 対応者は調査結果をハラスメント防止委員会に報告する。委員長は調査結果を基に、臨時委員会を再招集する。

ステップ 5: ハラスメント防止委員会は、専門的かつ客観的な方法で調査結果を確認する。

ステップ 6: ハラスメント防止委員会は、ハラスメントを解決することに尽力するが、必要があれば、多摩大学ハラスメント防止委員会に報告する。多摩大学ハラスメント防止委員会はその報告を受けて適切な措置を取る。

※この手続きの過程では、いかなる場合であっても関係者の個人情報等は一切公表されることはありません。  
また、申し立てられたハラスメントの情報は細部にわたるまで内密に扱われます。



ハラスメントリーフレット

## (15)学生生活上での心得

### ①喫煙のルール

学内の喫煙指定場所以外はすべて禁煙です。歩行喫煙も禁止です。また大学周辺や体育館等の屋内での喫煙もちろん禁止です。

違反した学生は、学生委員会の審議結果に従い、指導・処分されます。また、20歳未満による喫煙(※タバコ類似物含む)も同様に指導・処分されます。

### ※SGSにおけるタバコ類似物

従来のタバコ製品の他、加熱式タバコ、無煙タバコ、スヌース、電子タバコ等(葉タバコを原料としているか否かを問わない)

### ②飲酒のルール

学内での飲酒は禁止です。違反した学生は、学生委員会の審議結果に従い、指導・処分されます。また、飲酒は20歳以上と法律で定められています。学内外にかかわらず20歳未満の飲酒は禁止されています。

### ③その他禁止事項

・スケートボード、キックボード、ローラースケート等は安全のため学内及び通学時での使用は禁止です。

・公文書(診断書等)の偽造

※授業を欠席した時に医師の診断書等を偽造して提出する、電車の遅延証明書を不正に取得して使用する等の行為は、懲戒の対象となります。

・防火の観点から、学内では火器の使用は原則禁止です(ただし、大学側で安全を確認し、許可した場合または、担当教員が立合いのもと行うゼミ活動等は除く)。

#### ④マナー

大学生活を快適に送るためには、キャンパスマナーを身につけるのはもちろんのこと、学外でもマナーを遵守することは、社会生活を営むうえで最も基本的なことと言えます。誰もが快適に過ごせる環境になるよう、大学や地域社会の一員としての自覚を持って行動してください。

※以下内容はマナー違反の例です。見られているという認識を持って行動してください。

##### <電車内マナー違反>

- ・友人同士、大声で騒ぐ(ついつい笑い声や会話の音が大きくなる)
- ・携帯電話での通話
- ・携帯電話の着信音をマナーモードにしていない
- ・優先席付近で、携帯電話の電源をOFFにしない
- ・ヘッドフォンからの音もれ
- ・順番を無視する、降りる人を待たずに乗車する
- ・座席を詰めない、足を投げ出す、足を組んで座る
- ・ゴミをポイ捨てする、置き去りにする
- ・ゲーム等に集中するあまり周囲に不快感を与える
- ・化粧をする
- ・混雑した車内での飲食、臭気を放つ
- ・出入口付近にしゃがみ込む
- ・荷物で席を取る、荷物が周囲の邪魔をする
- ・性的な記事の掲載された新聞や雑誌を広げる

##### <通学マナー違反(駅⇔大学)>

- ・大声で騒ぐ、横並びに歩く、車道を歩く
- ・歩きスマホ
- ・音楽、電話、メール等に熱中する
- ・前方を見ないで歩く
- ・ゴミをポイ捨てする、置き去りにする
- ・タバコを吸いながら歩く、タバコをポイ捨てする
- ・自転車で歩行者の横を猛スピードで追い越す
- ・スケートボードに乗って通学する

##### <学内マナー違反>

- ・授業実施中の教室の横を騒いで通る、学内で大声を出して騒ぐ
- ・帽子をかぶったまま、イヤホンを装着したまま授業に出る
- ・喫煙所以外で喫煙する
- ・学内の壁や机等に落書きする
- ・ゴミ、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻等をポイ捨てする
- ・周囲に注意を払わず、キャッチボールやサッカー等を行う  
(他人にケガを負わせたり、器物を破損した等の場合は自己責任となる)

#### ⑤こんなことに注意

日常生活の中には、様々な危険が潜んでいます。被害にあわないよう日頃から細心の注意を払い、生活することが重要です。

電話やメールで、大学関係者などを名乗り、本人・家族等の個人情報聞きだし、保護者や保証人を標的とした被害が他大学で多く報告されています。普段から保護者・保証人と密に連絡やコミュニケーションをとることが重要です。

#### <特殊詐欺>

日々新しい手口の詐欺が増えています。すぐにお金を払うことのないよう、冷静に対応してください。近年、割のいいアルバイトとして「受け子」や「出し子」を請け負ったことで詐欺に加担し、大学生が逮捕される事案が頻発しています。安易にお金が稼げるアルバイトに手を出さないよう注意してください。

#### <悪質商法・マルチ商法>

多摩大学では学内での営利活動や学外団体等による勧誘・宣伝活動を無許可で行うことを認めていません。

悪徳商法・マルチ商法等の宣伝、営利目的活動や反社会的活動を行っている団体等の勧誘活動等については特に厳しく対応し、退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。

また、勧誘を受けた結果、被害の対象になったりトラブルに巻き込まれたりすることや、気づかないうちに加害者となる場合もあります。

このような勧誘・宣伝等の活動に遭遇したら、絶対に誘いにのらず、直ちに学生課に連絡してください。

#### <薬物乱用の厳禁>

大麻や覚せい剤等の禁止薬物の乱用は、本人の精神と身体に悪影響を及ぼし、さらには友人や家族関係の崩壊にもつながる等、本人だけでなく、社会全体に計り知れない害悪をもたらします。

また、反社会的勢力の一旦を担い、生涯日の当たる場所を歩むことができなくなります。

場所によっては簡単に入手でき、友情の証として等の軽い気持ちで誘われることもありますが、断固たる意思で断ってください。また、友人が薬物に手を出していた場合、すぐに友人関係を解消してください。一線を越えた人間といえることは、皆さんにとって「百害あって一利なし」です。

以上のことを頭に入れ、多摩大学の皆さんの良識ある行動を期待します。

#### 薬物を乱用すると

1. 脳をおかされて、心も身体もボロボロになる
2. 自分の意志では止められなくなる
3. 幻覚や妄想が現れ、殺人等の重大犯罪を引き起こす
4. 薬物欲しさに、犯罪を犯すようになる
5. 反社会的勢力の一員となる
6. 友人や家族を失う

### <宗教団体による勧誘>

巧妙な話術で、学外でのスポーツイベント、音楽サークル等を装って勧誘を行い、会費等を必要以上に徴収する被害が発生しています。外国人による宗教、奉仕活動等の勧誘もあります。まずは自分自身が断る強い意志を持つことが重要です。また、すぐに個人情報を提供することのないようにしましょう。

### <キャッシュレス決済>

現金を必要としない決済は、たいへん便利な反面、知らず知らずのうちに商品を買いつけ、月々の返済が自身の可能範囲を超え、利息が膨らんでしまうことがあります。

安心・安全な利用法をしっかりと心得ておきましょう。

### <学生の SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) 利用上の注意>

近年、SNS利用の際に注意を怠ったがゆえに、たとえ悪意は無かったとしても、加害者となってしまつてトラブルが起きています。具体的には、「個人情報の漏えい」「名誉毀損」「プライバシー侵害」「守秘義務違反」等の点で問題になります。SNS上の軽率な行動・発言があなたの人生を台無しにしてしまう可能性があることを理解し、以下のSNSの特性に十分注意して利用しましょう。

#### SNS の特性

- 1.SNS は、個人の間ではない。善人のふりをした悪人もいることを忘れない
- 2.SNS は、他人を非難する場ではない
- 3.SNS は、自分の行いを懺悔する場ではない
- 4.SNS は、一度公開したら取り消せない
- 5.SNS 上の情報は、いずれ流出する
- 6.SNS での発言の匿名性は、いずれ破られる
- 7.SNS での不用意な発言は、激しい批判にさらされることもあることを覚悟する

また、自分の行動の記録や写真等を不特定多数の人が閲覧できる状態にしておくことは非常に危険であり、ストーカー被害に繋がる可能性があります。日記や写真等はできる限り限定された人へのみ公開する設定にしておきましょう。

※本学では、上記内容を十分理解してもらえようオリエンテーション等での説明を徹底しています。

### 《参考》

国民生活センター：<https://www.kokusen.go.jp/>

日本弁護士連合会：<https://www.nichibenren.or.jp/>

インターネットホットライン連絡協議会：<https://www.iajapan.org/hotline/>

(相談・通報機関の窓口情報 WEB110)

## 2. 保健室

保健室では、皆さんが心身ともに健康な学生生活を送れるようサポートしています。西棟1階事務局の向かいにありますので、困ったことがありましたら遠慮なく利用してください。

開室時間	平日 9:00～17:00
保健室直通電話	TEL: 0466-21-7720

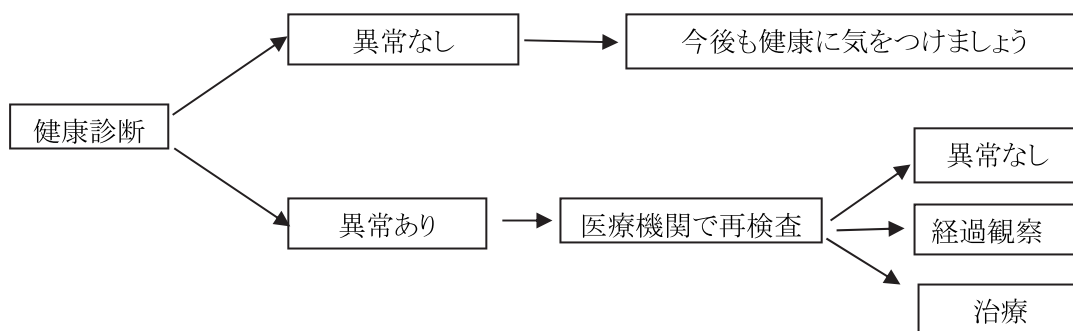
### (1) 保健室の業務

#### ① 学生・教職員の定期健康診断

学校保健安全法に基づき、全学生が定期健康診断を受診する必要があります。定期健康診断は無料で、年に1回4月にキャンパス内で実施します。(秋入学生は学校医のクリニックで実施します。)

この時に健康診断を受けなかった学生は、かかりつけや近くの医療機関で健康診断を受け、健康診断の結果を保健室に提出してください。その場合は、健康診断の費用は学生が負担することとなります。健康診断の結果、再検査が必要とされた場合には必ず速やかに検査を受けてください。また、保健室からの呼び出しには早急に応じるようにしてください。

健康診断証明書は、当該年度(4月以降)に健康診断を受診した方のみ発行可能です。過年度の証明書の発行はできません。



#### ② 傷病者の対応

- ・傷病者(けがや病気、体調不良)に対しての応急的な処置を行いません。
- ・保健室は風邪薬その他の内服薬を出すことはできません。持病のある人は自分に合った薬を携帯しましょう。また、症状に応じて医療機関へ情報提供を行います。受診料は自己負担です。健康保険証はいつでも使えるように用意しておきましょう。
- ・5月、6月は保健室の利用者が多い時期です。特に学期初めは自ら気を付けて健康な毎日を送れるよう心がけて下さい。

・学校保健安全法に定められた感染症(P21参照)と診断されたら、速やかに大学事務局へ連絡してください。医師から指示のあった登校停止期間は大学に登校しないでください。

提出書類については下記(2)学校感染症についてや大学のホームページに記載されている内容(学校感染症に感染した場合について)を参照してください。

罹患・治癒証明書や診断書等記載料金は医療機関によって異なります。

### ③健康相談・悩み相談

「体の不調が続いている」「ここが痛いけど何科を受診したら良い?」「悩みがある」などの様々な相談をお受けします。

### ④健康診断証明書の発行

就職先やインターン先に提出を求められる場合がありますが、健康診断結果に不備があると発行できませんのでご注意ください。

### ⑤身体測定

保健室には身長計・体重計・自動血圧計があり、自由に測定することができます。

## (2)学校感染症について

ウイルス、細菌、真菌などの微生物が、宿主の体内に侵入し、臓器や組織の中で増殖することを「感染」といい、その結果生じる疾病が「感染症」です。大学のような集団生活では感染力が高い場合には瞬間に感染が拡大します。キャンパス内での感染拡大を防止するためには、一人ひとりの予防行動はもちろん、感染した場合の正しい行動が求められます。感染症のなかで特に感染力の高い感染症については、学校保健安全法で「学校において予防すべき感染症」(以下、学校感染症)とし、大学などの出席停止期間が定められています。学校感染症の種類、出席停止期間は大学ホームページをご確認ください。学校感染症と診断されたら、速やかに大学事務局(教務課または保健室)へ連絡してください。医師から指示のあった登校停止期間は大学に登校しないでください。

### インフルエンザに感染した場合

治癒後1週間以内に以下のいずれかの書類を提出し、指定された手続きをすることで公欠扱いとなります。

- ①罹患・治癒証明書(受診した医療機関に記入押印してもらう)
- ②診断名、登校停止期間が記載されている診断書
- ③医療機関の診療報酬明細書及び陽性となった検査結果を証明する書類、処方内容(抗インフルエンザ薬)が分かる書類など

### 新型コロナウイルス感染症に感染した場合

治癒後1週間以内に以下のいずれかの書類を提出し、指定された手続きをすることで公欠扱いとなります。

- ①罹患・治癒証明書(受診した医療機関に記入押印してもらう)

- ②診断名、登校停止期間が記載されている診断書
- ③陽性となったことがわかる抗原検査キット本体に検査日、氏名を記入したもの

### 学校感染症(インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症以外)に感染した場合

治癒後1週間以内に以下のいずれかの書類を提出し、指定された手続きをすることで公欠扱いとなります。

- ①罹患・治癒証明書(受診した医療機関に記入押印してもらう)
- ②診断名、登校停止期間が記載されている診断書

通学可能となる時期は必ず医師に確認してください。

## (3)健康保険証について

万が一の怪我や病気による受診に備え、健康保険証は常に携帯しておいてください。不携帯で医療機関を受診した場合は、全額自己負担になります。

## (4)学校医について

\*校医:村田会湘南台内科クリニック(院長:村田 尚彦)

- <住所> 〒252-0805 神奈川県藤沢市円行991
- <電話> 0466-43-0865
- <診療時間> 月曜-金曜 9:00~11:30、15:00~17:00  
土曜 9:00~12:30 受付時間をご確認ください
- <休診日> 日曜、祝日

## (5)学生相談室

学生相談室では、相談とサポートを行っています。

どんな心配事や悩みでも相談員に内密に相談することができます。

<カウンセラー> 吉田 芳子 先生(臨床心理士) 熊谷 理美 先生(臨床心理士)

<相談室> 西棟 205 (研究棟)

<時間> 3回/週 (月曜・火曜・木曜) 11:30~17:00

※開室予定日は掲示にてお知らせします。

<方法> 対面・電話・オンライン

<予約> 直接保健室に来室するか、電話、大学ホームページからも行えます。

保健室直通電話 : 0466-21-7720

原則予約制ですが、予約状況によっては当日可能になる場合があります。保健室にお問い合わせください。

## (6) 学生保険について

### 学生教育研究災害傷害保険

全学生が学生教育研究災害傷害保険に加入します(保険料は大学負担)。各自で加入手続きを行う必要はありません。＜学生教育研究災害傷害保険のしおり＞が1年生の入学時に配付されますので、卒業まで保管して下さい。くれぐれも紛失したりしないよう注意してください。学内外や通学中に災害や事故に遭ったら、保健室または学生課に速やかに報告してください。

#### 保険の内容

正課中、学校行事又は大学の認めた課外活動に参加中、本学と住居との間の通学中、本学と大学の認めた学校関連活動（講義等又は課外活動）の行われている場所との間の移動中に発生した事故によって学生本人の被ったケガに対し、その治療日数に応じて保険金が支払われます。

## (7) AED(自動体外式除細動器)の設置について

本学では AED を設置しています。場所は西棟 1 階食堂から2階へ向かうホールと体育館の玄関ホール。(P112 図参照) 万が一の場合に備え、設置場所を事前に確認しておきましょう。

※SGS では、年1回救急法の講習会を実施しています

## 3. SGS ライブラリー (湘南キャンパス図書館)

QRコード差替え

<https://sgs-lib.tama.ac.jp/>

SGS ライブラリーは、SGS のカリキュラムに基づく学修や研究に必要な学術的資料や情報を収集し、提供しています。授業の課題やレポート作成に、図書館を積極的に活用してください。

### (1) 場所

SGS ライブラリーは、東棟(E棟)の1階北側にあります。

### (2) 蔵書・資料

SGS ライブラリーは和書、洋書を合わせて約 43,000 冊の図書を所蔵しています。SGS の学生は、多摩キャンパスの図書館で所蔵している資料も利用することができます。また、インターネット経由で、キャンパス内のどこからでもアクセス・利用が可能な各種データベース(新聞・雑誌記事など)も充実しています。

### (3) 開館時間と休館日

#### ① 開館時間

- 学期中の月曜日から金曜日 8:50～18:00
- 開館スケジュールは変更する場合があります。最新の情報は SGS ライブラリーのホームページで確認してください。

#### ② 休館日

- 土・日曜日、国民の祝祭日、夏季・冬季・学年末休業期間中の特定日等。
- 臨時休館日は、その都度掲示、ホームページでお知らせします。

### (4) 入退館について

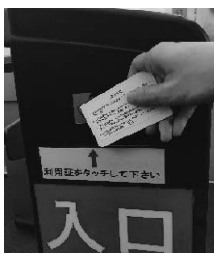
#### ① 利用者カード(学生証)

学生証が SGS ライブラリーの利用証となります。学生証がない場合、資料貸出等のサービスは受けられません。利用者本人の学生証を持参してください。

#### ② 入退館ゲート

入館の際は、入館用ゲートのカードリーダーに学生証を軽くタッチすると、フラッパー（扉）が開きます。1人ずつ入館してください。

退館の際は、退館用ゲートを利用してください。退館には学生証は必要ありません。貸出手続きが済んでいない資料が荷物に紛れていると、ゲート通過時に警告音が鳴るので注意してください。



## (5) 図書館サービス

### ① 館内利用

SGS ライブラリーが所蔵する資料は、館内では自由に閲覧できます。使いたい資料が書架（本棚）のどこに並べてあるか見つけやすい状態に保つため、一度書架から取り出した本は自分で直接書架に戻さず、館内に設置してあるブックトラック（返却台）に戻してください。

SGS ライブラリーが所蔵している資料は、自宅のパソコンやスマートフォンから、SGS ライブラリーのホームページにある蔵書検索システム(OPAC)にアクセスして検索することができます。

### ② 所蔵資料のコピー

レファレンス・カウンターの横にコピー機兼プリンターが設置されています。図書館の資料をコピーする場合は、コピー申請書を提出してください。また、コピーは、著作権法第31条（図書館等における複製）によって定められた範囲内、および国公私立大学図書館協力委員会と日本複写権センターとの合意事項（コピー機前に掲示）に則って行ってください。コピーは有料、プリントは無料です。

料金 白黒コピー：1枚10円 カラーコピー：1枚40円 \*）館内では両替はできません。



### ③ 館外貸出

SGS ライブラリー所蔵資料の館外貸出条件は下記表のとおりです。

資料の種類	貸出期間	貸出冊数上限
図書〔和書/洋書〕	2週間	合計10冊まで
CDブック	2週間	
指定図書	1週間	
雑誌	1週間(貸出対象はバックナンバーに限る。最新号は館内利用のみ)	3冊まで
DVD	1週間(一部館内利用のみ)	1巻まで
禁帯出資料	貸出不可(館内利用のみ)	

## 《 貸 出 ・ 返 却 の 注 意 事 項 》

- 自分が借りた資料を友人等に「また貸し」することは禁止されています。また、友人や誰かの代わりに資料を借りることもしないでください。もし「また貸し」された資料に破損、紛失などが発生した場合、弁償金の支払いを含め、全ての責任は SGS ライブラリーから貸出手続きをした本人自身が負うこととなります。

- 返却期限日は、貸出時に渡されたしおり(返却期限票)か、MyLibrary<sup>\*</sup>で確認してください。

<sup>\*</sup> 次ページの(6)MyLibraryの項を参照のこと。

- 貸出の更新は、返却期限日までに図書館ホームページの MyLibrary にアクセスして行う(1回の更新のみ可)か、貸出カウンターに資料を持参のうえ手続きしてください。資料に予約が入っている場合は更新できません。また、雑誌、DVD、指定図書は更新できません。

- 貸出中の資料に関しては、MyLibrary から予約を入れることができます。

- 借りた本は返却期限日までに返却するか、更新手続きを行ってください。延滞の資料がある場合は、その資料を返却するまで新たな資料を借りたり、借りている資料の貸出期間を更新したりすることはできません。アゴラ入口に設置してある図書返却ポストに返却することもできます。

また、長期にわたる延滞については、下記の罰則を適用します。

1. 再三の督促にもかかわらず資料を返却しない学生については、教員及び各事務課責任者に延滞中の資料タイトルを除く利用情報を開示し、必要な指導を要請します。また、大学内掲示板に氏名を明記した警告を掲示します。
2. 最終学年に在籍の学生で卒業時に未返却資料および未払いの弁償金等がある場合は、延滞図書返却と未払金全額の支払い完了後に卒業証書をお渡します。

## (6) MyLibrary について

MyLibrary とは、自分の貸出状況の確認や、借りている本の貸出期間の延長、貸出中の本への予約、多摩キャンパス図書館からの本の取り寄せができるオンラインサービスです。MyLibrary には SGS ライブラリーのホームページからログインできます。MyLibrary の詳しい利用方法については、館内で配布している案内を参照してください。

## (7) その他のサービス

SGS ライブラリーでは、レファレンスサービス(学修・研究に必要な情報や資料を探すための支援)や、データベースの使い方の説明、所蔵していない資料の取り寄せ、他大学図書館の利用希望の対応など、皆さんの学修・研究を様々な形で支援しているので、遠慮せずに相談してください。

## (8) 館内規則と注意事項

- ① 館内の資料や設備は大切に使用してください。故意の破損、紛失などの場合は、新規購入や交換にかかった経費を負担していただきます。
- ② 館内でのおしゃべりは慎んでください。グループ・ディスカッションのための利用も控えてください。一人ひとりの利用者が集中して勉強を行える環境を尊重しましょう。
- ③ 館内に私物を置いたまま席をはずさないでください。館内での私物の紛失や事故に関して、図書館職員は責任を負いません。
- ④ 館内ではスマートフォンでの通話は厳禁です。電源を切るかマナーモードに切り替えてください。また館内の静寂を保つため、ヘッドフォンからの音漏れにも注意してください。
- ⑤ 館内での食事・喫煙は、衛生および安全上の理由により、禁止します。
- ⑥ 飲み物は、ペットボトルや水筒など蓋が閉まる容器に入ったものを認めます。資料や設備を汚さないように注意してください。

## (9) SGS ライブラリーにおける個人情報取扱いについて

SGS ライブラリーでは、『多摩大学図書館における個人情報保護方針について』に基づき、ライブラリー利用者の個人情報の取扱いを以下のとおり行います。

### 多摩大学図書館における個人情報保護方針について

多摩大学図書館では、「学校法人田村学園個人情報保護規則」に基づき、以下のように個人情報を取り扱います。

#### 1. 個人情報の種類

多摩大学図書館が取り扱う個人情報には以下のものがあります。

##### (1) 利用者情報

図書館利用者の氏名、所属、連絡先(住所、電話番号・電子メールアドレス等)、生年月日、保証人、利用者 ID 等の特定の個人を識別できる情報

##### (2) 利用情報(記録)

図書館への入館記録、貸出・返却・予約業務において取得する情報、紹介状発行・複写サービス・レファレンスサービスの申込み及び問い合わせ内容、資料の検索や請求記録、購入希望図書申込書、図書館資料複写申込書などの情報、その他館内施設及び資料の利用申請記録等

##### (3) 個人情報関係資料

個人情報を一定の規則に従って整理することにより特定の個人情報を検索することができるように体系的に構成されている図書館資料

#### 2. 個人情報の利用目的

- (1) 図書館サービス提供のため
- (2) 図書館が行う各種行事等の案内のため
- (3) 図書館の広報活動のため
- (4) 未返却図書の延滞督促の掲示や連絡を行うため
- (5) 図書館が提供する各種データベースの提供のため
- (6) 図書館内部の落とし物に関し、落とし主や拾得者への連絡のため
- (7) 図書館資料及び設備管理上必要が生じた連絡を行うため

#### 3. 個人情報の取扱いについて

##### (1) 個人情報の取得方法

大学内学籍情報管理システム及び他部署からの間接的な取得、利用者からの各種申請書・アンケート等からの取得、大学に所属しない利用者の各種利用願

##### (2) 利用者情報の保有

利用者情報は多摩大学事務文書管理規程に基づき、図書館利用有効期限内に限り保有します。ただし、有効期限が過ぎても図書貸出等債務が終了していない場合は、その債務の終了時まで保有します。

(3) 利用情報の保有

個人を特定できる利用情報は、利用者情報を保有している期間に限り保有します。

4. 図書館が取り扱う個人データの第三者提供について

図書館では以下の場合を除き、図書館が取り扱う個人データを、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供することはありません。

- (1) 図書館サービスを提供するにあたって必要な連絡事項を掲示・公表する場合
- (2) 文献複写、図書借用や紹介状の発行など、依頼先図書館に対して、入手を希望する資料名及び氏名、所属等を通知する場合
- (3) 利用者に対して返却期限を過ぎた図書の督促を再三行っても返却されない場合に、速やかな返却を要請するために、保証人に対して資料名及び氏名、所属等を通知する場合
- (4) 図書館間の相互利用によって図書の貸出を受ける利用者が、返却期限を過ぎた図書の督促を再三行っても返却されない場合に、速やかな返却を要請するために、その利用者の所属機関に対して、資料名及び氏名、所属等を通知する場合
- (5) その他、法令に基づく場合、人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合

5. 個人情報の取扱いに関するお問い合わせについて[連絡先]

個人情報について利用者本人から申し出があった場合は、本人確認の上、同情報の開示、訂正及び削除について、合理的な範囲で速やかに対応いたしますので、下記連絡先にお問い合わせください。

多摩大学湘南キャンパス図書館  
〒252-0805 神奈川県藤沢市円行 802  
Tel: 0466-83-7929  
E-mail: [sgs-lib@gr.tama.ac.jp](mailto:sgs-lib@gr.tama.ac.jp)

## 4. メディアサービス

メディアサービス(略称 MSS)では、情報処理室(W201、W202)の管理・運営、学内で利用する機器に関する対応及びネットワークサービスのサポート等を行っています。

### 学内サービスの紹介

サービス	サービスの概要
情報処理室(W201、W202)の開放	W棟2F に情報処理室が2室(W201、W202)あり、合計80台のデスクトップパソコン(Windows)が利用できます。 また、電子黒板についても自由に使用することができます。
機器貸出し	各種機器の貸出しを行っています。
ライセンスの提供	1人1ライセンスに限り、Windows OS や Microsoft365(要申請)のインストールができます。 詳細は MSS のホームページをご確認ください。
学内ネットワーク(SSID: sgsnet)	学内のほぼ全ての場所でネットワーク(無線 LAN)のアクセスが可能です。
Google(メール含む)システム <a href="http://gmail.tama.ac.jp/">http://gmail.tama.ac.jp/</a>	Google 社のサービス「Google Workspace」を利用した本学専用のメールシステム、Google ファイルシステム(Google ドライブ)を利用できます。メールボックス等クラウド上の容量(ストレージ)は無制限です。
多摩大学キャンパスシステム T-NEXT <a href="https://next.tama.ac.jp/uprx/">https://next.tama.ac.jp/uprx/</a>	大学での様々な情報を管理するシステムです。 履修登録及び大学からのお知らせ(休講・授業の資料等)を確認できます。
VPN 接続サービス	学外から学内ネットワークに接続することができます。
学生用 無料 印刷・スキャンシステム	クラウドオンデマンドプリントの仕組みを利用し、資料のスキャンや印刷ができます。

メディアサービスのホームページには、本書に記載の学内サービスに関する詳細な内容(動画説明やマニュアル等を含む)を掲載しています。  
是非ご利用ください。

ホームページ: <https://mss-sgs.tama.ac.jp/>

もしくは、「SGSメディアサービス」でご検索ください。

< ホームページ



## (1) サポートについて

- サポート窓口

学内サービス等のトラブルが発生した場合は、メディアサービスにお問い合わせください。

- サポート時間

月曜日から金曜日 8:50～17:30

➤ 土曜日、日曜日、講義のない国民の祝祭日及び特定日等は除きます。

- サポート内容

- ◆ 学内パソコン一般利用に関するサポート

- ◆ 講義で使用する機器・備品等の貸出し

- ◆ 多摩大学各種システム利用に関する質問、申請の受付

- ◆ 多摩大学共通パスワードの再発行

- ◆ 各種ソフトウェア (Office 等) のライセンス発行とインストールの補助

➤ アプリケーションの利用方法や講義に関する質問は、内容によっては対応できない場合があります。

## (2) 情報処理室 (W201、W202) の利用

- 学期中の利用

月曜日から金曜日 8:50～20:00

土曜日 8:50～16:30

➤ W201は、電子黒板、及びホワイトボード等を自由に使用できるラーニングコモンズです。

➤ 講義中は利用できません。時間割に記載がなくても、臨時に利用する場合があります。

➤ 夏季・冬季休業期間中は、特定日を除いて、上記の時間帯で開室します。日曜日、講義のない国民の祝祭日及び特定日は閉室です。

- 情報処理室利用時の注意事項

➤ 教室内での飲食はできませんが、蓋つきの飲み物 (ペットボトル・水筒) は可とします。

➤ パソコンをシャットダウンもしくは再起動すると、パソコン本体 (ローカル上) に保存した

ファイルは削除されますので、ご注意ください。よって、必要なデータは逐次クラウド（インターネット）等に保存してください。また、クラウド（インターネット）での操作は記録されます。

### (3) 機器貸出し

- 学生には、下記の機器等を貸し出します。
  - 当日中（17:00まで）の返却が必要です。
  - 機器の貸出しを希望する場合は、メディアサービスに学生証を提示してください。
  - 故意または過失による破損や損傷の場合には、弁償等の費用請求を行うことがあります。

機器	貸出し可能数
・ヘッドセット	20個
・延長コード	10本
・Web カメラ	6台
・USB メモリ	5個
・外付け Blu-ray(DVD)プレイヤー	2台
・ビデオカメラ、三脚	1セット

- その他の機器を貸出し希望の場合は、メディアサービス窓口にてご相談ください。
- 機器の故障等の理由により、貸出し可能な台数が変動する場合がございます。

### (4) ライセンス利用

- 以下のソフトウェアのインストールができます。インストールを希望する場合、メディアサービスにパソコンを持参してください。

内容	エディション等
OS	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ Windows 10 Pro</li><li>◆ Windows 11 Pro</li><li>➢ 1人1ライセンスのみインストールが可能です。</li></ul>
Office	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ Microsoft 365 (Office 365 A3)</li><li>➢ 1人1ライセンスのみインストールが可能です。</li><li>➢ Mac OS へのインストールも可能です。</li><li>➢ 在籍中のみ利用でき、卒業後は利用不可です。</li></ul>

## (5) 学内ネットワーク

- 多摩大学では、全教室及び施設(体育館以外)に無線 LAN を整備し、学内のほぼ全ての場所で、ネットワークへのアクセスが可能となっています。
- 学内で利用するノートパソコンに無線 LAN の設定を行うことで、インターネット及びメールの送受信等のサービスが利用できます。
- 学内ネットワーク(Wi-Fi)の設定方法については、メディアサービスのホームページより確認してください。

## (6) メールシステム

- 多摩大学では、Web メールアプリケーションとして、Google 社の「Gmail」を用意しています。自宅や外出先でインターネットを接続できる環境であれば、いつでもメールのチェック・送受信を行うことができます。
- 教職員からメールで連絡することがありますので、1 日 1 回は必ず確認してください。

## (7) ファイルシステム (Google ドライブ)

- ファイルシステムは、ネットワーク上にデータを保存するシステムです。Google 社のクラウドストレージ「Google ドライブ」を利用した本学専用のネットワーク上にデータを保存できます。
- ストレージサービスの容量は無制限です。

## (8) 多摩大学キャンパスシステム T-NEXT

- T-NEXT とは、大学の様々な情報を管理するシステムです。履修登録及び大学からのお知らせ(休講・授業の資料等)を確認できます。
- 重要なお知らせの掲示がありますので、1 日 1 回は必ず確認してください。自宅や外出先でインターネットを接続できる環境であれば、いつでも T-NEXT を利用できます。

## (9) VPN 接続サービス

- VPN 接続サービスを利用すると、学外から学内ネットワークへ接続することができ、学内ネットワークからしか接続できないサイト(図書館システム等)の利用が可能となります。
- VPN 接続の設定方法は、メディアサービスのホームページより確認してください。

## (10) 学生用 無料 スキャン・印刷システム

- パソコンやスマートフォンからクラウドサーバーにアップロードしたファイルを、学内に設置しているプリンターで印刷することができます。
- 印刷する場合は、印刷用のユーザーID とパスワードをクラウドサーバーに入力する必要があります。
- スマートフォンからも、専用のアプリケーションをインストールすることで、印刷が可能です。
  - 私的な印刷は厳禁です。学修上、最低限必要な枚数を印刷してください。
  - プリンター用紙が不足した際は、メディアサービスまで連絡してください。
  - コピーは有料となります。

設置場所	スペック
アゴラ (学生証が必要)	白黒印刷、スキャン
カフェテリア	カラー印刷
図書館	カラー印刷、コピー (※コピーは有料)
研究棟2階学生ラウンジ	白黒印刷
W 棟2階階段廊下前	白黒印刷

## (11)BYOD 化(個人所有の PC 利用)について

- 多摩大学では、学修に必要な以下のスペックを満たすパソコンを学生が個人で用意して利用する BYOD(Bring Your Own Device)を推進しています。

区分	スペック
形状	・ノート型かつハードウェアキーボードあり
ディスプレイ	・13インチ以上、持ち運び可能
OS	・Windows を推奨
CPU	・Intel Core i5相当以上
メモリ	・8GB 以上
ストレージ	・SSD256GB 以上
バッテリー	・目安駆動時間:8時間以上
その他	・USB ポートあり、Web カメラ搭載、イヤホンマイク対応 ・外部出力:HDMI 対応

- BYOD 化の目的

BYOD 化の目的は、学生の皆さんが個々に合ったデバイスを学内外で使用することで、学修効果の向上を図ることです。また、パソコンをキャンパスに必携することとします。

多摩大学では、学内 ICT(情報通信技術)環境の整備を計画的に実施すると同時に、ICT(情報通信技術)に関するサービスの一層の充実を図り、学生の皆さんの学修を支援します。

- 購入されたパソコンのハード面での故障、不具合(画面が割れている、充電ができない等)については、大学にて対応することはできません。保証内容を含め、ご自身にてご対応願います。
- ソフト面での不具合(パソコンの起動が遅い、アプリが起動しない等)及び学内サービスに関しては、メディアサービスまでお気軽にご相談ください。

## 5. キャリア支援課

キャリア支援課では、学生の皆さんと共に卒業後の進路について考え、就職についてのアドバイスやサポートをおこないます。

### (1) 場所

西棟2階にあります。窓口のすぐ隣には、資料室を併設しています。

### (2) サービス

キャリア支援課の主なサービスは、下記のとおりです。

- ・ 学生へのキャリアカウンセリング、進路支援
- ・ 雇用状況、就職マーケットについての調査
- ・ キャリア支援講座など就職支援講座の企画・運営
- ・ 求人先の開拓と学生への求人斡旋
- ・ 国内インターンシップの運営
- ・ 学内合同企業説明会、業界セミナーの企画・運営
- ・ 履歴書の販売

なお、サポート内容の詳細につきましては、各学期の最初のガイダンスにて説明します。

写真差替えデータあり

## 6. 国際交流センター事務課

国際交流センター事務課は、多摩大学の教育理念である「国際性」を更に深化させ、「グローバル社会の一員として積極的な役割を果たす人材を育成する」という教育目標を達成する為、「学内の国際化」、「学生の海外留学の促進」、「湘南地域の国際化への貢献」を主とした業務を行っています。

### (1)留学

グローバルスタディーズ学部では、学生の皆さんが留学を通じて段階的な成長が臨めるよう、多様なプログラムを提供しています。留学プログラムに応じて説明会がありますので、出席するようにして下さい。

※ 学費未納の場合、留学プログラムの参加が不可となります。

#### ①海外研修

世界経済を牽引しているアジアで特に発展が目覚ましい地域を中心に、原則的に夏季・春季休業期間中に実施する1週間程度のプログラムです。このプログラムには引率教員が同行しますので初めて海外に行く学生にもお勧めです。

《海外研修プログラム実績例》

- 高雄／台北研修（台湾） ●昆明／上海研修（中国）
- シンガポール研修（シンガポール） ●ハノイ研修（ベトナム）
- グアム研修（グアム） ●済州平和フォーラム研修（韓国）など

#### ②短期留学

様々な地域での1ヶ月前後のプログラムです。申し込む際、語学等の条件が必要な場合がありますので詳細は国際交流センター事務課まで相談して下さい。

《短期留学実績例》

- カリフォルニア大学ロサンゼルス校（アメリカ） ●ハワイ大学（アメリカ）
- ビクトリア大学（カナダ） ●アルゴマ大学（カナダ）
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（イギリス） ●マンチェスター大学（イギリス）
- クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド） ●ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）
- クィーンズランド大学（オーストラリア） ●グリフィス大学（オーストラリア）
- 慶熙大学（韓国） ●長栄大学（台湾）

#### ③長期留学

長期留学は3ヶ月以上のプログラムで、大学が提携している海外の大学で学ぶ交換留学と、その他の一般留学に分かれます。お問い合わせ下さい。

交換留学：留学先の授業料は免除されます（一部例外あり）が、多摩大学の授業料は掛かります。  
一般留学：留学先、多摩大学両方の授業料が掛かります。

※ 渡航費、滞在費、海外旅行保険代等は、別途各自負担になります。

《交換留学実績例》

- ブレーメン経済工科大学（ドイツ） ●テーラーズ大学（マレーシア） ●ビヌス大学（インドネシア）
- 義守大学（台湾） ●真理大学（台湾） ●泰日工業大学（タイ） ●チュラロンコン大学（タイ）

- ナンヤンポリテクニク（シンガポール）●雲南民族大学（中国）●マカオ大学（中国）
- ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）●ロイヤルメルボルン工科大学（ベトナム）
- 長栄大学（台湾）●東呉大学（台湾）

#### 《一般留学実績例》

- ビクトリア大学（オーストラリア）●クィーンズランド大学（オーストラリア）
- クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）●ビクトリア大学（カナダ）
- ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）●カリフォルニア大学ロサンゼルス校（アメリカ）
- サンディエゴ州立大学（アメリカ）など

## (2)経済的支援

大学独自の給付型奨学金や補助金が充実しています。

### ①海外留学奨学金

奨学金対象者になるには、留学計画書の提出と教員との面接に加えてTOEICのスコアとGPAの条件があります。但し、学費未納者は対象外とします。

### ②補助金

グローバルスタディーズ学部後援会より、補助金が給付されます。金額に関してはプログラムにより異なります。但し、学費未納者は対象外とします。

## (3)国際交流イベント

留学生と交流できるイベントの他、一緒に伝統芸能の鑑賞などのイベントも企画しています。異文化交流ができる貴重な機会ですので、学生の皆さんは是非参加して下さい。

## (4)国際交流スペース

国際交流スペースは、在学生と外国人留学生が外国語によるコミュニケーションを通じて交流を図るスペースです。留学や異文化に関心のある学生の皆さんは、ぜひ活用して下さい。また、国際交流スペースでイベントを開催する際は、国際交流センター事務課に申請して下さい。

利用時間：平日9：00～17：30

## (5)肖像権の取り扱いについて

国際交流広報活動をより充実させるために、学生の活動風景等を大学のホームページや広報物等にて紹介することが効果的であると考えております。つきましては、学生の皆さんの肖像、氏名を掲載させて頂きます。掲載に同意できない場合は、国際交流センター事務課まで申し出て下さい。

## 7. 事業推進室

事業推進室は、藤沢市および湘南地域での地域活動やイベント、また、市区町村・企業・地域住民等との共同プロジェクトやプログラムに、学生のみなさんが参画することをサポートする部署です。

### (1) 地域活動への参加のサポート

藤沢市や湘南地域には、みなさんが参加できるイベントや地域貢献活動がたくさんあります。また、多摩大学では、藤沢市、藤沢市観光協会を始めとする市区町村や産業界、地域住民等との共同イベント、プロジェクト等を行っており、希望者は企画段階から参画できます。みなさんが地域活動へ参加しやすいよう、活動の紹介等のサポートをします。

### (2) 地域における国際交流活動のサポート

藤沢市や湘南地域では、国際交流イベントも盛んに行われています。みなさんが参加するチャンスもありますので、参加希望者には支援をします。

また、留学生のみなさんが地域住民との交流や地域イベントに参加する際には、国際交流センター事務課と協力して支援します。

### (3) I Love 湘南プロジェクト

藤沢市、藤沢市観光協会等との地域連携活動に関心のある学生が教職員と共に地域活動に積極的に取り組んでいくための仕組みとして、「I Love 湘南プロジェクト」が発足しました。現在、このプロジェクトへの学生のみなさんの登録者数は

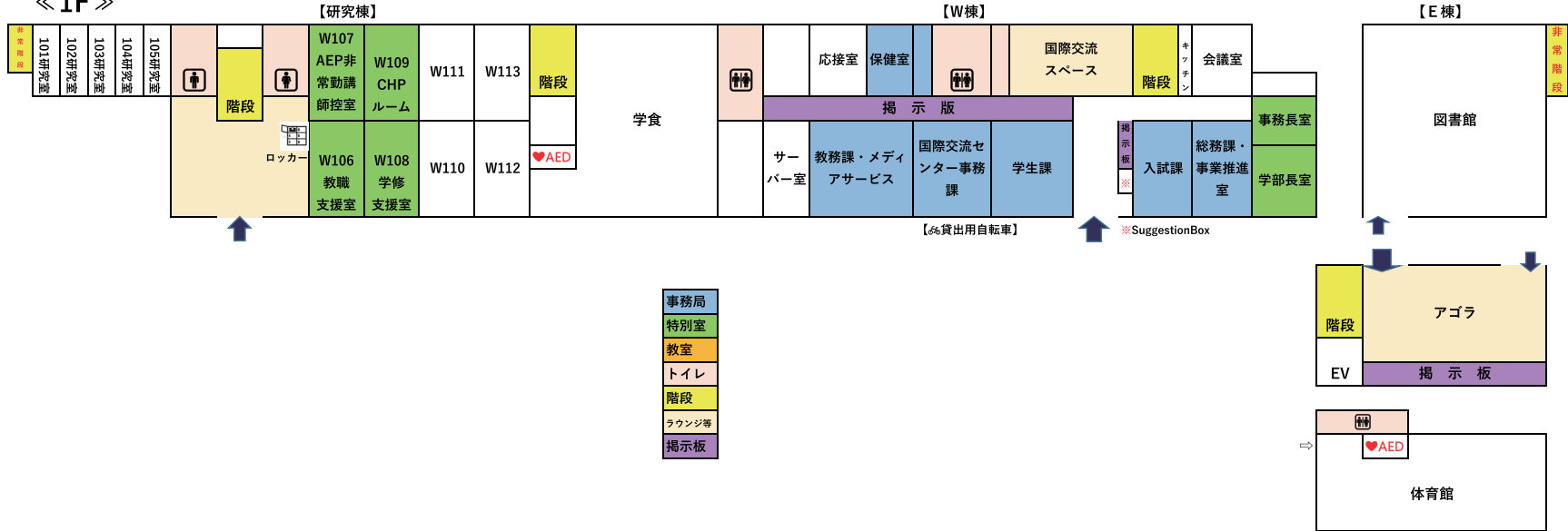
500名を超えています。活動の場も鎌倉市、寒川町、茅ヶ崎市を含めた地域に拡大しています。

登録者には、「I Love 湘南プロジェクト」の様々な活動についての日程や内容、参加方法のご案内を随時行っています。

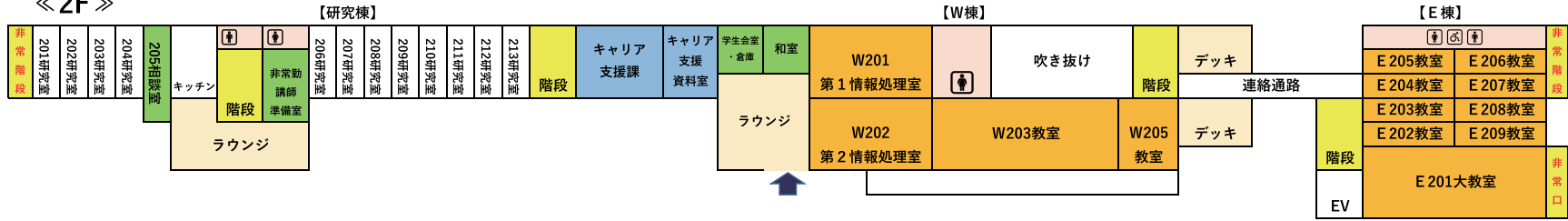
ふじキュンのイラスト

# 校舎図面

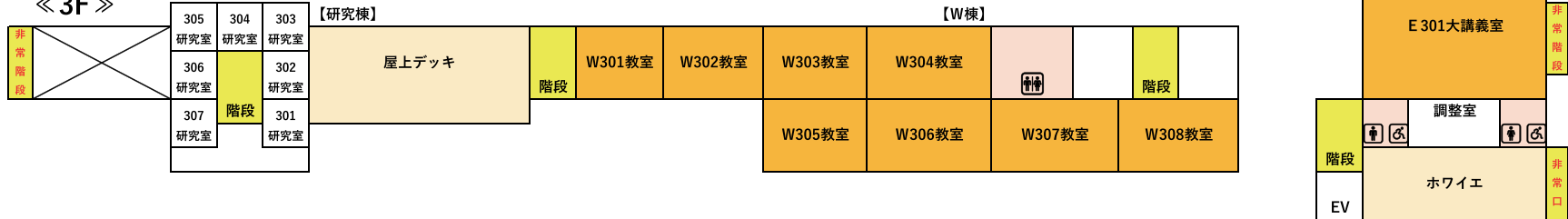
## ≪1F≫



## ≪2F≫



## ≪3F≫



# 2022年度以降入学生適用カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、学生の皆さんが身につけることが期待される知識・技能・態度等、学修目標として大学が示す項目と授業科目との間の対応関係を示した図を意味します。学生の皆さんがカリキュラム全体の構造を俯瞰し、体系的な履修を図ることを目的として作成しています。

凡例：科目群記号, 科目分類記号, [科目名], 科目の概要

学年	1	2	3	4
DP1	<p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) I]短期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) II]短期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) III]短期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) IV]短期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) V]短期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) VI]長期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) VII]長期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[Discover World (Study Abroad) VIII]長期留学で語学を修得し異文化を学ぶ</p> <p>基: コア[国際理解入門]国際的な視点を養い、植民地、人種などについても学ぶ</p> <p>基: コア[情報科学入門]情報通信技術の基礎技術を知り社会への影響を考える</p> <p>基: 一般[経済学入門]経営学によって身近な問題を分析する</p> <p>基: 一般[コンピュータ入門I]コンピュータの基本操作とITの基礎知識を学ぶ</p> <p>基: 一般[政治学]現代日本の政治的諸問題を、構造と歴史なども踏まえて理解する</p> <p>基: 一般[中国文学]中国文学に触れ中国の思想、文化を理解する</p> <p>基: 一般[日本事情 I]日本社会で自として暮らすための「実践知」の習得する</p> <p>基: 一般[日本事情 II]現代日本の政治・経済システムの基礎知識を習得する</p> <p>基: 一般[日本の法律]法的思考を学び、日本における法的問題を考える</p> <p>基: 一般[日本の歴史]日本の歴史を学び「世界のなかの日本」を考える</p> <p>基: 一般[日本文学]現代文学を理解するための知識を身につける</p> <p>専: ゼミ[ブレゼミα]大学で学ぶに当たり必要なアカデミックスキルを先行して学ぶ</p> <p>専: ゼミ[CHPチュートリアル I]各プログラムに準ずる</p> <p>教: 教職[教育原理]【英語教職科目】教育の基本的概念の理解</p> <p>教: 教職[教職概論]【英語教職科目】教職の意義、役割等の理解</p> <p>教: 教職[生徒指導・進路指導論]【英語教職科目】生徒指導・進路指導を学ぶ</p>	<p>AEP: 英語[Academic Reading Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[Academic Writing Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[English Reading for Global Business]世界的なビジネスに関連する資料読解</p> <p>AEP: 英語[TOEIC対策講座(上級) I]TOEIC演習科目 (目標600点以上)</p> <p>AEP: 英語[TOEIC対策講座(上級) II]TOEIC演習科目 (目標600点以上)</p> <p>AEP: 英語[ニュース英語 I]ニュースや時事問題を読み聞きし発信する</p> <p>AEP: 英語[ニュース英語 II]世界のニュースで批判的読解力を使う</p> <p>AEP: 英語[ビジネス英語入門 I]ビジネスに関する基本的な語彙と表現を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[ビジネス英語入門 II]仕事やビジネスに関する基本的な語彙と表現を理解する</p> <p>AEP: 英語[留学準備英語 (IELTS) I]留学に向けたIELTS演習</p> <p>AEP: 英語[留学準備英語 (IELTS) II]留学に向けたIELTS演習</p> <p>AEP: 英語[留学準備英語 (TOEFL) I]留学に向けたTOEFL演習</p> <p>AEP: 英語[留学準備英語 (TOEFL) II]留学に向けたTOEFL演習</p> <p>基: 一般[ヴィジュアルコミュニケーション入門]映画の基礎を学び映像表現を解析する</p> <p>基: 一般[ジェンダー論]ジェンダー、セクシュアリティ、身体論を学ぶ</p> <p>基: 一般[中国思想史]中国の思想史を学び現代中国の理解を深める</p> <p>基: 一般[日本近現代史]明治期からの日本の歴史を理解し、現代の諸問題を考える</p> <p>基: 一般[メディア学入門]メディア研究の基礎を学ぶ</p> <p>専: HM[グローバル社会とイギリス・EU]イギリス・EUからグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会とオセアニア]オセアニアからグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と韓国]韓国からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と現代中国]現代中国からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と中華圏]中華圏からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と東南アジア]東南アジアからグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と日本]日本からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と北米]北米からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[世界遺産 I]世界遺産検定3級を目指す</p> <p>専: HM[世界遺産 II]世界遺産検定2級を目指す</p> <p>専: HM[日本の多様性]日本の多様性から自文化理解を深める</p> <p>専: HM[日本の文化・精神性]日本の文化・精神性から自文化理解を深める</p> <p>専: IS[AI・ゲーム・デジタル産物]デジタル産物について多角的に学ぶ</p> <p>専: IS[英語学 I]音声学音韻論、英語史等の理解</p> <p>専: IS[英語学 II]統語論(含学校文法)、心理言語学等の理解</p> <p>専: IS[英米文学 I]イギリス文学の導入、各時代の作品の理解</p> <p>専: IS[英米文学 II]アメリカ文学の導入、各時代の作品の理解</p> <p>専: IS[環境経済学]持続可能な社会の実現を目指す 環境政策を考える</p> <p>専: IS[業界入門: IT・通信]IT・通信業界について学ぶ</p> <p>専: IS[業界入門: 地元産業・金融]湘南地域の地元産業と金融機関について学ぶ</p> <p>専: IS[業界入門: 物流・B to B]物流・卸、企業対企業で商売する企業、業界について学ぶ</p> <p>専: IS[金融論]金融の基礎知識を学び株式、為替、債券市場などを学ぶ</p> <p>専: IS[国際政策特別講義 II]・ファッションとビジネス論 ファッションに関するビジネスの基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際経済学]データやニュースを基に国際経済を理解する</p> <p>専: IS[国際法と国際機関]国際法、国際機関に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>専: IS[日本語学(音声・音韻)]日本語の音声音韻の仕組みの理解</p> <p>専: IS[日本語概論]日本語の歴史を知る</p> <p>専: IS[日本語史概論]日本語の歴史を知る</p> <p>専: IS[日本語(文法)]日本語文法の理解</p> <p>専: ゼミ[CHPチュートリアル I]各プログラムに準ずる</p> <p>専: ゼミ[CHPチュートリアル II]各プログラムに準ずる</p> <p>専: ゼミ[CHPチュートリアル III]各プログラムに準ずる</p> <p>専: ゼミ[CHPチュートリアル IV]各プログラムに準ずる</p> <p>教: 教職[教育課程総論]【英語教職科目】教育課程の在り方を学ぶ</p> <p>教: 教職[教育制度論]【英語教職科目】学校教育の制度等の理解</p> <p>教: 教職[教育方法 I(1)]を活用した教育の理論及び方法等【英語教職科目】教育方法の理論的知識理解</p> <p>教: 教職[特別活動]【英語教職科目】特別活動の理論的知識を学ぶ</p> <p>基: 一般[消費社会と日本の大衆文化]ポピュラーカルチャーをとおして権力の関係を理解する</p>	<p>基: 一般[道路のための学力アップ講座]就職活動に必要な基礎的計算、論理的思考を養う</p> <p>基: 一般[ポストモダニズムと社会]モダニズム、ポストモダニズムの思想を理解する</p> <p>専: HM[グローバル社会とアフリカ]アフリカからグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と中東]中東からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と中南米]中南米からグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[グローバル社会と南アジア]南アジアからグローバル社会を知る</p> <p>専: HM[世界の宗教]世界の宗教からグローバル社会を知る</p> <p>専: IS[意味論・語用論]言語使用から言語のあり方を学ぶ</p> <p>専: IS[英米文学演習 I]英米文学での学修内容の発展的演習</p> <p>専: IS[英米文学演習 II]英米文学での学修内容の発展的演習</p> <p>専: IS[国際会計論]国際基準の財務諸表と国際会計の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際経営論]グローバル企業などの経営を学ぶ</p> <p>専: IS[資源と環境]持続可能な資源利用、循環型社会について考える</p> <p>専: IS[社会言語学]社会の中の言語のあり方を学ぶ</p> <p>専: IS[日本教育事情]国内外の日本語教育の現状、歴史について学ぶ</p> <p>専: IS[マーケティング論]市場、消費者行動、企業の新製品開発活動について学ぶ</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ I]担当教員の指導の下専門分野に対する知識を深める</p> <p>教: 教職[英語科教育法 I]【英語教職科目】英語指導の知識と技能習得</p> <p>教: 教職[英語科教育法 II]【英語教職科目】英語指導の知識と技能習得</p> <p>教: 教職[介護体験実習事前事後指導]【英語教職科目】介護体験の事前事後指導</p> <p>教: 教職[教育相談]【英語教職科目】カウンセリング技術の理解</p> <p>教: 教職[総合的な学習の時間の指導法]【英語教職科目】総合的な学習の時間の理解</p> <p>教: 教職[道徳教育論]【英語教職科目】道徳教育の役割・意義、実践</p> <p>教: 教職[特別支援]【英語教職科目】特別支援教育の理解</p> <p>日: 日英[日本語教育実習]【日本語教員科目】日本語授業の設計運営等</p> <p>専: HM[観光とアート]観光の応用知識習得</p> <p>専: HM[観光と文化]観光の応用知識習得</p> <p>専: IS[経営戦略論]企業の経営戦略の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際協力]国際協力に関する基礎知識及び実践例について学ぶ</p> <p>専: IS[世界の時事問題]世界で起こっている出来事を多角的視野で考察する</p> <p>専: IS[多文化共生論]世界における多文化主義を事例に多文化共生について考察する</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 I]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 II]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ VI]</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ II]関心があるテーマを決め、より深く探求する</p>	<p>専: ゼミ[インターゼミ VI]</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 I]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 II]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ III]関心があるテーマを決め、より深く探求する</p>
	<p>基: コア[学長リーダー講座 I]専攻学長及び各分野の専門家の講演を聞く</p> <p>基: コア[学長リーダー講座 II]専攻学長及び各分野の専門家の講演を聞く</p> <p>基: コア[社会学入門]社会を観察するための基本的な視点、理論を学ぶ</p> <p>基: コア[グローバル化とグローバル学入門]グローバル化の流れ、力、発展等について考える</p> <p>基: コア[心理学入門I]人間の行動、認知についてくみ解する</p> <p>基: コア[哲学入門]主な哲学思想を理解し、世界や人間について理解を深める</p> <p>基: コア[日本語入門 I]「日本」を様々な視点から考え、理解する</p> <p>基: コア[文化人類学入門]世界に存在する様々な文化、社会について理解する</p> <p>基: 一般[欧米心理学]教育、発達について心理学的観点から学ぶ</p> <p>基: 一般[グローバル化]世界史を学び、現代世界の理解を深める</p> <p>基: 一般[国際関係論入門]国際関係学の理論、学派を学び比較する</p> <p>基: 一般[こころの科学]心の働きや仕組みを科学的観点から理解する</p> <p>基: 一般[数学入門]基礎的な計算スキルの習得と数学的思考を身につける</p> <p>基: 一般[統計 I]統計学の基礎的な概念を理解し、分析目的に応じて適切に利用することができる</p> <p>基: 一般[統計 II]Rを用いた基本的なデータの操作と統計ができる</p> <p>基: 一般[統計学入門]統計学の理論、計算方法の基礎を学ぶ</p> <p>専: ゼミ[ブレゼミ I]大学で学ぶに当たり基礎的なスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[ブレゼミ II]大学で学ぶに当たり基礎的なスキルを学ぶ</p> <p>基: コア[環境保全入門]国内外の環境問題、持続可能な成長を考える</p> <p>基: コア[経済学入門]経済学の基本を学び経済学的な考え方を身につける</p> <p>基: 一般[Discover Japan (地域研修) I]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover Japan (地域研修) II]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover Japan (地域研修) III]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 I]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 II]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[キャリア アプローチ]就職に対する意識を高め、大学での学びを考える</p> <p>基: 一般[キャリア開発論]働く意義、将来設計を学ぶ</p> <p>基: 一般[体育]スポーツの実践をおして身体活動の重要性を学ぶ</p> <p>基: 一般[数学入門]基礎的な計算スキルの習得と数学的思考を身につける</p>	<p>AEP: 英語[Travel and Tourism Workplace English]観光関連産業における英語能力育成</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 III]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 IV]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ概論]インターンシップに必要な知識スキルを身につける</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ実習]国内企業へのインターンシップを行う</p> <p>専: HM[業界入門: 医療・福祉]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 飲食・宿泊]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: おもてなしマナー]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 航空]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 英語・健康]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 旅]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[語訳とヘリテージ]語訳とヘリテージから自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I: 広島]広島から自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II: 長崎]長崎から自文化理解を深める</p> <p>専: IS[国際法と国際機関]国際法、国際機関に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[English Discussion Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[English Presentation Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディスカッション]批判的に考え、英語で議論を主導する</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディベート]英語でのディベートの基本を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[エアライン英語]客室乗務員業務を英語で遂行する力を養う</p> <p>AEP: 英語[観光英語 I]海外旅行で使える英語英語を身につける</p> <p>AEP: 英語[観光英語 II]観光地と交通の英語を旅行業務視点で学ぶ</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) V]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VI]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VIII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>基: 一般[簿記]日商簿記検定三級程度の知識を目指す</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・英語]接客英語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・韓国語]接客韓国語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・中国語]接客中国語の習得</p> <p>専: HM[調査法入門: 質的]社会調査士を目指す科目の1つ(定性調査)</p> <p>専: IS[英米会計基礎]英米会計の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[グラフィックス・Webデザイン]グラフィックス・Webデザインの基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[情報処理]MSのフュルスベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[情報処理]MSのエクスセルベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[調査法入門: 量的]統計等を使った量的調査方法について学ぶ</p> <p>基: 一般[心理学の方法]社会科学に必要な統計と心理学の方法論を学ぶ</p> <p>基: 一般[認知心理学]認知の過程を学ぶ人間の情報獲得問題について理解する</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント I]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント II]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: IS[グローバル化と消費文化]消費に関する理論とグローバルな消費の流れを理解する</p> <p>専: IS[言語心理学]音韻論、意味論、統語論などをおして言語理解の過程を学ぶ</p> <p>専: IS[南アジアと東南アジアの国際関係]国際政治を中心に国際関係について学ぶ</p> <p>専: IS[国際社会と個人]個人と社会との関係する国際法を学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ I]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ II]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ III]</p>	<p>専: HM[観光とアート]観光の応用知識習得</p> <p>専: HM[観光と文化]観光の応用知識習得</p> <p>専: IS[経営戦略論]企業の経営戦略の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際協力]国際協力に関する基礎知識及び実践例について学ぶ</p> <p>専: IS[世界の時事問題]世界で起こっている出来事を多角的視野で考察する</p> <p>専: IS[多文化共生論]世界における多文化主義を事例に多文化共生について考察する</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 I]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 II]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ VI]</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ II]関心があるテーマを決め、より深く探求する</p>	<p>教: 教職[教育実習 I]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教育実習 II]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教職実習演習(中・高)]【英語教職科目】教職課程の総復習、よりよい授業力の探求</p> <p>日: 日英[日本語教育実習]【日本語教員科目】日本語学校での教育実習</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 I]【日本語教員科目】教育実習の事前指導</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 II]【日本語教員科目】教育実習の事後指導</p> <p>専: IS[リーダーシップ論]リーダーシップのあり方について学ぶ</p>
DP3	<p>基: 一般[数学入門]基礎的な計算スキルの習得と数学的思考を身につける</p>	<p>AEP: 英語[Travel and Tourism Workplace English]観光関連産業における英語能力育成</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 III]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 IV]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ概論]インターンシップに必要な知識スキルを身につける</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ実習]国内企業へのインターンシップを行う</p> <p>専: HM[業界入門: 医療・福祉]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 飲食・宿泊]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: おもてなしマナー]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 航空]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 英語・健康]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 旅]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[語訳とヘリテージ]語訳とヘリテージから自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I: 広島]広島から自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II: 長崎]長崎から自文化理解を深める</p> <p>専: IS[国際法と国際機関]国際法、国際機関に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[English Discussion Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[English Presentation Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディスカッション]批判的に考え、英語で議論を主導する</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディベート]英語でのディベートの基本を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[エアライン英語]客室乗務員業務を英語で遂行する力を養う</p> <p>AEP: 英語[観光英語 I]海外旅行で使える英語英語を身につける</p> <p>AEP: 英語[観光英語 II]観光地と交通の英語を旅行業務視点で学ぶ</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) V]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VI]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VIII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>基: 一般[簿記]日商簿記検定三級程度の知識を目指す</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・英語]接客英語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・韓国語]接客韓国語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・中国語]接客中国語の習得</p> <p>専: HM[調査法入門: 質的]社会調査士を目指す科目の1つ(定性調査)</p> <p>専: IS[英米会計基礎]英米会計の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[グラフィックス・Webデザイン]グラフィックス・Webデザインの基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[情報処理]MSのフュルスベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[情報処理]MSのエクスセルベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[調査法入門: 量的]統計等を使った量的調査方法について学ぶ</p> <p>基: 一般[心理学の方法]社会科学に必要な統計と心理学の方法論を学ぶ</p> <p>基: 一般[認知心理学]認知の過程を学ぶ人間の情報獲得問題について理解する</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント I]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント II]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: IS[グローバル化と消費文化]消費に関する理論とグローバルな消費の流れを理解する</p> <p>専: IS[言語心理学]音韻論、意味論、統語論などをおして言語理解の過程を学ぶ</p> <p>専: IS[南アジアと東南アジアの国際関係]国際政治を中心に国際関係について学ぶ</p> <p>専: IS[国際社会と個人]個人と社会との関係する国際法を学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ I]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ II]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ III]</p>	<p>専: HM[観光とアート]観光の応用知識習得</p> <p>専: HM[観光と文化]観光の応用知識習得</p> <p>専: IS[経営戦略論]企業の経営戦略の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際協力]国際協力に関する基礎知識及び実践例について学ぶ</p> <p>専: IS[世界の時事問題]世界で起こっている出来事を多角的視野で考察する</p> <p>専: IS[多文化共生論]世界における多文化主義を事例に多文化共生について考察する</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 I]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 II]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ VI]</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ II]関心があるテーマを決め、より深く探求する</p>	<p>教: 教職[教育実習 I]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教育実習 II]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教職実習演習(中・高)]【英語教職科目】教職課程の総復習、よりよい授業力の探求</p> <p>日: 日英[日本語教育実習]【日本語教員科目】日本語学校での教育実習</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 I]【日本語教員科目】教育実習の事前指導</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 II]【日本語教員科目】教育実習の事後指導</p> <p>専: IS[リーダーシップ論]リーダーシップのあり方について学ぶ</p>
DP4	<p>AEP: 1年必[Listening &amp; Speaking (FYS) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 1年必[Listening &amp; Speaking (FYS) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 1年必[Reading &amp; Writing (FYS) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 1年必[Reading &amp; Writing (FYS) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 1年必[資格試験対策演習 (TOEIC) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 1年必[資格試験対策演習 (TOEIC) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>基: 一般[会計学基礎]会計の基本原則と財務諸表の理解を深める</p> <p>基: 一般[韓国語 I]韓国語基礎編</p> <p>基: 一般[韓国語 II]韓国語基礎編</p> <p>基: 一般[社会調査入門]社会調査の手法の基礎を学ぶ</p> <p>基: 一般[スペイン語 I]スペイン語入門編</p> <p>基: 一般[スペイン語 II]スペイン語基礎編</p> <p>基: 一般[中国語 I]中国語入門編</p> <p>基: 一般[中国語 II]中国語基礎編</p> <p>基: 一般[日本語文章表現法]大学でのレポート論文に必要な日本語文章力を身につける</p> <p>基: 一般[日本語(スピーキング・リスニング) I]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(スピーキング・リスニング) II]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(日本語試験対策) I]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(日本語試験対策) II]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(日本語試験対策) III]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(ライティング・ライティング) I]日本語を第一言語としない学習者用科目</p> <p>基: 一般[日本語(ライティング・ライティング) II]日本語を第一言語としない学習者用科目</p>	<p>AEP: 英語[Travel and Tourism Workplace English]観光関連産業における英語能力育成</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 III]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 IV]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ概論]インターンシップに必要な知識スキルを身につける</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ実習]国内企業へのインターンシップを行う</p> <p>専: HM[業界入門: 医療・福祉]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 飲食・宿泊]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: おもてなしマナー]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 航空]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 英語・健康]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 旅]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[語訳とヘリテージ]語訳とヘリテージから自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I: 広島]広島から自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II: 長崎]長崎から自文化理解を深める</p> <p>専: IS[国際法と国際機関]国際法、国際機関に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[English Discussion Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[English Presentation Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディスカッション]批判的に考え、英語で議論を主導する</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディベート]英語でのディベートの基本を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[エアライン英語]客室乗務員業務を英語で遂行する力を養う</p> <p>AEP: 英語[観光英語 I]海外旅行で使える英語英語を身につける</p> <p>AEP: 英語[観光英語 II]観光地と交通の英語を旅行業務視点で学ぶ</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) V]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VI]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VIII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>基: 一般[簿記]日商簿記検定三級程度の知識を目指す</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・英語]接客英語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・韓国語]接客韓国語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・中国語]接客中国語の習得</p> <p>専: HM[調査法入門: 質的]社会調査士を目指す科目の1つ(定性調査)</p> <p>専: IS[英米会計基礎]英米会計の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[グラフィックス・Webデザイン]グラフィックス・Webデザインの基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[情報処理]MSのフュルスベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[情報処理]MSのエクスセルベシヤリスト資格の取得を目指す</p> <p>専: IS[調査法入門: 量的]統計等を使った量的調査方法について学ぶ</p> <p>基: 一般[心理学の方法]社会科学に必要な統計と心理学の方法論を学ぶ</p> <p>基: 一般[認知心理学]認知の過程を学ぶ人間の情報獲得問題について理解する</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント I]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: HM[観光サービスマネジメント II]高度サービス人材のマネジメント養成</p> <p>専: IS[グローバル化と消費文化]消費に関する理論とグローバルな消費の流れを理解する</p> <p>専: IS[言語心理学]音韻論、意味論、統語論などをおして言語理解の過程を学ぶ</p> <p>専: IS[南アジアと東南アジアの国際関係]国際政治を中心に国際関係について学ぶ</p> <p>専: IS[国際社会と個人]個人と社会との関係する国際法を学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ I]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[リーダーシップ育成ゼミ II]様々な機会を発揮できるリーダーシップスキルを学ぶ</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ III]</p>	<p>専: HM[観光とアート]観光の応用知識習得</p> <p>専: HM[観光と文化]観光の応用知識習得</p> <p>専: IS[経営戦略論]企業の経営戦略の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[国際協力]国際協力に関する基礎知識及び実践例について学ぶ</p> <p>専: IS[世界の時事問題]世界で起こっている出来事を多角的視野で考察する</p> <p>専: IS[多文化共生論]世界における多文化主義を事例に多文化共生について考察する</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 I]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[教員力向上講座 II]【英語教職科目】教育現場を知り教員採用試験へつなげる</p> <p>専: ゼミ[インターゼミ VI]</p> <p>専: ゼミ[ホームゼミ II]関心があるテーマを決め、より深く探求する</p>	<p>教: 教職[教育実習 I]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教育実習 II]【英語教職科目】教育現場での教育活動体験</p> <p>教: 教職[教職実習演習(中・高)]【英語教職科目】教職課程の総復習、よりよい授業力の探求</p> <p>日: 日英[日本語教育実習]【日本語教員科目】日本語学校での教育実習</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 I]【日本語教員科目】教育実習の事前指導</p> <p>日: 日英[日本語教育実習指導 II]【日本語教員科目】教育実習の事後指導</p> <p>専: IS[リーダーシップ論]リーダーシップのあり方について学ぶ</p>
DP5	<p>基: 一般[文化心理学]心理学の基礎概念を再考し文化と心理の相関関係を理解する</p>	<p>AEP: 英語[Travel and Tourism Workplace English]観光関連産業における英語能力育成</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 III]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[Discover 語訳・湘南 IV]実地研修をおし日本に対する理解を深める</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ概論]インターンシップに必要な知識スキルを身につける</p> <p>基: 一般[国内インターンシップ実習]国内企業へのインターンシップを行う</p> <p>専: HM[業界入門: 医療・福祉]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 飲食・宿泊]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: おもてなしマナー]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 航空]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 英語・健康]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[業界入門: 旅]卒業後の進路に向けた業界研究</p> <p>専: HM[語訳とヘリテージ]語訳とヘリテージから自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I: 広島]広島から自文化理解を深める</p> <p>専: HM[ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II: 長崎]長崎から自文化理解を深める</p> <p>専: IS[国際法と国際機関]国際法、国際機関に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[English Discussion Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[English Presentation Skills]留学前後の準備としてのスキル養成</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Listening &amp; Speaking II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Intermediate Reading &amp; Writing II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Listening &amp; Speaking IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[Reading &amp; Writing IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディスカッション]批判的に考え、英語で議論を主導する</p> <p>AEP: 英語[イングリッシュ・ディベート]英語でのディベートの基本を学ぶ</p> <p>AEP: 英語[エアライン英語]客室乗務員業務を英語で遂行する力を養う</p> <p>AEP: 英語[観光英語 I]海外旅行で使える英語英語を身につける</p> <p>AEP: 英語[観光英語 II]観光地と交通の英語を旅行業務視点で学ぶ</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) I]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) II]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) III]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) IV]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) V]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VI]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>AEP: 英語[資格試験対策演習 (TOEIC) VIII]ツールとしての英語をしっかりと身につける</p> <p>基: 一般[簿記]日商簿記検定三級程度の知識を目指す</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・英語]接客英語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・韓国語]接客韓国語の習得</p> <p>専: HM[おもてなし外国語・中国語]接客中国語の習得</p> <p>専: HM[調査法入門: 質的]社会調査士を目指す科目の1つ(定性調査)</p> <p>専: IS[英米会計基礎]英米会計の基礎を学ぶ</p> <p>専: IS[グラフィックス・Webデザイン]グラフィックス・Webデザインの</p>		

多摩大学グローバルスタディーズ学部 2025年度以降入学生適用カリキュラム履修モデル

○単位 : 所属するコースに関わらず、必ず履修することが必要な科目名・単位数等

本学部では、目標や学びたいことに合わせて科目選択をすることが可能です。特に、コース(専攻)決定以降は、コース担当教員のアドバイス等に基づき、自分の目標に合わせた履修計画を立ててください。一方で、教育目標及びカリキュラム上、必ず履修することが必要な科目、及び修得すべき目安となる科目区分・単位数等を定めています。本履修モデルでは、必ず履修することが必要な科目等に基づき、初年次、英語集中教育及び専門教育におけるモデルを示します。必ず履修することが必要な科目の単位数及び各年次・学期で履修(修得)すべき単位数を確認し、また卒業要件についても併せて確認し、体系的な履修を進めてください。(※教職課程に関する科目については本モデルに含めておりません。)

○単位 : ホスピタリティ・マネジメント(HM)コースに所属する学生の履修目安区分・単位数等

○単位 : 国際教養(IS)コースに所属する学生の履修目安区分・単位数等

最低限履修(修得)単位数(必ず履修が必要な科目の単位数)	1年次春	1年次秋	2年次春	2年次秋	3年次春	3年次秋	4年次春	4年次秋
①英語集中教育科目	6(6)	6(6)	4~6(4~6)	4~6(4~6)	2~4(0~2)	2~4(0~2)	2	2
②共通科目群	12(4)	12(4)	6	6	2	2	2	2
③専門教育科目群	2(2)	2~4(2)	12(HM: 2, IS: 2~4)	12(HM: 2, IS: 2~4)	16(2)	16(2)	2(2)	2(2)
望ましい修得単位数: 合計(必ず履修が必要な科目の単位数)	20以上(18)	20以上(16)	22以上(4~7)	22以上(4~7)	20以上(2~4)	20以上(2~4)	6程度(2)	6程度(2)

科目群	区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期		秋学期		春学期		秋学期	
		履修科目	単位数	履修科目	単位数	履修科目	単位数	履修科目	単位数
① 英語集中教育(AEP)科目	必修科目	Listening & Speaking (FYS) I	2	Listening & Speaking (FYS) II	2				
		Reading & Writing (FYS) I	2	Reading & Writing (FYS) II	2				
	初級・中級科目	日本語(リスニング、ライティング) I (留学生専用)	2	日本語(リスニング、ライティング) II (留学生専用)	2				
		日本語(リーディング、ライティング) I (留学生専用)	2	日本語(リーディング、ライティング) II (留学生専用)	2				
	上級科目	日本語(日本語試験対策) I (留学生専用)	2	日本語(日本語試験対策) II (留学生専用)	2				
		日本語(リーディング、ライティング) I (留学生専用)	2	日本語(リーディング、ライティング) II (留学生専用)	2				
	学外(国外)実習科目	Discover World (Study Abroad) I - III	4	Discover World (Study Abroad) IV - VI	4				
		Discover World (Study Abroad) VII - VIII	4						
	選択必修(コア科目)	Academic Reading Skills	2	English Presentation Skills	2				
		Academic Writing Skills	2	TOEIC対策講座(上級) II	2				
選択(共通)科目	中国思想史	2	中国思想史	2					
	日本近現代史	2	日本近現代史	2					
② 共通科目群	人文科学	2	人文科学	2					
	社会科学	2	社会科学	2					
③ 専門教育科目群	観光学の基礎	2	観光学の基礎	2					
	観光学の応用	2	観光学の応用	2					
ホスピタリティ・マネジメント科目群	自文化・異文化理解	4	自文化・異文化理解	4					
	観光・ホスピタリティ実務	2	観光・ホスピタリティ実務	2					
国際教養共通科目	国際教養共通科目	4	国際教養共通科目	4					
	グローバルビジネス・情報系科目	4	グローバルビジネス・情報系科目	4					
国際教養実務科目	国際教養実務科目	2	国際教養実務科目	2					
	英語教職課程関連科目	2	英語教職課程関連科目	2					
ゼミナール科目	ゼミナール科目	2	ゼミナール科目	2					
	ゼミナール科目	2	ゼミナール科目	2					

2025年度以降入学生より適用  
＜卒業要件＞

科目群	科目区分	必修	選択必修	選択	自由選択
基礎教育科目群	英語集中教育科目(AEP)	12	-	-	-
	初・中・上級英語	-	14	-	-
	学外(国外)実習科目	-	8	-	-
共通科目	コア	-	-	26※1	10
	一般(学外(国内)実習科目、キャリア科目含む)	-	-	-	-
専門教育科目群		-	-	54※2※3	-
小計		12	22	80	10
合計				124	

2022年度入学生～2024年度入学生適用  
＜卒業要件＞

科目群	科目区分	必修	選択必修	選択	自由選択
基礎教育科目群	英語集中教育科目(AEP)	12	-	-	-
	初・中・上級英語	-	10	-	-
	学外(国外)実習科目	-	8	-	-
共通科目	コア	-	-	28※1	10
	一般(学外(国内)実習科目、キャリア科目含む)	-	-	-	-
専門教育科目群		-	-	56※2※3	-
小計		12	18	84	10
合計				124	

※1: 他学部履修した場合、24単位を上限に基礎教育科目群・共通科目・一般・選択区分の単位として認定する。  
 ※2: ゼミナール科目群の科目は、メジャー登録したコースの選択科目に算入される。  
 ※3: メジャー登録したコースから、最低限36単位修得しなければならない。なお、コースは2年次進級前に確定する。

所属(登録)していないコースの科目も履修可  
ただし、所属(登録)しているコースの科目を36単位以上修得しないと卒業要件を満たせません。

※ゼミナール科目群の科目は、メジャー登録したコースの選択科目に算入される。  
 ※メジャー登録したコースから、最低限36単位修得しなければならない。なお、コースは2年次進級前に確定する。